

令和8年度

# 教育計画



枚方市立第四中学校

〒573-0084 枚方市香里ヶ丘5丁目3番2号

TEL 050-7102-9195

FAX 072-854-0865



## 目 次

### 1. 学校経営

はじめに	1頁
学校経営方針	2頁
・校訓・学校教育目標・めざす学校像・めざす生徒像・目指す教師像	
・本年度の重点目標・会議の位置づけ	
(1)校務分掌	7頁
(2)教職員構成(学年・教科・部活動)	8頁
(3)学年・学級編成	10頁
(4)学校医・学校薬剤師	10頁

### 2. 教育課程

(1)各教科等の時間配当 (2)週時程表	11頁
(3)教科横断計画表・各教科等の目標	12頁
(4)「情報教育」の年間計画	23頁
(5)「総合的な学習の時間」の全体計画	26頁
(6)「道徳教育」の全体計画と年間計画・全体計画別葉	28頁
(7)「特別活動の時間」の全体計画と年間計画	35頁
(8)人権教育の全体計画と年間計画	37頁
(9)食育推進全体計画と年間計画	40頁
(10)中学校区のキャリア教育全体計画	41頁
(11)学校保健・安全計画	42頁
(12)学年の目標	44頁
(13)分掌の目標と年間計画	45頁
(14)不登校児童・生徒への対応方針	57頁
(15)体力向上推進計画	58頁
(16)枚方市小中一貫事業(四中学園モデル図)	59頁
(17)令和6年度チャレンジテストの分析	60頁
(18)学校教育自己診断の分析	62頁
(19)学校評価報告書	65頁

### 3. 施設配置・防災計画等

(1)教室配置図及び避難経路	68頁
(2)校地・校舎配置図	69頁
(3)校区地図	70頁
(4)いじめ未然防止計画	71頁
(5)防災計画・防災管理組織・自衛消防組織	72頁
(6)水泳指導時の緊急対応等	75頁
(7)生徒の安全確保及び安全管理	77頁
(8)沿革の概要	78頁

はじめに

『努力・素直・創造』

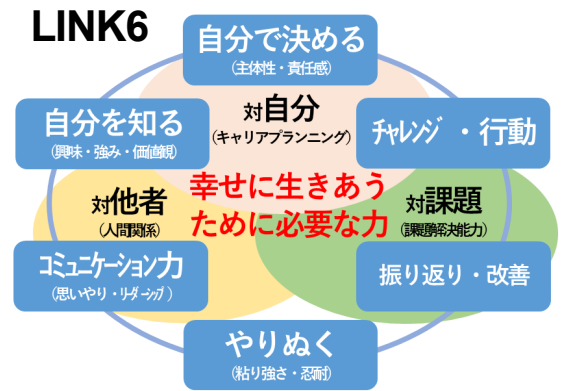
## 「夢を語れる生徒を育成する！」

変化の激しい(情報化、グローバル化、AI)、先行き不透明  
(VUCA、Soceity5.0)な時代を生きる子どもたちにとつ

て、真に必要な力は何か。その力を身に着けるために必要な学びとは何か。また、それを実現するために、学校に求められているものはいったい何か。新学習指導要領にある「社会に開かれた教育課程」「資質能力の三つの柱」「カリキュラムマネジメント」「主体的・対話的で深い学びの授業改善」を適切に実施し、令和の日本型学校教育「個別最適な学びと協働的な学び」を実現すべく、「何を」「いつまでに」「どのように」取組まなければならないのか。そこで、「自走する教職員集団」をめざして学校組織の改革、人権教育と支援教育を基盤としたキャリア教育を学校全体での推進、学級・学年・異学年集団における人間関係づくりを土台にした総合・道徳・特活を幹に9教科の枝葉が連動した総合的・系統的に「学び」の実現を図っていく。

一昨年度末、教職員集団で数日にわたり、学校教育目標を達成すべく、四中生に必要な力を話し合ったものが右にある「6つ」である。「夢を語れる生徒を育成する！」をスローガンに、自己調整力(情報活用能力、言語能力、課題発見課題解決力)を高めるべく、全ての教育活動において、生徒は非認知能力(=「自分と向き合う力」「自分を高める力」「まわりとつながる力」)を自覚して鍛えるとともに、教師はその見えない力(非認知能力)を意識して全ての指導にあたる。「夢」は頑張る原動力である。「ワクワク感」は目標達成に立ち足る様々な困難を乗り越えるための元気の源である。学校は、社会に出るための準備段階にある子どもたちにとって、『自己決定』や『自己実現』の経験ができる貴重な場所(友達とは違う人間関係の中でミッションを実行する訓練の場)であり、我々大人(教師・保護者・地域)はその機会を保障しなければならない。「子ども家庭庁」の創設や「子ども基本法」の制定の意味はそこにあるものとする。

子どもたちは夢に向かって、学校という場で、失敗を繰り返しながら「自己決定」や「自己実現」を体感し、互いに絆を深め、成長する。子どもたちの「自立(社会的自立=絆づくり)」に向けて、我々教職員一同は、保護者地域とともに、子どもたちの「居場所づくり(環境づくり)」に全力で取り組む所存である。



枚方市立第四中学校

校長 鴨田 慎司

# 令和8年度 学校経営方針

## 1. 校訓・スローガン

校訓 『努力・素直・創造』

**「夢を語れる生徒を育成する！」**

## 2. 学校教育目標

**「学びあい、つながりあい、幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成」**

- 互いに学びあい、共に成長していく力(学力&非認知能力)
- 互いに認めあい、共に生きていく力(人間関係力) ⇒ **学級活動・班活動**
- 互いに思いを伝えあい、共に未来を想像していく力(探究力)

## 3. めざす学校像

### R6

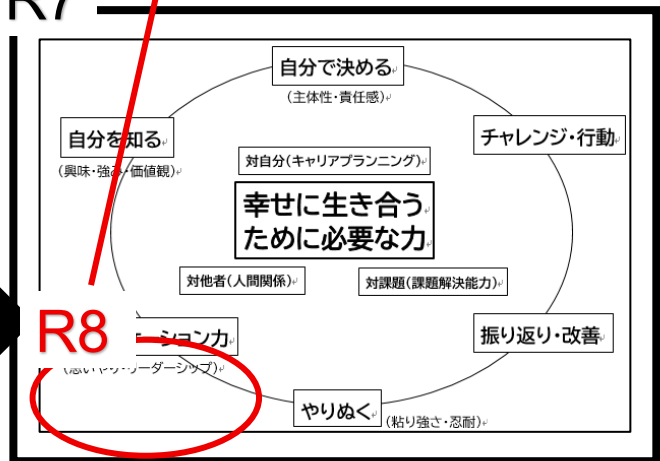
「学力&非認知能力」の育成 ⇒ 課題解決に主体的に取り組む学校(言語能力(自己調整力)の自覚化、意識的に育成、ガマンも能力)

「人間関係力」の育成 ⇒ 人(人権)を大切にできる学校(安全安心な環境「あいさつ、きく姿勢、時間厳守、ゴミ拾い」)

「探究力」の育成 ⇒ 誇れる地域のオンリーワンの学校(地域や企業課題など探究的な学び、自ら問いを立てる学び)

### R7

**“おりあい”をつける力(折衝力)**



## 4. めざす生徒像

**「自分で考え、判断し、行動できる生徒」**

## 5. めざす教師像

- ・人生を楽しむことのできる教師(人として魅力ある教師)
- ・仕事を楽しむことのできる教師(プロとして自覚ある教師)
- ・プライベートを充実できる教師(労務管理「タイムマネジメント」のできる教師)
- ・生徒の成長を喜びにできる教師(生徒の失敗を引き出す安心感を与えることのできる教師)
- ・他人の失敗を許すことのできる教師(人間関係づくりが上手な教師)
- ・生徒を信じることのできる教師(謙虚で余裕のある教師)
- ・誰にでも自分から挨拶のできる教師(元気を与えられる教師)
- ・人との約束を守ることのできる教師(人として信頼される教師)
- ・時間を守ることのできる教師(自分に厳しい教師)
- ・TPOを弁えた身だしなみのある教師(組織人としての教師)

令和8年度学校経営方針（枚方市立第四中学校）

小中9年間で「夢を語れる」生徒の育成

学校  
教育  
目標

学びあい、つながりあり、幸せな人生に向けて

自分で決める  
(主体性・責任感)

対自分  
(キャリアプランニング)

自分を知る  
(興味・強み・価値観)

チャレンジ・行動

幸せに生きあう  
ために必要な力

対他者  
(人間関係)

コミュニケーション力  
(思いやり・リダンプ)

課題  
(課題解決能力)

振り返り・改善

自分で考え判断し、行動することができ生徒  
やりぬく  
(粘り強さ・忍耐)

安全安心な環境（あいさつ・きく姿勢・時間厳守・ゴミ拾い）

すべての人が幸せに生きあうために（人権教育・人権学習）

自立

DI&E（ダイバーシティ・インクルージョン&イクオリティ・エンゲージメント）

キャリア教育

予測困難な時代を生き抜くために

(VUCA・Society5.0)

社会

『自己決定・自己実現』できる場所  
生徒にゆだねる

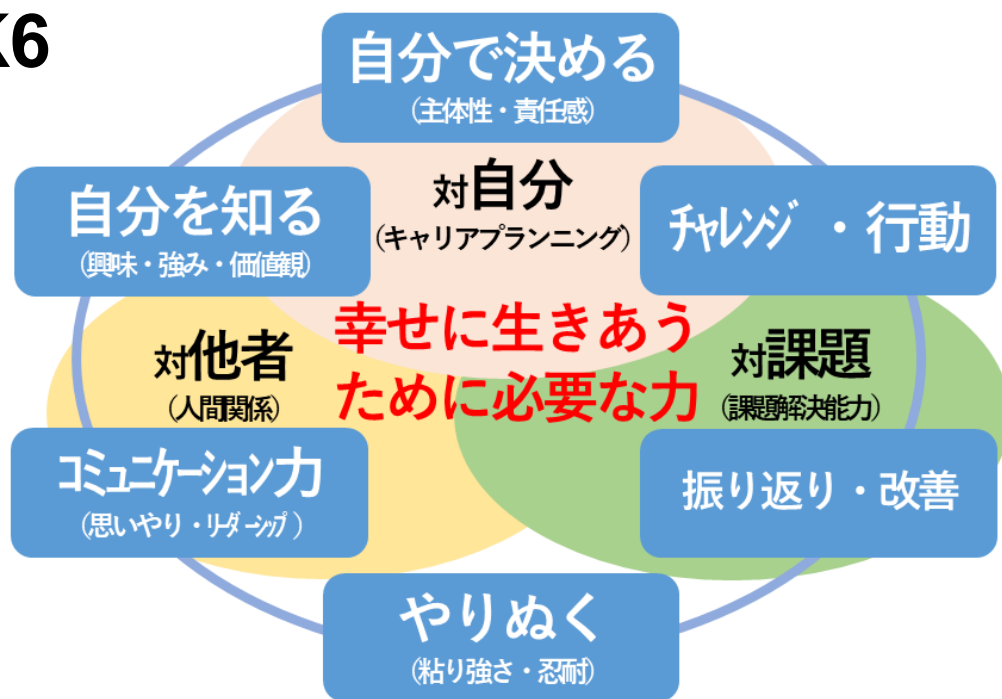
学校

- ・挑戦ができる
- ・失敗ができる
- ・本物とあえる

地域  
企業  
公官庁

子どもも大人もワクワクする学校

## LINK6



## ① 学習指導の充実

- ◎ 一人一台のタブレットを筆記具と同様のツールとして有効に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。
- ◎ 企画委員会、教科部会、各分掌部会等を時間割の中に設定し、教職員が互いに研鑽し、学び合える組織体制を構築する。
- ◎ **学習規律の確立をめざし、全学年全教科において定着させる。**
- ◎ 教科部会を充実させ、学力向上委員会との連携を密にする。  
教科部会では、授業力向上のため単元計画の検討、授業づくりや進度の検討を行う  
また、研究・公開授業の指導案の作成、テスト問題(活用問題)なども個人レベルではなく、教科として検討する。
- ◎「Hirakata 授業スタンダード」・「四中メソッド」に基づいた授業づくり、授業改善に向けた取組、評価方法等の研究を、学力向上委員会を中心として組織的に推進する。
- ◎ **公開授業週間の設定、公開研究授業の実施によって教員同士で気軽に授業を参観し、学び合い、高め合える環境をつくる。**
- ◎ 特に言語活動を重視し、読み取る力・書く力・話す力・考える力の向上をめざす。
- ◎ **人とつながる力を育めるように、すべての教科においてペア学習やグループ学習を積極的に活用する。**
- ◎ 家庭学習の定着に向け、課題の研究・タブレットの活用に取り組み、とりわけ生徒自身が授業に積極的に参加する姿勢を育てるために予習の徹底を図る。
- ◎ **基礎的・基本的な学力に課題を持つ生徒への支援を図る取組を進める。**
- ◎ 授業アンケート・研究授業等に取り組み、授業力の向上を図る。
- ◎ 英語の少人数授業を実施し、きめ細かい指導を行う。
- ◎ 全国学力・学習状況調査等の結果を分析・活用し、授業の検証・改善を図る。
- ◎ NET を積極的に活用し、英語教育のさらなる活性化を図る。
- ◎ 図書・ICT 部(司書教諭を含む)を中心とした読書活動の工夫や学校図書館の有効利用を図り、読書指導の充実に努める。
- ◎ **ユニバーサルデザインによる教室や授業デザインなど環境整備を推進する。**

## ② 生徒指導の充実

- ◎ 生徒指導主事を中心とした指導体制により、以下の方針に基づいて学校が一体となり適切な指導を行う。
  - 生徒指導は全教員で協力して行う。
    - ・ **問題行動に直面した教師が看過せず第一段階の指導を行う**
    - ・ 当該学年が、担任・生徒指導担当を中心として指導にあたる
    - ・ 生徒指導上の情報は出来る限り全員で共有する
  - 即日・即対応を原則とする。
  - **保護者との連携を大切にする**
  - 全体集会・学年集会・学級指導を重視し、生徒集団の質を高め、自治・自浄能力を育てる。
    - ・ **様々な生徒指導上の問題について生徒集団に問題提起し、主体的に考えさせる**
    - ・ 学級代表者会議を活用し、生徒主体の取り組みを創り出していく

- 問題行動の予防・早期発見に努める
  - ・班ノートや終礼等の日常活動を大切にし、教師間の情報交流を密にする
  - ・教育相談、アンケート調査等の充実を図る
  - ・スクールカウンセラーとの連携を密にする

- 関係外部諸機関との連携を大切にす

- ◎関係機関等と連携し、不登校の問題に組織的に取り組む

- ・校内教育支援ルームの効果的な活用やフリースクール等との連携強化を図っていく

- ◎各教科や道徳、総合的な学習の時間等の年間指導計画に情報モラル教育を位置づけ、学校教育全体で情報モラル教育を推進できるように努める

- ◎安全管理体制の充実を図り、学校の安全管理・生徒の安全確保に努める。

- 防災計画を必要に応じて見直し、日頃から教職員の連絡・配備体制について周知するとともに、災害に備えた危機管理体制の確立を図る

- ◎日々の清掃活動を大切にし、環境教育を推進し、「S-EMS」に取り組む

### ③ 人権キャリア教育の充実

#### 【人権】

- ◎人権教育の校内体制を整備し、担当教員を中心として組織的な取組を推進する。

- ◎同和教育をはじめとした反差別の立場に立った人権教育を推進する

- ◎同和教育、共生教育(在日外国人、障がいのある人、多様な性、人種、民族)、平和学習、国際理解教育等に、生徒が自分自身の問題として考え行動できることをめざして取り組む。

- ◎上記の様々な課題を自分事として考えることで、自分の身の回りの「いじめ」等の人権問題に目を向け、解決に向けて行動できる生徒、及び生徒集団の育成をめざす

- ◎生徒一人ひとりが活躍できる場を積極的に作り、いろんな場面で自分の力を発揮させるように努め、自己肯定感を高める

- \*研修等を通じて、教職員の人権意識の向上に努める

#### 【進路】

- ◎進路指導主事を中心とした校内進路指導体制を確立する。

- ◎生徒一人ひとりの考え方、生き方を大切にし、人権に十分配慮した適切な指導を行い、すべての生徒の進路保障をめざす。

#### 【キャリア】

- ◎キャリア教育の校内体制を整備し、担当教員を中心として組織的な取り組みを推進する。

- ◎キャリア教育を推進する中で、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を育む。

- ◎地域の人材等の活用による職場体験学習など、進路にかかわる啓発的な体験活動を積極的に取り入れ、指導の充実を図る。

- ◎生徒一人一人の勤労観・職業観を育み、主体的に進路を選択できるようキャリア教育の充実に努める。また、学校教育活動全体を通じて系統的・継続的な指導を推進する。

### ④ 支援教育の充実

- ◎支援教育の校内体制を整備し、支援教育コーディネーターを中心として組織的な取り組みにより、「ともに学びともに育つ教育」を推進する。

- ◎ ノーマライゼーション・インクルーシヴ教育の理念を踏まえ、支援教育の推進に努める。通常の学級において、積極的にユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組むなど、障がいのある生徒への理解を深め、全校的な支援体制を確立する。

- ◎個別の指導計画、教育支援計画をもとに指導方法の研究を深め、生徒本人や保護者の意向を尊重し、十分な配慮のもとに取り組む

### ⑤ 道徳教育の充実

- ◎教科としての道徳の重点目標・全体計画・年間指導計画等の作成や指導方法の工夫改善に取り組む。

- ◎道徳教育推進教師を中心に、各教科・特別活動・総合的な学習との関連を踏まえて取り組む。

- ◎よりよい評価の在り方について継続的に研究する。

### ⑥ 開かれた学校運営の推進

- ◎通信、ホームページ(ブログ)等を活用し、学校からの情報(学校の取組・生徒の様子など)を保護者や地域に積極的に発信する。

- ◎家庭・地域との連携を図り、相互理解を深める。

- ◎学校教育自己診断・協議会形式での学校評議員等の外部評価を活用し、学校運営の改善を図る。

### ⑦ 小中一貫事業の継続

- ◎第四中学校区(四中、五常小、開成小、山之上小)として、小中連携を推進する。

- ◎義務教育9年間を見据えた指導により、「自立・自律・そして自走できる子ども」をめざし、「学習規律の定着」「学びの連続性の確立」「きまりを守る等の規範意識の醸成」を図り、夢を語れる生徒の育成を推進する。

- ◎中学校区として取り組んできた、事務部門における小中事務連携をさらに推進する。

## 7. 会議の位置づけ

### □ 職員会議…定例月1回

#### 1. 職員会議の位置づけ

- ・「枚方市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則」に基づき運営する。
- ・校長の職務の円滑な執行を図るため、校長が招集し、主宰する。
- ・校務に関する事項について教職員間における意思疎通、共通理解の促進、意見交換等を行う。

#### 2. 職員会議の留意事項

- ・教職員は、職員会議で意見を表明し、議案を提出することができる。
- ・職員会議に、欠席、遅刻する場合は、管理職の承認を得るとともに議長に連絡する。
- ・議案の提案者は企画委員会で管理職の承認を得て、職員会議までに議案を提示する。会議中の提案は原則として採り上げない。
- ・職員会議の円滑な運営を図るため、議案の提案者は事前に提案方法や時間等について議長と十分協議する。また、議長は校長に運営方法について事前に了解を得る。
- ・職員会議の欠席者は、会議録で内容を把握し、確認しておく。また、書記は議事録を作成する。

### □ 企画委員会(提言機関)…定例週1回

- ・本委員会の構成メンバーは、校長、教頭、首席、指導部チーフ(必要に応じて研究部チーフ)、学年主任、支援CO、養護教諭、事務長、からなる。
- ・本委員会は、教職員等のアイデアを学校運営に反映し、ボトムアップの学校改革を行うために組織する。
- ・本委員会は、週1回時間割内に開催し、職員会議で提案する議案内容について共通理解を図る場である。

### □ 学力向上委員会(研究機関)…定例月1回(教科主担者連絡会を兼ねる)

- ・本研究会の構成メンバーは、校長、教頭、首席、学力向上主担者、各教科代表からなる。
- ・本研究会は月1回開催し、学力向上に向けた様々な取り組みについて研究・提言するとともに、『四中メソッド』の授業や評価規準や方法等、評価システムの検証について研究し、提言する。

### □ 指導部会(教務部、学習進路部、キャリア教育部、生徒指導部、生徒会部)…週1回

- ・本部会は時間割内に組み込み、毎週開催する。
- ・本部会は各部の主担者が招集し、主宰する。
- ・各部において、学校運営方針に則った企画、立案、提案、運営を行う。

### □ 研究部会(人権支援部、道徳部、図書部)

- ・本部会は各部の主担者が招集し、主宰する。
- ・各部において、学校運営方針に則った研究を行い、企画、立案、提案、運営を行う。
- ・各部会は月1回定例及び必要に応じて開催する。

### □ 支援教育委員会(集約・決定機関)…二月1回程度

- ・本委員会の構成メンバーは、校長、教頭、首席(生徒指導主事)、養護教諭、SC、各学年支援学級担任1名、各学年教員1名からなる。
- ・本委員会は二月に1回程度放課後に開催し、支援に関するの状況について情報共有を図る場である。

### □ 校外学習等選定委員会(集約・決定機関)…随時

- ・本委員会のメンバーは、校長・教頭・首席(生徒指導主事)・キャリア教育部・事務長とする。
- ・修学旅行、校外学習の目的、行き先、内容について、検討・決定を行う。

### □ その他、時間割に組み込み、週1回定期的に実施する会議

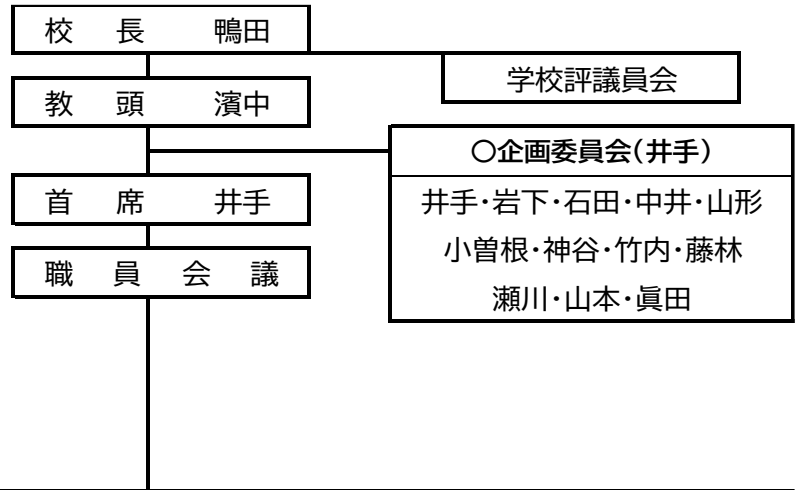
- ・教科部会・支援担当部会・不登校防止対策委員会・いじめ防止対策委員会・虐待防止対策委員会

### □ 学校評議員会(諮問機関)…随時

- ・開かれた学校づくりに資するために、学校評議員会を設置する。
- ・各方面の有識者に意見を求め、学校運営について諮問する。

# (1)校務分掌

教務主任	岩下
首席・生徒指導主事	井手
指導教諭	石田・小曾根
進路指導主事	藤林
保健主事	奥村
1学年主任	瀬川
2学年主任	山本
3学年主任	眞田
司書教諭	阿部



分掌	部長	仕事内容	主担	1年	2年	3年	
指導部	教務	岩下	教務	岩下	北山・南野	岩下・大熊	佐々木・脇谷
	学習進路	藤林	学習進路	藤林	松野・竹内	太田・駿河	石田・藤林
	キャリア教育	中井	キャリア教育 特活・総合・校外学習	中井	西野・小曾根 吉川	中井・船越 小鹿	眞田・岡本 山本
	生徒会	山形	生徒会運営 生徒会行事	山形	上田・栗田 藤谷	森・中村 溝田	山形・秋山
	生徒指導	井手	生徒指導 不登校問題	井手	瀬川・杉岡	山本・木下	奥村・豊村
研究部	図書	阿部	図書教育	阿部	阿部・北山・竹内	溝田	山本・井川
	人権・支援	宇井	人権教育・支援教育	宇井	小曾根・南野・吉川	駿河・小鹿	宇井・佐々木・喜左上
	道德	平山	道德教育	平山	納谷・栗田・藤谷	平山・中村	岡本・秋山
学年内	環境安全	大熊	環境安全	大熊	藤谷	大熊	秋山
	ICT管理	井川	ICT管理	井川	松野	太田・溝田	井川
総務部	総務	竹内	総務・財務・学事・人事	竹内	竹内・丸住・坂本・森山・坂田・学年会計		
支援教育コーディネーター		小曾根	支援教育校内委員会	校長・教頭・首席・支援コーディネーター、各学年1名、各学年支援学級担任1名			
○各教科代表		音楽：宇井	企画委員会	校長・教頭・首席・教務主任・生徒指導主事・学力向上主担者 各学年主任・進路指導主事・キャリア教育主担者・生徒会主担者・ 支援教育co・養護教諭・総務部長			
国語：北山		美術：船越		初任期教職員指導コーディネーター：石田			
社会：石田		保体：奥村		○エコスクール推進委員(大熊)			
数学：山本		技家：竹内		○ハラスメント防止委員会(神谷)			
理科：井川		英語：藤林	○校務・情報管理・情報セキュリティ(井川)				
○虐待対応委員会(井手) 校長・教頭・生徒指導主事・支援co・養護教諭・SC・各学年生徒指導1名			校務管理者：岩下・脇谷・藤林・井手				
○いじめ防止・不登校委員会(井手) 校長・教頭・首席・支援co・養護教諭 SC・各学年生徒指導1名			C4th：岩下 ICT環境整備：井川				
○食育推進(食物アレルギー対応)委員会(神谷) 校長・教頭・佐藤・神谷・井手・竹内・奥村			情報教育 1年：松野 2年：太田・溝田 3年：井川				
○学力向上委員会(小中一貫学力向上推進コーディネーター：石田) 校長・教頭・首席・北山・竹内・小曾根・山本・船越・石田・井川・宇井・奥村・藤林			○校外学習等選定委員会(校長) 校長・教頭・事務・首席・生徒指導主事・キャリア教育部				
○小中連携推進リーダー(井手)			○学校保健委員会(神谷)校長・教頭・養護教諭・校医・保護者 *年1回開催*				
○図書委員会(阿部)校長・教頭・司書教諭(阿部)・事務			○地域教育協議会 事務局：校長 教頭 井手 情報交流：各学年				

## (2)教職員構成

### ① 学年配置等

校長	鴨田	教頭	濱中	首席 生徒指導 主事	井手
----	----	----	----	------------------	----

第1学年担当		第2学年担当		第3学年担当	
(学年主任) 瀬川		(学年主任) 山本		(学年主任) 眞田	
1組	瀬川	1組	船越	1組	喜左上
2組	上田	2組	森	2組	豊村
3組	納谷	3組	山本	3組	宇井
4組	西野	4組	木下	4組	脇谷
5組	杉岡	5組	平山	5組	眞田
6組	松野	6組	太田	6組	奥村
7組	阿部				
副担任	北山	副担任	中井	副担任	藤林
副担任	藤谷	副担任	岩下	副担任	井川
副担任	竹内	副担任	駿河	副担任	山本
副担任	吉川	副担任	溝田	副担任	秋山
養護教諭	神谷	養護教諭	佐藤	副担任	岡本
				副担任	石田

支援学級担任	栗田	支援学級担任	山形	支援学級担任	大熊
支援学級担任	南野	通級指導教室担当	小曾根・佐々木	支援学級担任	小鹿
学力主担	石田	副主査	竹内	主事 臨時主事	丸住・坂本
支援学級非常勤講師	栗山	不登校支援員	伊東・細谷	音楽科非常勤講師	久渡
理科非常勤講師	栗山	NET	Adrian Jankowski	美術科非常勤講師	前川
司書教諭	阿部	校務員	森山・坂田	施設管理人	上野
施設管理人	川端	施設管理人	谷川	施設管理人	中川
SC	篠置	看護師介助員	柳田・宮里・石川 笠井・寺本・竹内	業務支援員	渡邊
介助員	竹田・岡本	ICTサポート	岩崎	支援教育支援員	川添・池上

② 教科担当等

教科	名 前	教科	名 前	教科	名 前	教科	名 前
国語	○北山	理科	○井川	技術 家庭	山本	支援	○小曾根
	松野		藤谷		○竹内		栗田
	溝田		上田	○竹内	南野		
	喜左上		中井	○藤林	大熊		
社会	○石田		栗山	阿部	小鹿		
	杉岡	○宇井	西野	山形			
	森	久渡	平山	佐々木			
	木下	○船越	中村	栗山			
	眞田	前川	★駿河				
数学	○山本	美術	○奥村	英語	★岡本		
	納谷		吉川		秋山		
	瀬川		太田		井手	★…少人数担当	
	岩下		豊村		NET		Adrian Jankowski
	脇谷						

③ 部活動顧問

部 名	顧 問 名
陸 上	奥村 小曾根 杉岡
野 球	瀬川 太田 森
サッカー	井手 山本 <sup>か</sup> 脇谷
バドミントン	喜左上 木下 平山
バレー(女)	山形 豊村 佐々木
バスケ(男)	西野 納谷 松野
バスケ(女)	眞田 藤林
テニス(男)	中井 藤谷 南野
テニス(女)	船越 岡本 阿部

部 名	顧 問 名
剣 道	石田 小鹿 中村
卓 球	井川 吉川 北山
水 泳	秋山 溝田
茶 華 道	駿河 (佐藤)
演劇	上田 竹内
マンガイラスト	大熊
マルチメディア	山本 <sup>し</sup> 三好
吹奏楽	宇井 飯野 大島

<外部指導員>

茶華道	田崎 英美	谷 なつみ	バドミントン	古園 宏洋	女子バスケットボール	長屋 太一
陸上	河合 裕文		吹奏楽	坂之上 篤	吹奏楽	川邊とおる
男子ソフトテニス部	松澤 眞治		男子バスケットボール	岩本 直己		

(3) 学年・学級編制(4月1日現在)

学級	第一学年			第二学年			第三学年		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
1	19	17	36	19	19	38	21	18	39
2	18	18	36	19	19	38	20	19	39
3	19	18	37	17	20	37	20	19	39
4	19	18	37	18	20	38	21	18	39
5	19	18	37	18	20	38	20	19	39
6	18	18	36	18	21	39	21	18	39
7	18	18	36						
支援	8	3	11	7	3	10	6	2	8
計	130	125	255	109	119	228	123	111	234
						総合計	362	355	717

(4) 学校医・学校薬剤師

科目	氏名
薬剤師	吉川 弘基
内科医	友田 伊一朗
内科医	染野 泰典
内科医	藤本 良知
歯科医	曾川 浩二
歯科医	紅露 吉浩
歯科医	北川 祐介
眼科医	岡田 康平
耳鼻科医	伊東 明彦

## 2. 教育課程

### (1)各教科等の時間配当

学年	授業日数	国	社	数	理	音	美	保体	技・家	英	道	特	総	総授業時数
1	202	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
		4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2	201	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
		4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3	194	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015
		3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

### (2)週時程表

日課表(掃除○)	
予鈴	8:35
出欠など	8:40 ~ 8:50
1限	8:50 ~ 9:40
2限	9:50 ~ 10:40
3限	10:50 ~ 11:40
4限	11:50 ~ 12:40
昼食	12:40 ~ 13:25
5限	13:25 ~ 14:15
6限	14:25 ~ 15:15
終礼	15:20 ~ 15:30
掃除	15:30 ~ 15:40
クラブ	~ 16:45
※17:00完全下校	

日課表(そうじ×版)	
予鈴	8:35
出欠など	8:40 ~ 8:50
1限	8:50 ~ 9:40
2限	9:50 ~ 10:40
3限	10:50 ~ 11:40
4限	11:50 ~ 12:40
昼食	12:40 ~ 13:25
5限	13:25 ~ 14:15
6限	14:25 ~ 15:15
終礼	15:20 ~ 15:30
クラブ	~ 16:45
※17:00完全下校	

\*定期テスト1週間前からは、部活動を中止します。

### (3)教科横断計画表・各教科等の目標と課題・方策

1年生 年間計画(教科横断大計画表)

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	保健	技術	家庭	英語	特活	道徳	総合
4月 ・朝のリラクゼーション ・電5	世界の姿⑤ 歴史への扉⑤	正の数・負の数⑩	自然の中にあふれる生命⑩ いろいろな生物とその共通点⑩ ・植物の分類とその特徴 ・動物の分類とその特徴	歌唱 主人は冷たい土の中に 校歌 器楽 リコーダー 鑑賞 「春」音楽のポイントに注目して聴こう	広がる模様の世界 (色学習)⑦	体づくり運動⑩		技術分野のガイダンス②	食事の役割と中学生の栄養的特徴③ 中学生に必要な栄養素を痛たす食事④	Get Ready!小学校で学んだ英語の復習③ アルファベットの文字と音、つづり字と発音 英語の音順	学級開き・学年級づくり 自己紹介 共生社会学習プロジェクト・ベンチャーにむけて	困難を乗り越える力 公德心、公共の精神 公正、公平、社会正義 ④	自分を考える(興味) 人間関係作り
5月 ・ペンギンの防寒着① ・クジラの飲み水③ ・文法「文節・単語」⑤	日本の姿⑥ 世界の古代文明と宗教の起り③	正の数・負の数⑫				機械運動⑩ (マット)				Program1 -be動詞 -where Step1 発表の仕方	プロジェクト・ベンチャーにむけて 生徒総会にむけて	向上心、個性の伸長 文化の尊重、国際理解 よりよい学校生活、集団生活の充実⑤	
6月 ・空中ブランコ乗りのキキ⑤ ・字のない葉書⑤ ・文法(文の成分)⑥	世界各地の人々の生活と習慣⑩ 世界の古代文明と宗教の起り③	正の数・負の数⑭ 文字の式⑭		歌唱 朝の風に 2部合唱 器楽 リコーダー 創作 「リズム曲を作ろう」	文字っておもしろい (カブツ舞のデザイン)⑧	バスケットボール⑩				Program2 -一般動詞 -when 命令文 Program3 -can -what Step2 マッピングの使い方 Our Project1 【自己紹介】あなたの知らない私	人権学習	礼儀の心 自然を愛する心 自然に感動する心 節度、節制 お互いを認め合う 支え合う家族 よりよく生きる喜びの	避難訓練 体育祭 文化祭
7月 ・1000円の価値 ・書写② ・部首と成り立ち③	世界の諸地域-1アジア州⑤ 日本列島の誕生と大陸との交流④	文字の式⑯	光・音・力による現象⑯ ・光による現象 ・音による現象 ・力による現象	歌唱 「浜辺の歌」 器楽 リコーダー 鑑賞 「魔王」	暮らしの中の木の形(寄せ木アート)⑩ 鑑賞との出会い⑫	水泳⑤ (クロール)		材料と加工の技術の原理・法則と仕組み⑩ 私たちとT.P.O① 衣服計画に必要な衣服の選択② 作って楽しい布製品④	どうして衣服を穿くのだろうか① 私たちとT.P.O① 衣服計画に必要な衣服の選択② 作って楽しい布製品④	Program1 【自己紹介】あなたの知らない私 Program4 -This is ~, -He (She) is ~, -who	平和学習	1学期の振り返り 2学期のはじめに	国際理解 ① 体育祭 文化祭②
8月 ・月を想う心① 9月 ・竹取物語⑤ ・故事成語⑤	世界の諸地域-2ヨーロッパ州⑤ 古代国家の歩みと東アジア世界④	方程式⑰ 変化と対応⑱	現象	歌唱 「浜辺の歌」 器楽 リコーダー 鑑賞 「魔王」	暮らしの中の木の形(寄せ木アート)⑩ 鑑賞との出会い⑫	水泳⑤(平泳ぎ) 剣道③				Program5 -三人称単数 持ち物をたずねよう			人間関係作り 体育祭 文化祭②
10月 ・防災に関するデータ③ ・文法(名詞)② ・「みんなではないから大丈夫」の怖さ⑤	古代国家の歩みと東アジア世界④ 世界の諸地域-3アフリカ州⑤	変化と対応⑲	身のまわりの性質⑲ ・いろいろ ・物質とその性質 ・いろいろな気体とその性質 ・水溶液の性質 ・物質のす	歌唱 「浜辺の歌」 器楽 リコーダー 鑑賞 「魔王」	暮らしの中の木の形(寄せ木アート)⑩ 鑑賞との出会い⑫	剣道⑤ バレーボール⑤			衣服の手入れ③ よりよい衣生活を自指して② 生活を豊かにする工夫④	Program6 -him,her -why / because Step3 スピーチの構成		動労 つながる生命 災害時、わたしたちにできること④	
11月 ・それだけでいい ・文法(副詞・連体詞・接続詞・感動詞)⑤ ・意味と意図⑥	武士の政権の成立⑥ 世界の諸地域-4北アメリカ州⑤	変化と対応⑲ ④ 平面図形⑳	がたとそ の変化	歌唱 混声3部合唱 (ア・トラグラフス)⑩ 器楽 リコーダー 鑑賞 日本の民謡	なぜか気になる情景(アートグラフス)⑩ 鑑賞との出会い⑫	バレーボール⑤ 持久走③				Program7 -There is ~ -How 疑問詞を使った疑問文 学校案内をしよう Step4 聞き上手になろう		郷土芸能を伝える 動労 ② 理想に向かって公平とは何か弱さを乗り越え生かせる言葉のもつ不思議な力迷いを乗り越えて友情、信頼 つながり社会のために	避難訓練 自分を考える③
12月 ・意味と意図④ ・書写② ・少年の目の思い出し④	ユーラシアの動きと武士の政治の展開⑤ 世界の諸地域-5南アメリカ州⑤	平面図形⑰ 空間図形④	活きている地球⑲ ・身近な大地 ・ゆれる大地 ・火をふく大地 ・語る大地	歌唱 混声3部合唱 (私のマーク)⑩ 器楽 リコーダー 創作・理論 音の長さの聴き取り 鑑賞 雅楽 平調越天楽 管絃	なぜか気になる情景(アートグラフス)⑩ 鑑賞との出会い⑫	持久走⑦		材料と加工の技術による問題解決⑩	日本の食文化と和食の調理③	Our Project2 【他己紹介】 Program8 現在進行形 Power-Up シミュレーションをしよう	性教育 2学期の振り返り	⑦	
1月 ・文法(形容詞・形容動詞)④ ・トピック⑧	ユーラシアの動きと武士の政治の展開⑤ 世界の諸地域-6オセアニア州⑤	空間図形⑱		歌唱 混声3部合唱 (私のマーク)⑩ 器楽 リコーダー 創作・理論 音の長さの聴き取り 鑑賞 雅楽 平調越天楽 管絃	なぜか気になる情景(アートグラフス)⑩ 鑑賞との出会い⑫	ハードル走⑥			住まいの役割① 生活行為と住空間②	Program9 -一般動詞の過去形 Step5 発表用メモを活用しよう	学年行事にむけて	失敗から学んだ希望 ① つながりが生み出す力 社会のきまり 友情、信頼 ③	避難訓練①
2月 ・トピック⑥ 電車は走る③	ユーラシアの動きと武士の政治の展開⑤ 世界の諸地域-7オーストラリア州⑤	空間図形⑳ データの活用④		歌唱 混声3部合唱 (私のマーク)⑩ 器楽 リコーダー 創作・理論 音の長さの聴き取り 鑑賞 雅楽 平調越天楽 管絃	なぜか気になる情景(アートグラフス)⑩ 鑑賞との出会い⑫	ハードル走② サッカー③			日本の住まいと住まい方② 安全で安心な住まい②	インタビューを聞こう Program10 -be動詞過去形 過去進行形 Step6 絵や写真を英語で表現しよう	学年行事 進路学習	つながり社会のために ⑦ 友情、信頼 ③	
3月 ・グループ新聞⑥ 敬語② ・文法(まとめ)③	ヨーロッパ人との出会いと全国統一③ 地域調査の方法③	データの活用④		歌唱 混声3部合唱 (私のマーク)⑩ 器楽 リコーダー 創作・理論 音の長さの聴き取り 鑑賞 雅楽 平調越天楽 管絃	なぜか気になる情景(アートグラフス)⑩ 鑑賞との出会い⑫	サッカー①		社会の発展と材料と加工の技術③	健康で快適な住まい② よりよい住生活を自指して①	Our Project3 私が選んだ1枚 Power-Up 絵葉書を書こう	3学期の振り返り 2年生にむけて	誠実な生き方 友情、信頼 ②	小中通携 学年行事





## R8年度【 国語科 】 教育計画案

### 【重点項目】

コミュニケーション力 ・ やりぬく ・ チャレンジ、行動

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 \*無い部分は削除してください

コミュニケーション力・・・言葉のきまりを理解し、正しく使えるようにする。

対話を通し、自分の意見・気持ち・感情を的確に表現できる。

対話を通し、相手の考え・感情を十分に理解することで、お互いの関係が発展性を持つ。

やりぬく・・・課題(問題)に最後まで取り組む。

チャレンジ、行動・・・関心を高め、積極的に取り組む。

日常生活と結び付けながら、自ら授業に真剣に散り組む。

### 【取り組み内容】 時系列で列挙

<通年> 漢字テスト・協働作業(グループ活動)・作文・書写・ICTの活用

4月… シラバス作成

5月… 単元テストの検討・振り返り

6月… 単元テストの検討・振り返り

7月… 日本文化についての調べ学習(3年)

百人一首レポート(2年)

ポップ作成(1年)

8月… 日本文化についての調べ学習(3年)

百人一首レポート(2年)

実力テスト検討・振り返り

9月… 文化祭展示(1年)・実力テスト検討

10月… 単元テストの検討

11月… 実力テスト振り返り・期末テスト検討・研究授業指導案検討

12月… 日本文化のレポート(2年)

1月… 実力テスト検討・振り返り・卒業テスト検討・振り返り

百人一首大会に向けた取り組み

百人一首大会<2年生>

2月… 卒業生へのメッセージ作り<1年>・学年末テスト検討・振り返り

やりぬく

コミュニケーション

3月… 次年度の年間目標・年間計画(暫定)の設定

やりぬく

## R8年度【 社会科 】 教育計画案

### 【重点項目】

《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動…】対話や折衝(折り合い)

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《コミュニケーション力》

最終目標:社会の本質に対する探求心を育む(個人)

そのために班で問いに迫る。他者の意見や発表を聴く→自分で考える、理解する

→ 疑問、考えたこと、自分の意見を他者に伝える。

この流れを通して、自分の意見を変容させたり、他者の意見を変容させたりする。そのやり取りを繰り返す、グループでより良いものをつくりあげていく。最終的に個人へ返っていく(最終目標へ)。一人ではできないことは限られているが、複数で取り組めば、可能性はより広がる。

【取り組み内容】時系列で列挙

通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働学習(グループ活動)</li> <li>・ICT 機器の活用</li> <li>・家庭学習の充実(問題集等の活用)</li> <li>・予習プリント(反転学習)</li> <li>・単元テスト、単元レポートの実施</li> <li>・パフォーマンス課題の実施</li> </ul>	コミュニケーションカ	チャレンジ・行動	やりぬく	
4月:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りによる学習内容の言語化</li> <li>・ガイダンス(全学年)</li> </ul>	振り返り・改善			
6月:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末テストの問題検討、振り返り</li> </ul>				
8月:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの宿題(パフォーマンス課題)</li> </ul>	自分で決める	チャレンジ・行動		
10月:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭展示(夏休みの宿題を展示)</li> <li>・研究授業(2, 3年生)の指導案検討、実施、協議</li> </ul>				
11月:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸せに生き合う×WorldShift プロジェクト スタート(～3月)(3年生)</li> </ul>	コミュニケーションカ	自分を知る	振り返り・改善	やりぬく
12月:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末テストの問題検討、振り返り</li> <li>・租税教室(3年生)</li> <li>・冬休みの宿題(パフォーマンス課題)</li> </ul>	自分で決める	チャレンジ・行動		
1月:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業テストの問題検討、振り返り</li> <li>・研究授業(1年生)の指導案検討、実施、協議</li> </ul>				
2月:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末テストの問題検討、振り返り</li> <li>・WorldShift 発表</li> </ul>	自分で決める	チャレンジ・行動		
3月:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の年間目標・年間計画(暫定)の設定</li> </ul>				

【R8年度【 数学科 】教育計画案

【重点項目】上の付けたい力の中から(複数でも OK)

○コミュニケーションカ

○振り返り・改善

○やりぬく

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 \*無い部分は削除してください

《コミュニケーションカ》

- ・自分の力だけでは分からない、できない生徒が周りを頼ることができる
- ・わかる、できる生徒が「わかる?できる?」と周りの生徒に声をかけることができる
- ・話し手として
  - 聞き手が分かるように、伝わるように説明することができる
- ・聞き手として
  - 相手の説明を、自分が理解しようという姿勢で聞くことができる
  - 必要に応じて相手に質問もし、自分が理解できるまで聞き続けることができる

《振り返り・改善》

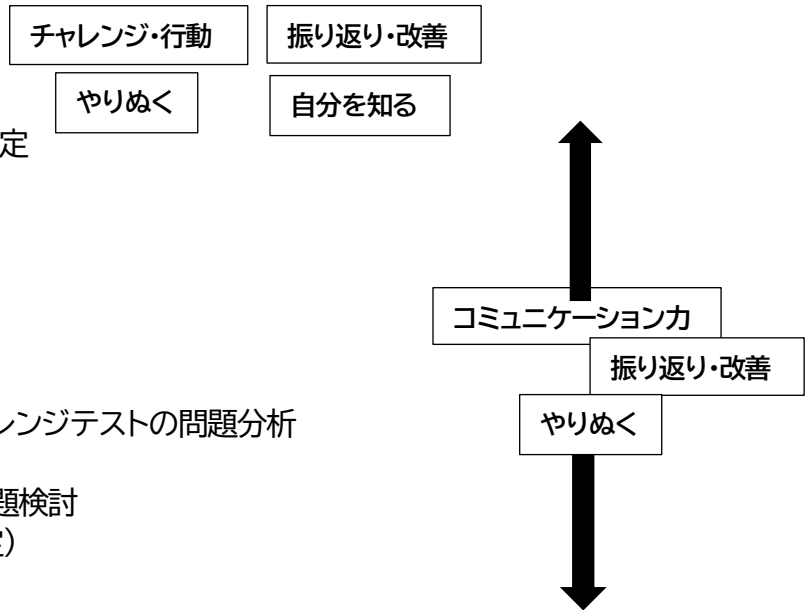
- ・日々の学習に対し、自分がどれくらい参加し、取り組めたかを振り返ることができる
- ・自分で何が分かったか、分からなかったかを書くことができる。
- ・自分で何ができるようになったのか、できていないかを書くことができる。
- ・もっと知りたいこと、調べたいこと、疑問に思ったことを書くことができる。
- ・家庭学習や次時への学習へつなげることができる。

《やりぬく》

- ・自分の実状に応じて、問題や課題を時間いっぱいまでやり切ることができる。
- ・50分間授業に参加し、課せられた提出物を出すことができる。

【取り組み内容】時系列で列挙

- 通年：・単元テストの作成、実施、評価  
 ・レポート課題の作成、実施、評価  
 ・教科部会の実施
- 4月：・年間指導計画の検討、教科教育目標の策定  
 5月：・全国学力・学習状況調査の問題分析  
 6月：・期末テストの問題検討  
 8月：・全国学力・学習状況調査の結果分析  
 9月：・校内研究授業の指導案検討  
 11月：・期末テストの問題検討  
 12月：・校内研究授業の実施  
 1月：・校内研究授業の指導案検討、大阪府チャレンジテストの問題分析  
 卒業テストの問題検討  
 2月：・校内研究授業の実施、学年末テストの問題検討  
 3月：・大阪府チャレンジテストの結果分析(予定)



R8年度【 理科 】教育計画案

【重点項目】

《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動・・・】対話や折衝(折り合い)

《振り返り、改善》

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《コミュニケーション力》

- ・課題について解決する手順を考え、それを他者に説明し、他者の考えも理解することができる
- ・実験を行うにあたって、教員の説明や指示をよく理解し、班の仲間と協力して、安全に実験操作を行える
- ・実験で考察したことを他者に説明し、他者の考察も理解することができる

《振り返り・改善》

- ・実験、観察の結果を振り返り考察し、授業での知識を活用して言語化することができる。

【取り組み内容】時系列で列挙

- ・7月 「調べ学習コンクール」に出典するための調べ学習の実施、図書館利用
- ・9月 作成した作品の見る機会の設定 文化祭に出展
- ・通年 適切な実験等の体験  
 ワークシートやノート、課題を設定して、生徒活動、交流を中心にした授業の展開を実施  
 理科部会で授業展開の教材や実験・観察アイデアの交流  
 単元ごとにレポートの実施、ワークシート等を活用した「見える評価」化

・年間計画

	1年	2年	3年
4月	自然の中にあふれる生命(9h)	生物の体のつくりとはたらき(39h)	地球の気候と天気の変化(30h)
5月	生命の連続性 (23h)	化学変化と付与(29h)	生物のふえ方と成長
6月	いろいろな生物とその共通点(19h)	・生物のからだをつくるもの	・地球をとり巻く大気の様子
7月	・植物の分類とその特徴、動物の分類とその特徴	・植物の体のつくりとはたらき	・待機中の水の変化
8月	光・音・力による現象 (28h)	・動物の体のつくりとはたらき	・天気の変化と大気の動き
9月	・光による現象、音による現象	・動物の行動のしくみ	・大気の動きと日本の四季
10月	・力による現象	化学変化と原子・分子(34h)	運動とエネルギー(36h)
11月	身のまわりの物質 (25h)	・物質の成り立ち	・力の合成と分解 ・物体の運動
12月	・いろいろな物質とその性質	・物質の表し方	・仕事とエネルギー
1月	・いろいろな気体とその性質	・さまざまな化学変化	・多様なエネルギーとその移り変
2月	・水溶液の性質、物質のすがたと変化	・化学変化と物質の質量	・エネルギー資源とその利用
3月	生きてる地球 (24h)	電流とその利用 (37h)	自然と人間 (30h)
計	105 h	140h	140h

R8年度【 音楽科 】 教育計画案

【重点項目】

《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動・・・】 対話や折衝(折り合い)

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《コミュニケーション力》

・仲間と協力しながら、よりよいものになるように試行錯誤することができる生徒

・自分の意見をしっかり伝えつつ、仲間の意見にも耳を傾けられる生徒

【取り組み内容】 時系列で列挙

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	歌唱	My voice-校歌 主人は神代にのちに		朝の風に 夢の世界を 泳ぐの歌		赤とんぼ		混声三部合唱「 」				
	器楽	オリエンテーション	リコーダー-Lesson1				リコーダー-Lesson2		リコーダー-Lesson3			
	創作・理論	リズムトレーニング 言葉とリズム						民謡創作				
	鑑賞	ジョーズのテーマ	春		魔王				雅楽 平調 越天楽			
2年	歌唱	My voice-校歌 真をください	夏の思い出 サングラチア				荒城の月		混声三部合唱「 」			
	器楽	オリエンテーション	リコーダー-Lesson3	リコーダー-Lesson4							ギター	
	創作・理論	リズムトレーニング リズム創作						旋律創作				
	鑑賞	交響曲第5番 ハ短調			オペラ「アイダ」		歌舞伎「勧進帳」				世界の諸民族の音楽	
3年	歌唱	My voice-校歌 花・早春賦								卒業の歌「 」		
	器楽	オリエンテーション	リコーダー「春の世界」		リコーダー「カノン」							
	創作・理論	リズムトレーニング						ポピュラー音楽 著作権			卒業創作	
	鑑賞		ブルタハ・モルダウ				組曲「展覧会の絵」から					

## R8年度【 美術科 】教育計画案

【重点項目】上の付けたい力の中から(複数でも OK)

・自分を知る 自分で決める チャレンジ・行動 振り返り・改善  
やりぬく コミュニケーション力

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 \*無い部分は削除してください

《自分を知る》 ・表現したものを客観的にみることで、自分らしさに気付く。  
《自分で決める》 ・制作過程を計画的に意識し、イメージを自己決定出来る。  
《チャレンジ・行動》 ・イメージを具現化する中で、自分らしさを追求する。  
《振り返り・改善》 ・(振り返りシートの中で)成果や目標の設定が出来る。  
《やりぬく》 ・形に出来る。

《コミュニケーション力》

・制作途中や鑑賞の中で、作者の心情を理解出来る。  
自分自身の考えや感じた造形的な美しさを伝えることができる。

【取り組み内容】時系列で列挙

		<全ての授業で>
通年	:	
4月	:	・(1年)デザイン(2年)デザイン(3年)絵画
5月	:	・ ↓
6月	:	・(1年)デザイン(2年)鑑賞 (3年)絵画
7月	:	・ ↓
8月	:	・(1年)工芸 (2年)工芸 (3年)工芸
9月	:	・ ↓
10月	:	・(1年)鑑賞 (2年)表現 (3年)自由表現
11月	:	・(1年)絵画 ↓
12月	:	・ ↓
1月	:	・(1年)デザイン(2年)絵画 (3年)デザイン
2月	:	・ ↓
3月	:	・(1年)鑑賞 (2年)表現 (3年)絵画

## R8年度【 保健体育科 】教育計画案

【重点項目】

《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動・・・】 対話や折衝(折り合い)

《やりぬく》

自己を更新する「完遂力」の育成

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《コミュニケーション力》

・課題解決に向けて自分の意見を他者に伝えたり、他者の意見を受け入れ取り組むことができる  
・結果に関わらず、仲間の良いプレーを称え、ミスに対しても前向きな声掛けができる

《やりぬく》

・自身の限界に挑戦し、スモールステップで課題をクリアすることができる  
・失敗を終わりではなく、再試行する粘り強く取り組むことができる  
・互いを支え、高め合う集団の一員としての自覚をもち、行動できる



学年	科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
第1学年	教科	材料と加工の技術						材料と加工の技術			材料と加工の技術			
	学習内容	・材料ごとの特徴の理解						・材料に適した加工方法 ・丈夫な製品を作るために ・設計、製作			・材料に適した加工方法 ・丈夫な製品を作るために ・設計、製作			
	習得内容	・材料ごとの特徴の理解						・材料に適した加工方法 ・丈夫な製品を作るために ・設計、製作			・材料に適した加工方法 ・丈夫な製品を作るために ・設計、製作			
第2学年	教科	情報の技術			生物資源に関する技術			情報に関する技術			情報に関する技術			
	学習内容	・情報の技術と連携・法制と仕組み ・情報のデジタル化 ・ネットワークの仕組み ・情報モラルとセキュリティ			・作物の栽培			・コンピュータと情報処理 ・ネットワークと情報セキュリティ ・プログラミングによる問題解決			・デジタル作品の制作 ・動画ソフトの利用			
	習得内容	・情報の技術と連携・法制と仕組み ・情報のデジタル化 ・ネットワークの仕組み ・情報モラルとセキュリティ			・作物の栽培			・コンピュータと情報処理 ・ネットワークと情報セキュリティ ・プログラミングによる問題解決			・デジタル作品の制作 ・動画ソフトの利用			
第3学年	教科	エネルギー変換に関する技術			エネルギー変換に関する技術			エネルギー変換に関する技術			電気回路の製作			
	学習内容	・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・情報の安全な利用と保守体制 ・学習			・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・情報の安全な利用と保守体制 ・学習			・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・情報の安全な利用と保守体制 ・学習			・電気回路の製作			
	習得内容	・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・情報の安全な利用と保守体制 ・学習			・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・情報の安全な利用と保守体制 ・学習			・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・情報の安全な利用と保守体制 ・学習			・電気回路の製作			

## R8年度【英語科】教育計画

### 【重点項目】

#### 《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動・・・】対話や折衝(折り合い)

### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

#### 《コミュニケーション力》

- ・自分だけでなく、他者の存在を認め、他者への思いやりを行動や言動で表現できる
- ・他者がどのように思っているか想像し、自分と他者と大切にしようとする行動ができる

### 【取り組み内容】時系列で列挙

通年：協働学習(グループ活動) ICT 機器の積極的活用 授業プリント 自主勉ノート  
 家庭学習(デジタル教科書)の実施 Weblio Study (年2回実施) 単元テスト  
 パフォーマンステスト(プレゼンテーション・スピーキングテスト等) 単元計画表  
 学習記録表の実施(学年によって手段は様々) 暗唱テスト(学年によって手段は様々)

4月：ガイダンス(全学年)

5月：パフォーマンステスト

6月：期末テストの問題検討、振り返り パフォーマンステスト

7月：International Day(3年生)

パフォーマンステスト

8月：夏休みの宿題 パフォーマンステスト

9月：北河内英語科プレゼンテーション

10月：パフォーマンステスト

研究授業(3年生)の指導案検討、実施、協議

11月：パフォーマンステスト、期末テストの問題検討、振り返り

12月：International Day (2年生)、冬休みの宿題

パフォーマンステスト

- 1月：卒業テストの問題検討、振り返り 研究授業(2年生)の指導案検討、実施、協議  
International Day(1年生)  
2月：学年末テストの問題検討、振り返り  
パフォーマンステスト、総括  
3月：次年度の年間目標・年間計画の設定

## OCAN DO リスト

HIRAKATA BASIC CAN-DO STATEMENT for JUNIOR HIGH SCHOOL			
	第1学年	第2学年	第3学年
聞くこと	① 簡単な商品説明や天気予報を聞いて、自分が必要な情報を聞き取ることができる。 ② 関心のある事柄についての簡単な説明(映画の予告編など)を聞いて、その概要を聞き取ることができる。 ③ 短く簡単なアナウンスを聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。	① 短く簡単なアナウンスなどを聞いて、自分が必要な情報を聞き取ることができる。 ② 身近な事柄についての簡単なニュースを聞いて、その大まかな内容を聞き取ることができる。 ③ 日常的な話題の説明や会話(インタビューなど)を聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。	① ある程度の長さのアナウンスを聞いて、その中から自分が必要な情報を探し、聞き取ることができる。 ② 身近な事柄についての簡単なニュースを聞いて、その概要を聞き取ることができる。 ③ 日常的な話題の音声案内や説明を聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。
話すこと [Production]	① 好きな人物や学校生活などについて、即興で応答しながら質問したり、答えたりすることができる。 ② 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うことができる。	① 好きな本や将来したいことなどについて、即興である程度会話を続けることができる。 ② 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、意見交換をしたりすることができる。	① 日常的な話題や社会的な話題について、即興で会話を続けたり、感じたことや考えたことを伝え合ったりすることができる。 ② 日常的な話題や社会的な話題について、読んだ英文の内容を踏まえて、簡単な話し合いをすることができる。
話すこと [Interaction]	① あこがれの人物や夏休みの予定について、準備した上で、発表することができる。 ② 人気のあるキャラクターなどについて、詳しい説明を加えて、準備した上で、発表することができる。	① 日常的な話題について、即興で、簡単な説明をしたり、自分の考えなどを述べたりすることができる。 ② 社会的な話題について、事実や自分の考えなどを整理した上で、発表することができる。	① 日常的な話題について、即興で自分の考えなどを整理した上で、まとまりのある内容を発表することができる。 ② 社会的な話題について、読んだ英文の内容を踏まえて、考えたこととその理由を話すことができる。
読むこと	① 案内図やチラシなどを読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。 ② 簡単な英語で書かれた物語を読んで、そのあらすじ(概要)を読み取ることができる。 ③ 簡単な英語で書かれた雑誌や新聞の記事を読んで、筆者が伝えたいこと(要点)を読み取ることができる。	① 掲示版や商品紹介を読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。 ② 簡単な英語で書かれた記事や物語を読んで、その大まかな内容(概要)を読み取ることができる。 ③ 簡単な英語で書かれたメールやインタビュー記事を読んで、書き手や話し手が最も伝えたいこと(要点)を読み取ることができる。	① 簡単な英語で書かれた商品の説明やイベントの案内を読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。 ② 簡単な英語で書かれたコラムや記事を読んで、その大まかな内容(概要)を読み取ることができる。 ③ 簡単な英語で書かれた情報誌やウェブサイトの記事を読んで、重要な情報(要点)を読み取ることができる。
書くこと	① プロフィールカードや大切なものを紹介するクイズ、ロボットの特徴を書くことができる。 ② 学校生活や行事などについて、事実や自分の考えなどを整理して、短く簡単なメールや絵日記を書くことができる。	① 日常的な話題について、事実や自分の考えを整理して、(おすめの本やおみやげなどの)紹介文を書くことができる。 ② 社会的な話題について、事実や自分の考えなどを整理して、解決策を提案する文を書くことができる。	① 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理した上で、詳しい理由や説明を加え、記事などを書くことができる。 ② 社会的な話題について、読んだ英文の内容を踏まえて、考えたこととその理由を書くことができる。
CEFRとの関連			A1
英検との関連	5級	4級	3級

# (4)「情報教育」の年間計画 (1年生)

## 学年別年間指導計画【中学1年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて適しているものを吟味することができる。 (I-2) 相手や目的に応じて、グラフや図表を用いて効果的に発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間80文字程度)											
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために、目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集することができる。 (II-2) 統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えることができる。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造することができる。 (II-4) 改善点を分析し考えることができる。											
○ プログラミング的思考	(III-1) 論理的な手続きやデータを様々な工夫できることを体験的に理解する。 (III-2) 情報技術の価値を社会や将来に関連付けて考えることができる。											
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。 (IV-3) 情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。											
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	【文法】 mentimeterを用いた意見交流(I・II)	【電】 keynoteで作った作品をオクリンクで意見交流(I・II)	【空中ブランコ 乗りのキキ】 オクリンクでの意見交流(I・II)	【故事成語】 keynoteを用いて個人で作った作品を班で共有オクリンクで意見交流(I・II)	【竹取物語】 オクリンクでの意見交流(I・II)	【少年の日の 思い】 オクリンクでの意見交流(I・II)	【手紙の書き方】 作品提出(I・II)	【トロッコ】 オクリンクでの意見交流(I・II)				
社会	【世界の姿・日本の姿】 世界の国クイズ、日本の都道府県クイズをオクリンクで作成(I・I・I-2)		【世界各地の人々の生活と環境】 配信された雨温図などから気候の特色をまとめて共有(I・I・I-2)		【古代までの日本】 キーパーソンのプレゼンをオクリンクやkeynoteで作成(I・I・I-2)		【古代までの日本・中世の日本】 各時代の文化の特色を資料を用いてオクリンクでまとめる(I・I・I-2)		【世界の諸地域】 各州の探究課題の解決に向けてオクリンクを活用してグループでまとめる(I・I・I-2・II)			
	【通年】ミライシードの活用(オクリンクのカード作成、ムーブノートで意見集約)した意見や考えの交流(I・I・I-2・II)											
数学	【通年】 オクリンク等を用いた意見交流 デジタル教科書を用いた動画(アニメーション)の活用										【確率統計分野】 スプレッドシートを活用した統計処理	
理科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流 実験等の動画、画像撮影(I・II・IV)				【調べ学習】 テーマや内容をWeb等で情報収集(I・II・IV)			【実験器具】 オクリンクでの発表(I・II・IV)				
音楽	【通年】 ミライシードやkeynoteを用いた意見交流 Webを使った調べ学習(II-1,2)								【越天楽】 プレゼンテーションの実施			
美術	【通年】 Webを使った調べ学習、アイデア交流(I-1、II)		【書木アート】 作品写真提出(I-2)		【鑑賞課題・現代アート】 案提出、交流(I・II)			【発想課題・絵】 案提出、交流(I・II)		【発想課題・絵の中をよく見ると】 案提出、交流		
保健体育	【通年】 ミライシードを用いた意見交流 ミライシードを用いたレポート作成 Webを使った調べ学習 numbersを用いたふり返り numbersを用いたデータ処理 Googleclassroomを利用した資料の提示 ビデオ機能を使った動画撮影、研究											
技術	【材料と加工の技術】 様々な製品の最適化 ミライシードで交流(I・II・IV)		【材料と加工の技術】 材料の特性 Webでの調べ学習 ミライシードで交流(I・II)			【材料と加工の技術】 加工法 製図 製作過程を送信提出 適宜 ミライシードで交流(I・II)				【材料と加工の技術】 製作品の評価・課題・改良 ミライシードで交流(I・II)		
家庭科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流(I・II・IV)		【生活を豊かにする製作物】 被服実習～学校で使えるもの編～ ふりかえり提出・交流(I・II)			【栄養バランスの整った食事】 案、ふりかえり提出・交流(I・II)			【防災を意識した住まい方】 案、ふりかえり提出・交流(I・II)			
英語	【通年】 Webを使った調べ学習			【Project1】 Keynoteで「理想のロボット」 プレゼンテーション(I・II)				【Project3】 Keynoteで「大切なもの」 プレゼンテーション(I・II)				
総合的な学習の時間					【文化祭】 スライド作成・発表(I・II・IV)			【防災教育】 ミニレポート 作成交流(I・II)				
情報モラル	【生徒会活動】 通年 ICT委員会(生徒)による情報モラル啓発活動(IV)				【道徳】 SNS講習会 【外部講師】(IV)			【道徳】 使っても大丈夫? (IV)			【数学】 データの活用 (IV)	

(2年生)

学年別年間指導計画【中学2年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて適しているものを吟味することができる。 (I-2) 相手や目的に応じて、グラフや図表を用いて効果的に発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間80文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために、目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集することができる。 (II-2) 統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えることができる。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造することができる。 (II-4) 改善点を分析し考えることができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 論理的な手続きやデータを様々に工夫できることを体験的に理解する。 (III-2) 情報技術の価値を社会や将来に関連付けて考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考慮して適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。 (IV-3) 情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
国語	「セミロングホームルーム」 人物相関図をオクリンクで発表(I・II)		「投稿文」 投稿文作成のための調べ学習(I・II)		「漢詩」 作者についての調べ学習(I・II)		「小さな手袋」 人物の心情の発表(I・II)		「プレゼンテーション」 日本の文化のよさを伝える(I・II・III)		「動物園でできること」 展示の内容をオクリンクで発表(I・II)		
社会	南蛮文化の紹介を作成して発表する。(I-1.2.3・II-1.3・IV-1)		沖縄の基地問題の資料を配布して読み取らせる。(II-1.3.4)		琵琶湖の環境保全の取り組みを調べまとめる。(I-1.2.3・II-1.4)		北陸の地場産産を調べてレポートを作成する。(I-1.2.3・II-2・III-1)		関東の一極集中に関して、KPT法を活用してjamboardにまとめる。(I-2・II-2.4・III-1)		北海道のエコツアーを企画し、どの案が良かったかを述べる。(II-3・III-2)		
数学	【通年】 オクリンク等を用いた意見交流・振り返り デジタル教科書を用いた動画(アニメーション)の活用										【確率統計分野】 データ分析 (箱ひげ図)		
理科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流 実験等の動画、画像撮影(I・II・IV)				【調べ学習】 テーマや内容をWeb等で情報収集(I・II・IV)								
音楽	【通年】 ミライシードやkeynoteを用いた意見交流 Webを使った調べ学習(II-1,2)					【総合芸術】 意見発表(I-1)							
美術	【ポスター作成】 作成・交流 (I-2)		【鑑賞課題・パブリックアート】 案提出、交流 (I-1、II-2、IV-1)			【通年】 Webを使った調べ学習、アイデア交流 (I・II・IV)				【動画作成】 案提出、交流 (I-1、II-2、IV-1)			
保健体育	【通年】 ミライシードを用いた意見交流、Webを使った調べ学習、Googleclassroomを用いた資料の提示、Googleフォームを用いたふり返りの提出、ビデオ機能を使った動画撮影、研究												
技術	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流(I・II・IV)		【情報の技術】 情報通信ネットワークの仕組みと安全に利用するための情報モラル(I・II・IV)				【生物育成の技術】 生物育成計画と実践 育成過程の報告(I・II・IV)			【情報の技術】 PC教室におけるプログラミング(I・II)		【情報の技術】 情報の技術の最適化 ミライシード(I・II・IV)	
家庭科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流(I・II・IV)		【生活を豊かにする製作物】 被服実習～生活を豊かにするもの～ ふりかえり提出・交流(I・II)			【栄養バランスの整った食事】 案、ふりかえり提出・交流(I・II)		【日常食の食事】 ふりかえり提出・交流(I・II)		【エンカル消費にむけて】 ふりかえり提出・交流(I・II)			
英語	【英語 通年】 Oミライシードで意見の交流(I・II)					【英語】 Okeynoteなどで「行ってみたい国エッセイ」 プレゼンテーション(I・II)							
総合的な学習の時間								【防災教育】 Oオクリンクで防災マップの共有(I・II)		【職業インタビュー】 職業などについて調べ学習(I) オクリンクでふりかえりの共有(I・II)			
情報モラル	【生徒会活動】 通年 ICT委員会(生徒)による情報モラル啓発活動(IV)			【技術】 ・安全に利用するための情報モラル ・情報セキュリティ			【道徳】 SNS講習会 【外部講師】(IV)			【道徳】 ・ネット将棋 ・使っても大丈夫?(IV)			

(3年生)

学年別年間指導計画【中学3年】											
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて適しているものを吟味することができる。 (I-2) 相手や目的に応じて、グラフや図表を用いて効果的に発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間80文字程度)										
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を見出し、その解決のために、目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集することができる。 (II-2) 統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えることができる。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造することができる。 (II-4) 改善点を分析し考えることができる。										
○ プログラミング的思考	(III-1) 論理的な手続きやデータを様々な工夫でできることを体験的に理解する。 (III-2) 情報技術の価値を社会や将来に関連付けて考えることができる。										
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。 (IV-3) 情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。										
国語	「岩が」 オクリンクで 意見交流 (I・II)	「俳句の世界」 句の鑑賞文をオクリンクで発表 (I・II)	「握手」 人物相関図を作成オクリンクで交流 (I・II)	「和歌の世界」 歌の鑑賞文をオクリンクで交流 (I・II)	「初恋」 初恋のイメージをオクリンクで交流 (I・II)	「情報社会を生きる」 事例を調べてオクリンクで交流 (I・II)	卒業作品 テーマ決め (I・II・III)				
社会	【通年】 オクリンクで意見交流 (I・II)	【歴史】○二度の世界大戦と日本 ○現代の日本と私たち mentimeter,jamboardで 資料をもとにまとめや議論(I・II)	【公民】○現代社会と私たち ○個人の尊重と日本国憲法 keynoteで発表、ムーブノートで議論 (I・II・III)	【公民】○現代の民主政時と社会 ○私たちの暮らしと経済 ムーブノートなどで模擬裁判など (I・II)	【公民】○地球社会と私たち Oworld shift keynoteなどで発表(ソフトは各自選択) (I・II・III・IV)						
数学	【通年】 デジタル教科書を用いた動画(アニメーション)の活用										
理科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流 実験等の動画、画像撮影 (I・II・IV)	【調べ学習】 テーマや内容をWeb 等で情報収集 (I・II・IV)								【卒業制作】 ・テーマ決めや情報収集(web) ・Keynote等で発表 (I・II・IV)	
音楽	【通年】 ミライシードやkeynoteを用いた意見交流 Webを使った調べ学習 (II-1,2)	【モルダウ】 プレゼンテーションの実施 (I-1、II-2)									
美術	【通年】 Webを使った調べ学習、アイデア交流 (I-1、II)	【鑑賞課題・花】 案提出、交流 (I・II)	【探求課題・自由制作】 提出、交流、制作など (I・II・III)	【鑑賞課題・思い出】 案提出、交流 (I・II)							
保健体育	【通年】 ミライシードを用いた意見交流 ミライシードを用いたレポート作成 Webを使った調べ学習 numbersを用いたふり回り numbersを用いたデータ処理 ビデオ機能を使った動画撮影、研究										
技術	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流	【エネルギー変換の技術】 電気回路の設計と簡単な製作物 工作過程提出・交流 (I・II)	【エネルギー変換の技術】 電気回路の設計と精密な製作物 工作過程提出・交流 (I・II)	【エネルギー変換の技術】 エネルギー変換技術の最適化 ミライシード交流 (I・II)							
家庭科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流 (I・II・IV)	【生活を豊かにする製作物】 被服実習～乳幼児向けのおもちゃ～	【乳幼児向けのおやつ作り】 案、ふりかえり提出・交流 (I・II)								
英語	【通年】 ○ミライシードで意見の交流 (I・II)	【プレゼンテーション】 Keynoteで日本限定アイスクリームの発表 (I・II)									
総合的な学習の時間	「高校調べ」 Keynoteで発表 (I・II)	修学旅行事前学習 (調べ学習) (I・II)									
情報モラル	【生徒会活動】 通年 ICT委員会(生徒)による情報モラル啓発活動(IV)	【社会】 情報化	【道徳】 SNS講習会 【外部講師】(IV)	【道徳】 言葉の向きに(IV)	【道徳】 情報リテラシー(IV)						

(5)「総合的な学習の時間」の全体計画

令和7年度 枚方市立第四中学校 総合的な学習の時間 全体計画と年間計画

学校教育目標  
学びあい、つながりあい、幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成

《生徒の実態》  
・行事や学習面で前向きな生徒が多い。  
・困っている人を助けようとする優しい生徒が多い。  
・自分に自信がなく、集団生活で周りを気にする生徒が多い。受け身的な態度をとる。

《保護者の願い》  
・学習習慣や基本的な生活態度を身につけてほしい。  
・将来に向けて前向きに考え、目標を立てて行動できるようになってほしい。

《地域との関わり》  
・地域協働協力しながら、四中花火フェスタや大掃除プロジェクトなどの取り組みを実施。  
・職場体験や保育体験などで相互に情報をやりとりしながら取り組んでいる。

総合的な学習の時間の目標		
探究的な見方・考え方を働かせ、職業と地域に関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするためには、以下の資質・能力を育成する。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、必要な情報を自ら率先して収集し、情報を多面的にみる・具体化する・構造化するなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。	地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを相手や目的、意図に応じて根拠を明らかにしてまとめ・表現している。	地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら進んで社会に参画しようとしている

【内容】＜目標を実現するにふさわしい探究課題と解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力＞

学年	第1学年	第2学年	第3学年	
学校テーマ	幸せに生き合う力を育む 重点項目【自分を知る】【チャレンジ・行動】【ふりかえり・改善】【コミュニケーション力】			
学年テーマ	創造と表現学習 自分について考える	創造と表現学習 仕事と社会問題について考える	創造と表現学習 生き方について考える	
探究課題	・自分の興味関心、強みに向き合う。 ・見通しを立てて準備し、周りの仲間と共有する。	・自分の興味関心、強み、価値観にあった職場を選択する。 ・職場体験先で学んだ社会の課題を解決する方法を考える。 ・課題の解決方法を周りの仲間などに共有する。	・自分自身と社会を知った上で、自分が幸せに生き合うための生き方を考える。 ・15歳時点での決意した自分の生き方を周りに共有する。	
学習活動	1学期	・校内学習(人間関係づくり) ・自分の興味関心	・校外学習(人権学習) ・自分の強み、価値観	
	2学期	・文化祭、体育祭 ・自分の強み	・文化祭、体育祭 ・職場体験 ・社会の課題を解決する	
	3学期	・小中交流会	・進路学習	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	・エンゲージメントカードを通して、自分の価値観を可視化し、自分を理解する。 ・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身につける。	・地域にある職場についてわかる。 ・働くための心得や意義がわかる。 ・情報を多面的にみる、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身につける。	・地域に住む幸せな生き方をする人について知る。 ・自分の価値観を可視化し、自分を理解することで自分なりに幸せに生き合う姿がわかる。 ・情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。
	思考力、判断力、表現力	・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にし、課題を見いだすことができる。 ・解決の方法や手順を考え、見通しを持って計画を立てることができる。	・自分の目的や意図に即した情報を収集することができる。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択することができる。	・収集した情報を比較したり関連付けたりして、情報と情報がどのような関係にあるか、見いだすことができる。 ・収集した情報を比較したり関連付けたり、因果関係を推測したりすることができる。
	まとめ・表現	・相手や目的に応じて、適切に表現したり、まとめることができる。 ・他教科で培った表現力等を活用したり、学習のしかたを振り返り、他の学習や生活に生かしたりすることができる。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。		
	自己理解・他者理解	探究活動を通して、自分自身を理解し、他者の考えを受け入れ、尊重しながら学び合おうとする。	探究活動を通して、自分自身を理解し、異なる他者の考えや意見を受け入れ、尊重しながら学び合おうとする。	探究活動を通して、自分のよさや他者のよさを生かしながら学び合おうとする。
	主体性・協調性	自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働し、進んで取り組もうとする。	自分や地域の方々の生活を見直すために、進んで取り組もうとする。	地域のさまざまな学習活動によって、さまざまな関わりができた方々と協働し、進んで取り組もうとする。
	将来展望・社会参画	地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分のできることを検討し、実践に移そうとする。	地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分のできることを検討し、自分のできることを他者と協働し、実践に移そうとする。	地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分たちのできることを他者と協働し、実践に移そうとする。

【学習活動】 ・地域の実態、生徒の実態をふまえ、探究課題を設定する。 ・全学年を通して「幸せに生き合う力を育む」を主テーマとした探究的な学習に取り組む。 ・学習成果を表現する場を設定する。 ・年間1テーマでの取り組みを基本とする。	【指導方法】 ・生徒の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。 ・個に応じた指導の工夫を行う。 ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・言語を用いて整理分析したり、表現したりする活動を重視する。	【指導体制】 ・全校指導体制を組織する。 ・学校図書館の整備・充実を図る。 ・地域と教育資源を教材化するとともに、日常的なかかわりを行う。	【学習評価】 ・ポートフォリオやキャリアパスポートを活用した評価の充実。 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

【各教科等で育成する資質・能力】

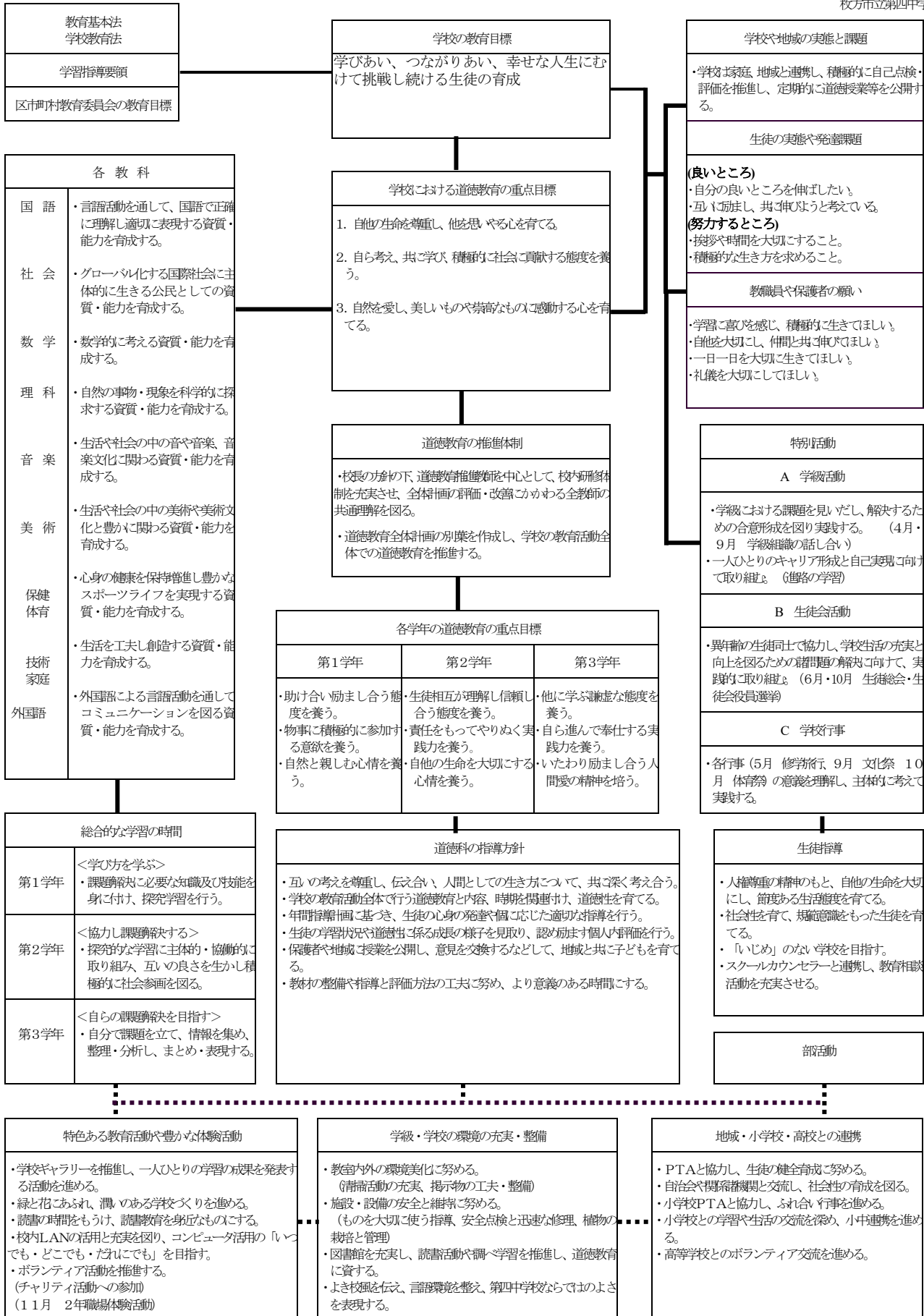
<p>国語</p>	<p>① 知識・技能          &lt;言語についての知識理解する力&gt;          ② 思考・判断・表現          &lt;話す・聞く・書く・読む力&gt;          &lt;自分の思いや考えを適切な方法で相手に伝わるように表現する力&gt;          &lt;相手の思いや考えを適切に読み取る力&gt;          ③ 関心・意欲・態度          &lt;主体的な学習に対する取り組みの姿勢&gt;</p>	<p>音楽</p>	<p>・1年 <u>文化祭</u> 学年合唱  <u>鑑賞</u> 雅楽 平調越天楽 管絃(日本文化)          (自分で決める、チャレンジ・行動、コミュニケーション力)          ・2年 <u>文化祭</u> クラス合唱  <u>鑑賞</u> 歌舞伎「勧進帳」オペラ「アイダ」(日本文化)          (自分で決める、チャレンジ・行動、コミュニケーション力)          ・3年 <u>文化祭</u> クラス合唱・学年合唱  <u>卒業の歌</u>  <u>創作「中学校生活の思い出を詰め込んだ曲を作ろう」</u>          (自分を知る、自分で決める、チャレンジ・行動、コミュニケーション力)</p>
<p>社会</p>	<p>・枚方について調べる(課題発見)          ・農産業や歴史、今後の課題など          ・身近な地域について調べてまとめ、発表する          ・経済について学ぶ(貨幣、金融など)</p>	<p>保健          体育</p>	<p>・体づくり(人間関係づくり)          ・各種目、自分の動きやチームの課題を考え、課題を解決する方法を考える</p>
<p>理科</p>	<p>《チャレンジ・行動》          自分で「この現象はなぜ起きたのか?」と疑問に思い、分析し、考察できる力の育成。          《振り返り・改善》          実験、観察の結果を振り返り考察し、授業での知識を活用して言語化することができる力の育成。          《コミュニケーション力》          自分で考えたことをまとめ、言語化して交流できる力の育成          ハンデ役割分担し、協力して実験を行うことができる。</p>	<p>技術          家庭科</p>	<p>《1年》          ●物づくり          ●食習慣や日本の伝統のよさ(自分や周囲のよさを知る)          Ex:ゆかた着装体験          《2年》          ●物づくり          ●調理や衣料に関わる分野(職場体験)          Ex:調理実習、被服実習、住宅設計          《3年》          ●物づくり          ●保育に関わる分野(生き方講座)          Ex:赤ちゃん先生、保育実習</p>
<p>数学</p>	<p>「社会で求められる人になる」          《コミュニケーション力》          ・声をかける・教えてと言う・説明する・質問する。          《振り返り・改善》          ・自分で何ができたようになったのか、できていないかを書く。          ・家庭学習や次時への学習へつなげる。          《やりぬく》          ・すべての生徒が問題や提出物をやり切る。</p>	<p>道徳科</p>	<p>・道徳科の時間を要として、          ・指導の重点項目</p>
<p>英語</p>	<p>●自己紹介、他己紹介(人間関係づくり)          ●プレゼンテーション(自分の興味関心、強み、価値観)          ●各単元の本文(国際理解、人権学習、国際環境、SDGs、職場体験、文化理解)</p>	<p>特別          活動</p>	<p>・集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら、集団や自己の生活上の課題を解決する。          ・合意形成や意思決定できるようにする。          ・役割を分担して、協力して実践する。</p>
<p>美術</p>	<p>○社会との関連性          ○自己表現(造形的なものの方・考え方)          ・言語能力          ・計画性          ・客観性(鑑賞力)</p>	<p></p>	<p></p>

# (6)「道徳教育」の全体計画と年間計画

## 道徳教育の全体計画案

(R8年度)

枚方市立第四中学校



# 道徳年間計画

年間計画					
道徳1年指導計画					
月	回	教材名	内容項目	主題	ねらい
4-①	1	サッカーの漫画を描きたい	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	夢に向かって	夢をもつことで、困難に直面しても前向きに挑戦を続け、困難や失敗を乗り越えているようになることの自覚を通して、目標に向かって着実にやり抜こうとする実践意欲を育てる。
4-②	2	人のフリみて	B-(6) 思いやり、感謝	ありがとうのもつ力	日々の生活の中には自分を支えてくれている多くの善意や思いやりがあり、それらへの感謝を素直に表すことで人間関係が豊かになることを自覚し、感謝の思いを表そうとする心情を育てる。
4-③	3	“村人B。”には……	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	チームの一員として	一人ひとりが集団の一員として意識と責任をもち、自分にできる役割を精一杯果たすことが、自分や集団の成長や誇りにつながることを自覚を通して、集団生活を充実させようとする実践意欲を育てる。
4-④	4	「愛情貯金」をはじめませんか	B-(7) 礼儀	あいさつの大切さ	あいさつには、互いの存在を認め合い、心を温め合うことで、人と人との関係を深める力があることを自覚を通して、時、場所、場面に応じて適切な言動をしようとする態度を育てる。
5-①	5	さかなのなみだ	C-(11) 公正、公平、社会正義	いじめのない集団	集団内で苦しむ人がいたら、集団の一員として一人ひとりが行動することでいじめのような問題を解決に導けることを自覚し、よりよい集団や社会をつくらうとする態度を育てる。
5-②	6	言葉の向こうに	B-(9) 相互理解、寛容	お互いの立場の理解	相手の様子が見えないと、多様なものの見方や考え、立場があることを忘れ、自分の考えに固執して伝え方がおろそかになることを自覚し、寛容の心をもとうとする態度を育てる。
5-③	7	葉っぱ切り絵で見た道	A-(3) 向上心、個性の伸長	自分らしさ	他者と比較せず自分のよさを大切にすることで、自分の弱みをも強みに変えて自分らしく生きていけることの自覚を通して、個性を磨いてよりよく生きようとする実践意欲を育てる。
5-④	8	ばあば	D-(19) 生命の尊さ	共に生きる	生命は互いに支え合い、共に生かされており、その生命同士をつなぐに感謝することが生命の尊重につながることを自覚を通して、かけがえない生命を尊重しようとする態度を育てる。
6-①	9	木の声を聞く	D-(20) 自然愛護	自然と共に生きる	私たちが人間に生かされている以上意識をもち、人間の力が及ばない自然に対して謙虚に向き合うことが大切であることを自覚し、自然愛護に努めようとする実践意欲を育てる。
6-②	10	疾走、自転車ライダー	A-(2) 節度、節制	安全への心構え	自分だけは大丈夫と思わず、周囲の安全も考えて自分の心身をコントロールする心構えが必要であることを自覚し、安全で調和のある生活を送らうとする実践意欲を育てる。
6-③	11	門掃き	C-(12) 社会参画、公共の精神	しきりに込められた思い	社会の一員である以上意識をもち、ふだんから周囲に気配りをし助け合おうとすることが社会連帯につながることを自覚を通して、主体的に社会に関わろうとする態度を育てる。
6-④	12	使っても大丈夫？	C-(10) 遵法精神、公德心	法の役割	法の下で自他の権利を大切にすることが、社会の秩序を守り、豊かな社会の形成につながることを自覚を通して、法やまきを守り、自他の権利を重んじようとする判断力を育てる。
7-①	13	ソウタとミオ	B-(8) 友情、信頼	友情の鍵	同性か異性にかかわらず、友達のことを多面的に見て相手のよさを見つけ、お互いに信じ合い高め合う意識が大切であることを自覚し、友達と信頼し合う関係を築こうとする態度を育てる。
7-②	14	私らしさって？	A-(1) 自主、自律、自由と責任	自分を大切に	自分と向き合い、自分の中にぶれない軸をもつことで、周囲に流されず自信をもって考え判断できるようになることの自覚を通して、責任をもって自律的に行動しようとする実践意欲を育てる。
9-①	15	震災を乗り越えて一復した郷土芸能	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土芸能を伝える	地域の一員として、郷土の誇りと愛着がこもった伝統と文化を自分たちの手で継承することが郷土の持続的な発展につながることを自覚を通して、主体的に郷土に関わろうとする態度を育てる。
9-②	16	どうして？	C-(11) 公正、公平、社会正義	公平とは何か	公平とは、集団の中で不当に利益を得たり苦しんだりしないように、誰もが納得できる決め方で利益や負担を分配することであると自覚し、公正な社会を築こうとする判断力を育てる。
9-③	17	さよなら、ホストファミリー	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本を伝える	他国の人と対等に交流するには、日本人としての意識をもって自国の歴史や伝統、文化を知る必要があることを自覚し、日本の伝統と文化のよさを発信しようとする実践意欲を育てる。
10-①	18	違いを乗り越えて	C-(18) 国際理解、国際貢献	他国の人と接する	お互いの文化や習慣などを学び合い、尊重しようとする気持ちがあることで、他国の人と通じ合う関係が築けることを自覚を通して、進んで国際理解に努めようとする実践意欲を高める。
10-②	19	バスと赤ちゃん	B-(6) 思いやり、感謝	社会の中での思いやり	互いの存在を肯定的に受け止める人間愛の精神はみんなの心の中にあい、それをみんなで発揮することで、温かい社会生活が成り立つことを自覚し、思いやりの心を能動的に示そうとする態度を育てる。
10-③	20	三人の乗客	B-(9) 相互理解、寛容	理解し合うために	理解し合うとは、自己中心的で相手の立場や事情に考えが及ばないという人間の弱さを含めて分かち合うことであると自覚し、寛容の心をもって相互理解しようとする態度を育てる。
11-①	21	あらゆるものに神は宿っている	D-(20) 自然愛護	自然への向き合い方	人間は他の動植物と同様に自然の一部で、自然の中で生かされており、自然に対して謙虚に向き合う必要があることを自覚し、自然を愛護しようとする態度を育てる。
11-②	22	あつたほうがいい？	C-(12) 社会参画、公共の精神	過ごしやすい社会	一人ひとりが社会の一員として、人任せにせず社会全体にとっての利益を考えることで過ごしやすい社会になることを自覚を通して、よりよい社会の実現に努めようとする実践意欲を育てる。
11-③	23	ふれあい直売所	C-(10) 遵法精神、公德心	きまりを守る	一人ひとりが、同じ社会にいる人ごとやその社会の約束をきまりを守り、安心して過ごせる温かい社会が実現できることを自覚し、規律のある社会をつくらうとする実践意欲を育てる。
11-④	24	あふれる愛	D-(19) 生命の尊さ	生命を大切に	たとえ死が近づいていても、全ての生命が愛され望まれて生まれた存在であり、そう信じることが生きる力になることを自覚を通して、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。
12-①	25	iPS細胞で難病を治したい	A-(5) 真理の探究、創造	新しいものを生み出す	分らないことをそのままにせず、未来のために実現したいことを見定め、物事の真の姿を見極めたいという強い思いが新しいものを生み出すことを自覚し、真理を探究しようとする実践意欲を育てる。
12-②	26	その声は	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	家族への思い	家族はお互いにかげがえのない存在であり、お互いに温かい感情で結ばれていることの自覚を通して、家族に感謝し家庭の中で自分の役割を果たそうとする態度を育てる。
12-③	27	仰つへー生きていてくれてありがとう	D-(19) 生命の尊さ	支え合う生命	誰もが互いに支え合って生きており、また多くの人々の支えによって生かされている唯一無二の存在であることの自覚を通して、かけがえない生命を大切にしようとする心情を育てる。
1-①	28	旗	B-(8) 友情、信頼	友情が生まれるとき	相手のことを思いやり、相互に信頼し受け入れ合おうとする関係の上に友情が生まれることの自覚を通して、友達と互いに励まし支え合おうとする心情を育てる。
1-②	29	裏庭での出来事	A-(1) 自主、自律、自由と責任	誠実な生き方	誠実さは、自分の弱さから逃げない心や自分自身に対する誇りから生まれることの自覚を通して、自分の行動に責任をもち、自らを律し、誠実に生きようとする判断力を育てる。
1-③	30	おじさんの100ドル	C-(18) 国際理解、国際貢献	国際貢献のために	国際貢献活動は、同じ地球家族として助け合うという温かい人間愛に基づいた行為であることの自覚を通して、世界平和と人類の幸福のために自分にできることを考え実践しようとする態度を育てる。
2-①	31	オーロラ一光のカーテン	D-(21) 感動、畏敬の念	自然に感動する心	人間の力を超えた自然のすばらしさに感動することで、人間の心は豊かになり、自身の成長にもつながることの自覚を通して、畏敬の念を深めようとする心情を育てる。
2-②	32	オアシスの老人	A-(3) 向上心、個性の伸長	自分を見つめる	自分のものの見方や考え、自分の置かれた環境を前向きに見つめ直すことで、自分自身をさらに伸ばしていけることの自覚を通して、充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。
2-③	33	私は清掃のプロになる	C-(13) 勤労	心がこもった仕事	技術を磨くだけでなく、他者を思いやり心を入れて働くことが、自分の仕事の価値向上と充実した生き方につながっていくことの自覚を通して、社会や人々に貢献しようとする実践意欲を育てる。
3-①	34	「肝心」のパスガイド	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	ふるさとへの思い	郷土のよさだけでなく先人の苦労やつらい歴史も含めて受け継ぐことでよりよい地域社会が形成でき、私たちにこそその役割があることを自覚し、郷土を愛し、その発展に努めようとする実践意欲を育てる。
3-②	35	いつわりのバイオリン	D-(22) よりよく生きる喜び	よりよく生きる	人間には、自己の弱さや謙さに向き合うことなくしては気づけない自己の強さや気高さがあることの自覚を通して、人間としてよりよく生きようとする心情を育てる。

年間計画						
道徳2年指導計画						
月	回	教材名	内容項目	主題	ねらい	
4-①	1	おじさん役と私	A-(3) 向上心、個性の伸長	個性を生かす	一人ひとりに必ず自分らしい強みがあり、自分を受け入れたうえで広い視野と向上心をもって磨くことで個性は輝いていくことの自覚を通して、自分らしい生き方を追求しようとする態度を育てる。	
4-②	2	おばちゃんのおまじない	C-(13) 勤労	なんのために働くのか	一生懸命に仕事をすることで、必ず人の役に立ち、社会を支え、それが自分の喜びややりがい、誇りにつながるものの自覚を通して、働くことで人や社会の役に立ちようとする心情を育てる。	
4-③	3	挨拶は言葉のスキンシップ	B-(7) 礼儀	挨拶の意味	形だけでなく相手の尊重する心が挨拶の本質であり、その心を挨拶によって届けることで、円滑な人間関係が築けることの自覚を通して、時と場に応じた言動をとうとうとする実践意欲を育てる。	
4-④	4	初心	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	目標に向かって	物事を始めたときの思いが自分の信念となり、それが目標に向かって困難を乗り越えていく原動力になることの自覚を通して、より高い目標に向けて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てる。	
5-①	5	五月の風—カナ—	A-(1) 自主、自律、自由と責任	自分の意志で	自分の心の弱さを見つめ、自分の意志を再確認することで、周囲に惑わされず、自信をもって自分の意志を貫けるようになることを自覚し、自主的に考え誠実に実行していくこととする判断力を育てる。	
5-②	6	五月の風—ミカ—	B-(8) 友情、信頼	信頼される友達	友達から寄せられた信頼に対して偽りのない心で応えることで、よりよい友達関係を築いていくことの自覚を通して、互いに励まし合い、高め合う友達同士になろうとする実践意欲を育てる。	
5-③	7	リスペクト アザース	C-(11) 公正、公平、社会正義	人権を考える	違いを前提に、自分と合わない相手であっても同じ集団や社会の仲間としてその個性や存在をありのまま認めることで人権を尊重できることを自覚し、差別や偏見のない社会を実現しようとする態度を育てる。	
5-④	8	名乗り出なかった友	B-(6) 思いやり、感謝	思いやりのある行動	相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことの自覚を通して、潤いのある温かな人間関係を築こうとする態度を育てる。	
6-①	9	戦争を取材する	A-(5) 真理の探究、創造	真実を追い求める	真実を追い求めることは、新たな見方と多面的な考え方の発見や、正しい判断、自分や世界のよりよい未来につながることを自覚し、謙虚に未知のことを探究しようとする実践意欲を育てる。	
6-②	10	時を越えて—檉野で生まれたとき—	C-(18) 国際理解、国際貢献	国と国のきずな	同じ世界に生きている人間だからこそ、国や時代を超えて助け合おうとする心があることの自覚を通して、世界平和と人類の発展に貢献しようとする実践意欲を育てる。	
6-③	11	父の決意	D-(19) 生命の尊さ	生き抜くこと	命は自分だけのものではなく、家族などの強いきずなで結ばれた関係性に支えられて私たちは生きていることを自覚し、たった一つの命を大切に人生を生き抜こうとする態度を育てる。	
6-④	12	和樹の夏祭り	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	地域の活動のよさ	地域社会を形成するのは自分たちであるという意識をもって関わるからこそ、郷土への愛着や誇りが生まれることの自覚を通して、問題意識を持ち、郷土の発展に努めようとする実践意欲を育てる。	
7-①	13	他人の靴を履いてみる	B-(9) 相互理解、寛容	ほかの人の立場	ほかの人の立場に立つことで、多様な視点から物事を見ることができ、自分の世界が広がることの自覚を通して、意見や立場の異なる人に対しても自分から理解しようとする態度を育てる。	
7-②	14	ヨシト	C-(11) 公正、公平、社会正義	公正な態度	同調圧力に流され傍観し異質な存在を排除してしまう人間の弱さを乗り越えて、集団の一人として正義を貫く必要があることを自覚し、差別や偏見のない公正な集団をつくらうとする態度を育てる。	
9-①	15	ネット将棋	A-(1) 自主、自律、自由と責任	責任ある言動	顔が見えない相手だからこそ、自分の言動を正すのはほかならぬ自分自身であり、自分の良心や誇りに従うことが責任ある言動につながることを自覚し、誠実に行動しようとする判断力を育てる。	
9-②	16	樹齢七千年の杉	D-(21) 感動、畏敬の念	自然の偉大さ	人間の生きる時間をはるかに超えた自然の生命がもつ美しさや偉大さから、私たちは生きる力を得ることができることの自覚を通して、人間の力を超えたものを敬おうとする心情を育てる。	
9-③	17	自分の弱さと戦え	D-(22) よりよく生きる喜び	弱さの克服	自分の弱さや未熟さを認めたくて、自分のやってきたことや可能性を信じることが人間としての強さにつながるっていくことの自覚を通して、人間として気高く生きようとする態度を育てる。	
10-①	18	小さな工場の大きな仕事	C-(13) 勤労	社会に貢献する	それぞれの職業に固有の魅力や価値があり、社会の問題解決と発展に貢献していることの自覚を通して、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献しようとする実践意欲を育てる。	
10-②	19	上勝から世界を変える	D-(20) 自然愛護	自然を守る取り組み	人間は自然の中で生かされており、その自然を守るためには自分の生活を見つめ直し、共に生きようとする努力が必要であることを自覚し、環境保全活動に貢献しようとする態度を育てる。	
10-③	20	美しい鳥取砂丘	C-(10) 遵法精神、公德心	規則の役割	規則を定めて互いの権利や集団の共有財産を守ること、住みよい社会をみんなで作ってついでいくことの自覚を通して、調和と規律を守るための法や規則を準んで守ろうとする態度を育てる。	
11-①	21	行動する建築家坂 茂	C-(12) 社会参画、公共の精神	社会のためにできること	社会の一員として助け合いの精神をもち、社会全体の利益のために自分の能力を活用することで社会的な責任が果たせることの自覚を通して、社会のために貢献しようとする実践意欲を育てる。	
11-②	22	夜のくだもの屋	B-(6) 思いやり、感謝	思いやりと感謝	人間はさりげない善意や深い思いやりによって支えられられていること、そしてそれらに対して感謝することの難しさを自覚し、思いやりと感謝の心をもつて人と接しようとする態度を育てる。	
11-③	23	アフガニスタンの人々と共に	C-(18) 国際理解、国際貢献	国際貢献とは	国際貢献とは、押し付けではなく相手の文化を尊重し、自ら持続的に平和な生活がつけられるよう共に歩むことであることの自覚を通して、自分ができる国際貢献をしようとする実践意欲を高める。	
11-④	24	制服は誰のもの	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	よりよい学校生活	集団の意義や目的に立ち返って集団内の多様な願いをかなえようとすることで、学校生活が充実し、校風として後輩に継承できることの自覚を通して、よりよい校風を築こうとする実践意欲を育てる。	
12-①	25	命を見つめて—猿渡さんの六百四十六日—	D-(19) 生命の尊さ	生きていることの意味	限りある生命について考え、苦しみの中にあっても懸命に生きることで、生きることの豊かさや深まりが実現できることの自覚を通して、自他の生命を尊重して生きようとする実践意欲を育てる。	
12-②	26	行く年、来る年	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	身近な伝統と文化	伝統文化の形は時代によって変化しますが、生活の中での願いや思いは受け継がれており、自分も受け継ぐ一人であることを自覚し、日本の伝統と文化を継承しようとする実践意欲を育てる。	
12-③	27	コトコの涙	B-(9) 相互理解、寛容	人から学ぶこと	相手の考えや立場を尊重し、他者と謙虚に向き合うことで新たな学びが得られることの自覚を通して、素直に自らの言動や考え方を振り返り、他者から謙虚に学ぶようとする態度を育てる。	
1-①	28	マークはなんのために?	C-(12) 社会参画、公共の精神	誰もが生活しやすい社会	困難を抱える人が生活しやすい社会は、誰もが生活しやすい社会でもあり、自分もそんな社会をつくる一員であることを自覚し、主体的によりよい社会をつくらうとする実践意欲を育てる。	
1-②	29	最後のパートナー	D-(19) 生命の尊さ	生命との関わり	あらゆる生命はかけがえのないものであり、互いに支え合って生き、生かされていることの自覚を通して、自他の生命を尊重し、感謝の心をもつて生きようとする心情を育てる。	
1-③	30	避難所にて	A-(2) 節度、節制	調和のある生活	規則正しい生活を自ら確立することは、心身の健康の維持だけでなく日々の生活に活力を与え、充実した生き方にも関わることを自覚し、節度、節制に心掛け、調和のある生活を送ろうとする態度を育てる。	
2-①	31	よみがえれ、えりもの森	D-(20) 自然愛護	人と自然の関係	人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を得ており、過去と現在の自然との関わり方が未来へとつながっていくことの自覚を通して、自然に感謝しながら守り大切にしようとする態度を育てる。	
2-②	32	足袋の季節	D-(22) よりよく生きる喜び	人間の弱さや強さ	人間の内にある弱さや強さに向き合って自分を奮い立たせ、強さや気高さに変えることで自己を肯定して生きていくことの自覚を通して、人間として生きる喜びを見いだそうとする態度を育てる。	
2-③	33	恋する涙	B-(8) 友情、信頼	友達との関係	冷静に自分を見つめ直し、友達との関係上の悩みや葛藤を乗り越えることで友情は培われるものであることの自覚を通して、友達と互いに尊重し合える関係を築いていくこととする実践意欲を高める。	
3-①	34	包む	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	伝統と文化への向き合い方	日本の伝統と文化の根底には先人が大切にきた心が込められており、その心は現代にも受け継がれていることの自覚を通して、我が国の伝統と文化を継承しようとする態度を育てる。	
3-②	35	きいちゃん	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	自分と家族	家族は一人ひとりが深いきずなで結ばれたかけがえのない存在であり、家族の存在がお互いの生きる支えになることの自覚を通して、信頼と愛情のある家庭生活を築いていくこととする心情を育てる。	

年間計画					
道徳3年指導計画					
月	回	教材名	内容項目	主題	ねらい
4-①	1	相撲を世界に	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	困難を乗り越えて	困難に直面しけげんなく、状況を見つめ直し、前向きかつ柔軟な姿勢で行動することで、人は成長できることを自覚し、希望と勇気をもって目標を達成しようとする実践意欲を育てる。
4-②	2	世界一のロッカールーム	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	集団への貢献	一人ひとりが集団の一員であるという役割と責任、尊敬と感謝の意識をもって、自分たちらしさを発揮することで集団の成長が実現することを自覚し、集団生活を充実させようとする実践意欲を育てる。
4-③	3	あるレジ打ちの女性	C-(13) 勤労	仕事への向き合い方	仕事の素晴らしさややりがい、仕事と自分自身、相手、社会それぞれとの関係から多様に見いだせることを自覚し、自分の能力や個性を生かした働き方をしようとする実践意欲を育てる。
4-④	4	使い手を驚かせて魅了する	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本の伝統と創造	優れた伝統と文化を大切に、幅広い視野でよりよいものを創出することが伝統文化の継承と発展につながることを自覚し、社会の形成者として文化の継承と発展に寄与しようとする態度を育てる。
5-①	5	違うんだよ、健司	B-(8) 友情、信頼	友達という存在	友達とは、無批判に同調したり表面的につき合ったりする存在ではなく、互いに励まし合い、高め合う存在であることの自覚を通して、友達を一層大切にしようとする実践意欲を育てる。
5-②	6	卒業文集最後の二行	C-(11) 公正、公平、社会正義	いじめを許さない心	集団の圧力に負ける人間の心の弱さや醜さは深い心の傷を生むことや、集団の中で一歩踏み出すことがその克服につながることを自覚し、差別や偏見を人間として許さない態度を育てる。
5-③	7	命のトランジットピザ	C-(18) 国際理解、国際貢献	国際社会で生きる	国際社会で生きるためには、世界の中の日本人として、民族や国を超えた人類愛をもって尊重し助け合うことが必要であることを自覚し、世界平和や人類の幸福を願い、貢献しようとする心情を育てる。
5-④	8	エリカ 一奇跡のいのち	D-(19) 生命の尊さ	生命をつなぐ	生命はただ存在するのではなく、その生命を未来へ生かすつなごうとした多数の生命の意志があるからこそ尊い存在であることの自覚を通して、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。
6-①	9	私も高校生	A-(1) 自主、自律、自由と責任	自分で決める	真に自分でやろうと決めたことを誠実に実行していくことが、自律的な生き方につながることを自覚を通して、自分の行為の結果に責任をもち、自律的に生きていこうとする態度を育てる。
6-②	10	親友と語り合った「孤独の解消」	B-(9) 相互理解、寛容	共に考える	他者の考え方や見方の違いを受け入れて共に考えることで、自分の考え方や見方が豊かに広がり、新しい発想につながることを自覚を通して、謙虚に他に学びようとする態度を育てる。
6-③	11	No Charity, but a Chance!	C-(12) 社会参画、公共の精神	共に生きる社会の実現	社会の中で主体的な役割をもつことで、私たちは生きる自信と喜びがもてるようになり、共に生きる社会が実現することの自覚を通して、よりよい共生社会を実現しようとする実践意欲を育てる。
6-④	12	新しい夏のはじまり	A-(3) 向上心、個性の伸長	将来に向けた生き方	報われない努力や失敗、自分の弱さが成長の糧であり、それらを前向きに受け入れることでよりよい自分になれることを自覚し、向上心をもって自分らしく生きようとする態度を育てる。
7-①	13	稲むらの火	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	地域社会のために	郷土の未来のために尽くした先達のおかげでいまの暮らしを営めており、自分も地域社会の形成者であることを自覚し、郷土に貢献しようとする実践意欲を育てる。
7-②	14	命の大切さ	C-(11) 公正、公平、社会正義	豊かな人権感覚	弱い存在に優越感を抱くなどの差別・偏見の考えから脱却し、互いに理解しようとする姿勢がよりよい社会につながることを自覚し、豊かな人権感覚のある社会の実現に努めようとする態度を育てる。
9-①	15	ゴリラのまねをした彼女を好きになった	B-(8) 友情、信頼	認め合う関係	同性か異性かを問わず、相手の内面的なよさに目を向け、認め合い励まし合う関係が、互いの人間としての成長を促すことの自覚を通して、互いに向上させ合う関係を築こうとする実践意欲を育てる。
9-②	16	カラフルな世界で	A-(3) 向上心、個性の伸長	自分らしく生きる	自分の好きなことは自分の独自性であり、かけがえのない自分を伸ばすことで人生が輝いていくことの自覚を通して、自分らしい充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。
9-③	17	二通の手紙	C-(10) 遵法精神、公德心	法やまきりの意義	法やまきりは、みんなの権利や幸せを守るためにみんなで知恵を出して厳格に作ったもので、それらに従うことも思いやりある行為であることを自覚し、立法者の視点を大切にしようとする態度を育てる。
10-①	18	世界を動かした瞳	D-(22) よりよく生きる喜び	気高く生きる	これまで歩んできた自分の人生だからこそできること、すべきことがあり、それを実行することが気高い生き方につながることを自覚を通して、自分のよりよい生き方について考えようとする心情を育てる。
10-②	19	電車の中で	B-(6) 思いやり、感謝	思いやりの心と形	思いやりとは相手を気遣いながら関わろうとする心であり、その心を形に表してこそ相手との心の通い合いが生まれることの自覚を通して、思いやりを素直に表そうとする実践意欲を育てる。
10-③	20	失った笑顔を取り戻す 海のごみば	C-(13) 勤労	働くことの意味	働くことで、社会や他者の生き方を支えることができ、自分の成長や豊かな生き方にもつながることの自覚を通して、労働を通して社会に貢献する生き方をしようとする実践意欲を高める。
11-①	21	「まちなか」で生まれる	C-(12) 社会参画、公共の精神	社会全体で考える	世界規模の課題でも自分ごととして捉え積極的に関わろうとすることが、根本的な解決につながっていくことの自覚を通して、社会の一員としてよりよい社会をつくらうとする態度を育てる。
11-②	22	「川端」のある暮らし	D-(20) 自然愛護	自然との共生	自然には、その地に生きる人間の歴史と結び付いた文化としての側面もあり、文化を存続させることが自然との共生につながることを自覚を通して、進んで自然の愛護に努めようとする態度を育てる。
11-③	23	ちよとど寄り道を 一研究者・真鍋淑郎	A-(6) 真理の探究、創造	探究する心	好奇心をもち、楽しみながら疑問を探究し続けることが、新たな発見や創造につながることを自覚を通して、自らの好奇心を大切に、新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。
11-④	24	町内会デビュー	A-(1) 自主、自律、自由と責任	自分から行動する	自分で決めて責任をもって実行することで、人間として成長し、自分の生き方に自信がもてるようになることの自覚を通して、自律的な生き方をしようとする態度を育てる。
12-①	25	臓器提供	D-(19) 生命の尊さ	かけがえのない生命	生命の大切さは何よりも優先されるものであるが、それは、生命の有限性や唯一性、連続性など多様な視点から考えられることを自覚し、自他の生命を尊重しようとする判断力を育てる。
12-②	26	独りを慎む	A-(2) 節度、節制	自制する心	自制とは、我慢のような消極的なものではなく、自分を制御して人生の主人公になることであり、自制することで人生が豊かになることの自覚を通して、よい生活習慣を身につけようとする態度を養う。
12-③	27	マナーってなんだろう	B-(7) 礼儀	マナーのもつ意味	多様なマナーの根底には相手を大切にすることを共通して存在し、マナーによって人間関係を円滑にできることの自覚を通して、さりげなく礼節ある言動をとろうとする実践意欲を高める。
1-①	28	星空を届けたい	D-(21) 感動、畏敬の念	感動がもたらすもの	自然や人間の力を超えたものに出会ったとき、人は心を動かされて癒やされ、その感動が心豊かに生きるための活力となることの自覚を通して、畏敬の念をもって素直に受け止めようとする心情を育てる。
1-②	29	本とペンで世界を変えよう	C-(18) 国際理解、国際貢献	世界平和のために	国際的視野に立ち、世界平和のために自分ができることを主体的に模索し、実践することが重要であることを自覚し、世界平和や人類の幸福に貢献しようとする実践意欲を育てる。
1-③	30	生きてこそ 一石井筆子の生涯	D-(22) よりよく生きる喜び	信念をもった生き方	多くの人の関わりや経験を基に形作られる自分自身の信念をもつことが、気高く力強い生き方につながることを自覚を通して、信念をもってよりよく生きようとする実践意欲を育てる。
2-①	31	塩むすび	B-(6) 思いやり、感謝	周りへの感謝	自分が一歩踏み出すことではじめて周囲の思いやりや気遣いに気づき、感謝の思いや生きる喜び、相互のきずなが芽生えることを自覚し、周囲からの善意を次ににつなげようとする態度を育てる。
2-②	32	一冊のノート	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	家族の役割	家族に支えられていることに感謝し、自分も家族を支えることで、家庭生活を築く一員になれることの自覚を通して、充実した家庭生活を築こうとする態度を養う。
2-③	33	キラークセブラと呼ばれて	C-(10) 遵法精神、公德心	規則への向き合い方	自分も社会の一員という意識があると、法や規則を、他律的ではなく「守りたいから守る」と主体的かつ自律的に守れるようになることの自覚を通して、自ら規則を守ろうとする態度を育てる。
3-①	34	サトシの一票	C-(12) 社会参画、公共の精神	よりよい社会の実現	社会の一員としての権利を積極的に理解し、主体的に社会の形成に関わろうとすることが、よりよい社会の実現につながることを自覚を通して、他者と共に社会参画しようとする態度を養う。
3-②	35	希望	D-(19) 生命の尊さ	懸命に生きる	生命には必ず終わりがあることを認識したうえで、その一回限りの生命を、希望をもって懸命に生きようとすることで人生が豊かになることの自覚を通して、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。



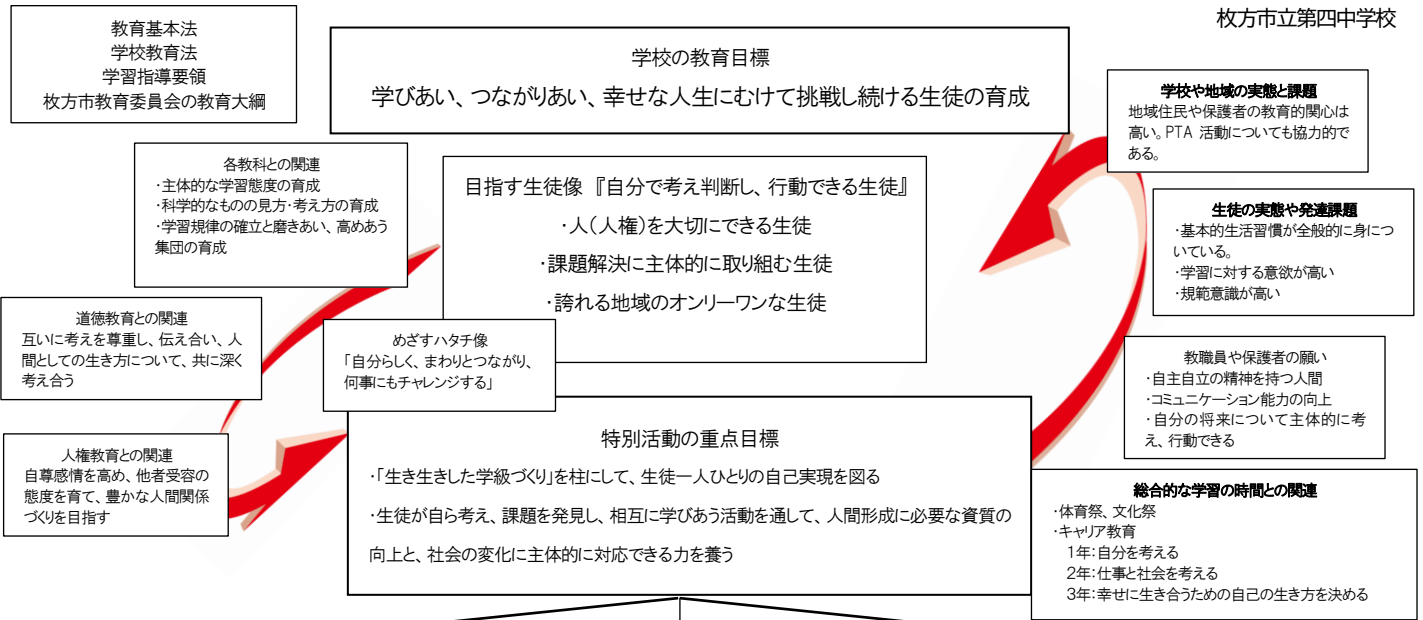
月	内容 道徳 『中学道徳 あすを生きる』	特別活動			教科													総合的な 学習の時間	地域・家庭 との連携
		学級活動	生徒会 活動	学校行事	国語	書写	社会(地理)	社会(歴史)	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	英語			
					『現代の国語 2』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新い社会 地理』 (東書)	『新編 新い社会 歴史』 (東書)	『数学 2』 (啓林館)	『理科』 (啓林館)	『音楽』 (中央学生音楽社・上・東書)	『美術 2・3上』 (日本文教出版)	『中学校保健体育』 (日本文教出版)	(東書)	(東書)	『Sunshine 2』 (開隆堂)			
4月	1 おじいさんおばあさん A(3)向上心、個性の伸長 2 おばあさんのくちか「おまじない」 C(15) 3 読書は言葉のスキラップ B(7)礼儀	学級の日課と総理をつ C(15)	新入生歓迎会 C(15) 専門委員会 A(1) チャリティ活動(連年) C(12) 安全指導 C(18)	始業式 A(4) 健康診断 A(1) 安全指導 A(2) グループディスカッション	名づけられた果実 A(3) D(21) ゼロサムゲームルー ム B(6) C(15) グループディスカッ ション	行書 A(3) C(17)	近世の日本 C(18) C(11) C(12) C(16) C(17) C(18)	式の計算 A(5) B(9)	物質の成り立ち A(5)	明日を向けて 翼をください My Voice A(3) D(21) A(4) B(5) 自由な視点で風景を見 つめる	字ひの美意識と家まり あなただけの美を見つけて A(5) A(2) 現代美術に「ザフザフ」 A(1) B(5) 自由な視点で風景を見 つめる	体育理論 A(4) C(15) 体育つくり D(13) D(18) D(20)	生活や社会を支える生 物育成の技術 A(1) A(3) B(7) C(12)	読書の選択と手入れ A(1) A(4) B(8)	PROGRAM 1 New Start B(8)	心算学習・体験学習 に向けて A(1)			
5月	4 初心 A(4)希望と夢、克己と強い 意志 5 五月の風—カー A(1)自主、自律、自由と責任 6 五月の風—ミカ B(6)友情、信頼	定期考査の受け方 A(4) 生活アンケート C(11)	専門委員会・生徒会 A(1) 校外学習 B(8) C(18)	定期考査 A(2) 教科学習 B(8) C(18)	宇宙に行かぬための素材 A(5) 人間は地の星に住むこ とができるのか A(5) B(20) 手紙—メール B(6) B(7) C(15)				物質の表し方 A(4) A(5)	リズムゲーム、リズムア ンサンブル、リズムチヤ レンジ My Melody A(3) A(5) C(15) C(13)	健康な生活と病気の手 間解決 A(2) C(10)	生物育成の技術による 問題解決 A(2) C(16) D(20)	PROGRAM 2 Koshien Project in Africa A(4) C(16)	【将来の道徳】に目を向 けよう 「様々な道徳」 A(3)					
6月	7 リスベク アーサー C(11)公平、公正、社会正義 8 名乗り出なかつた友 B(6)思いやり、感謝 9 戦争を取材する A(5)真理の探究、創造 10 時を越えて—怪野でま れたきずな— C(18)国際理解、国際貢献	学校生活の安全 A(2) 教育相談 C(11)	専門委員会 A(1) 生徒会 A(1) C(15)	定期考査 A(4) 生徒会 A(1) 安全指導—道徳訓練 A(2)	短歌の世界 C(17) D(21) 短歌十首 C(17) D(21) 短歌—俳句 A(3) D(20) D(21)		日本の地域的特色 A(2) C(17) D(20)		化学変化と物質の量 A(5) C(17) D(21)	フーゴ短編 A(5) D(21)	つくる「使う」材料を味 わう工夫 A(3) B(9)	球技(ベースボール型) C(15)	生活や社会を支える工 業技術の発展 A(4) A(5) C(12) D(20)	PROGRAM 3 Taste of Culture C(17) C(16)	「様々な道徳」 A(3) 「自分を取り巻く社会」 A(3)				
7月	11 文の決意 D(18)生命の尊厳 12 秋葉の美祭り C(16)郷土の伝統と文化の継 承、郷土を愛する態度	文化祭取り組み A(1) 文化祭 A(3) B(9)	文化祭(各学期末) A(15) 安全指導 A(2) 終業式 A(3) 夏季休業 A(1)	壁に描かれた伝言 C(15) D(18) D(21)				一次関数と方程式 A(5) B(9) C(12)	動物の体のつくりとはた らき A(5) D(19) D(20)	「ユーザー」LESSON2、 3 A(3) C(15)		社会の発展と生物育 成の技術 C(13) D(20)	Our Project 4 海外で ヒトする「チーム」DOM を作ろう A(5) Reading 1 The Three Dolls A(1) B(7) D(22)	地域の歴史、道徳 C(16) 秋葉祭地域委員会 C(12)					
8月・9月	13 他人の顔を見てみる B(6)相互理解、寛容 14 ミト C(11)公平、公正、社会正義 15 ネット特権 A(1)自主、自律、自由と責任 16 年齢七十年の杉 D(21)感動、異色の念	生活アンケート C(11)	専門委員会・生徒会 A(1) 文化祭 D(21) C(11)公平、公正、社会正義	始業式 A(4) 安全指導 A(2) プレメンテーション A(1) C(17) 枚草子・徒然草 C(17) D(20) D(21)	株は買わないで済 まない A(3) A(5) B(7) C(17)		日本の諸地域 C(12) C(16) C(17) D(20)		一次関数の利用 A(5) B(9)	動物の体のつくりとはた らき A(5) D(19) D(20) D(21)	夏の思い出 茨城の月 サントリア My Voice C(17) C(18) D(21)	読書の防止 C(10) C(12) D(18) D(20)	生活や社会を支える工 業技術の発展 A(5) D(20)	PROGRAM 4 Leave Only Footprints C(11) C(15) C(18) D(20)	防災訓練 C(12)				
10月	17 自分の顔と親と親 D(22)よく生きる喜び 18 小さな工場の大きな仕事 C(13)読書 19 上野から世界を変える D(20)自然環境 20 美しい鳥獣歩丘 C(18)道徳精神、公徳心	生活アンケート C(11)	専門委員会 A(1) 文化祭 D(21) C(11)	文化祭 D(21) C(11) 体育祭 C(15) 安全指導 A(2) C(15)	夢に描かれた伝言 C(15) D(18) D(21)			動物の体のつくりとはた らき A(5) B(9)	図形の性質の利用 A(5) B(9) 証明 A(5) B(9)	「アイザック」から 探検してみよう！ A(5) A(3) C(15) D(21)	空間を彩る光の織物 A(5) D(21)	住まいの良利と安全な 住まい方 A(2) C(14) C(16)	住まいの良利と安全な 住まい方 A(2) C(14) C(16)	PROGRAM 5 Work Experience C(12) C(13) C(13)	「協働の準備」 訪問の思い、マナー 質問内容・取材方法記 録の工夫など B(7)				
11月	21 行動する建築家 茂 C(12)社会参画、公共の精神 22 歌の心は星 B(6)思いやり、感謝 23 アフガニスタンの人々と共 に C(18)国際理解、国際貢献 24 朝顔は星の心 C(15)よりよい学校生活、集 団生活の意義	生活アンケート C(11)	役員選挙 A(1) 専門委員会・生徒会 A(1)	職業体験 C(12) C(13) 定期考査 A(4) 安全指導—道徳訓練 A(2) 道徳授業地区公開講座 B(9)	株は買わないで済 まない A(3) A(5) B(7) C(17)		特種可能な地域の生 り方 A(5) C(18)	三角形 A(5) B(9)	大塚中の水の文化 A(5) D(20) D(21)	「戦い」日本 C(17) D(20) D(21)	縦横の美と空を A(5) C(15)	球技(ゴール型) C(15)	PROGRAM 6 High Tech Nature A(5) C(12) D(20)	「種々の体験」 職業体験の調査・運 維 職業体験でのマナー B(7)					
12月	25 命を繋ぐ心—道徳精神 A(6)百六十六日— D(19)生命の尊厳 26 行く年、来る年 C(17)我が国の伝統と文化の 継承、国を愛する態度	生活アンケート C(11)	専門委員会 A(1)	三者委員会 C(14) 終業式 A(3) 冬季休業 A(1)	積立と行書 A(3) B(7) C(16)			大塚の数と日本の四季 A(2) A(5) C(13) D(20)	図形の性質と証明の 利用 A(5)	「戦い」日本 C(17) D(21)	「戦い」日本 C(17) D(21)	私と他の消費生活 A(1) A(2) C(10)	PROGRAM 7 日本 の おすめスポンジを 紹介しよう A(5) C(17) Reading 2 Friendship beyond Time and Borders D(20)	「種々の体験」 職業体験の調査・運 維 職業体験でのマナー B(7)					
1月	27 ココの家 B(6)相互理解、寛容 28 マーティン・ルーサー・キング C(12)社会参画、公共の精神 29 最後のパートナー D(18)生命の尊厳	生活アンケート C(11)	専門委員会・生徒会 A(1)	始業式 A(4) チャレンジテスト A(4) 安全指導—道徳訓練 A(2)	動物園でできること C(13) D(19) D(20)		関係と近代日本の歩み C(10) C(11) C(12) C(17) C(18)	確率の利用 A(5) B(9)	電流の伝わり A(2) A(5) C(13)	世界の諸民族の音楽 C(18) D(21)	「目と目でわかるみんな のデザイン」 C(12)	読書の防止 C(10) C(12) D(18) D(20)	PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace C(18) D(19)						
2月	30 道徳について A(2)態度、節制 31 よみがえれ、えびの森 D(20)自然環境 32 足踏の季節 D(22)よく生きる喜び 33 窓をよめる B(6)友情、信頼	教育相談 C(11)	専門委員会 A(1)	定期考査 A(4) 安全指導—道徳訓練 A(2)	走れ、アリス A(1) B(8) C(11) C(14) D(22)			確率の利用 A(5) B(9)	電流の伝わり A(2) A(5) C(13)	Session 1 A(3) C(15) C(17) D(20)	響と水で多彩に奏す C(17) D(20)	心通う会 A(3) A(4) C(15) D(22)	ダンス A(3) C(15)	持続可能な消費生活 A(1) A(11) C(12) D(20)					
3月	34 名を C(17)我が国の伝統と文化の 継承、国を愛する態度 35 きーちゃん C(14)家族愛、尊厳生活の充 実	生活アンケート C(15)	生徒会(3年生を送る 会) A(1) B(6)	始業式 B(6) 終業式 B(6) 修了式 A(3) 冬季休業 A(1)	情報誌 B(9) C(16)		日本の地域的特色 A(2) C(17) D(20)地域調査の手 法 A(5) C(16)		電流の性質 A(2) A(5) C(13)	「目と目でわかるみんな のデザイン」 C(12)	Let's Create! A(1) A(5) C(15)	読書の防止 C(10) C(12) D(18) D(20)	PROGRAM 9 My Hero の魅力を伝えよう A(4) D(20) Reading 3 Apollo 13 A(4) C(15)	「協働の準備」 訪問の思い、マナー 質問内容・取材方法記 録の工夫など B(7)					

月	内容 【中学道徳 あすを生きる】	特別活動			教科													総合的な 学習の時間	地域・家庭 との連携
		学級活動	生徒会 活動	学校行事	国語	書写	社会(歴史)	社会(公民)	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	英語			
					『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)				
4月	1 相親を世界に A-4希望と美観、思い強い 意志 2 世界一のロック・カールム C-15)よりよい学校生活、集 団生活の充実 3 ある1人だけの女性 C-13) equal	最上級生の自決と役割 C-15) 学級生活を充実させよう チャリティ活動(通年) C-12) C-18) 修学旅行事前取り組み	新入生歓迎会 C-15) 専門委員会 A-1) A-4) 学方ナスト A-4) 健康診断 A-2) 安全指導 A-2)	始業式 A-3) B-9) A-3) A-4) A-4) A-2) A-2) A-2)	国語の豊かさ A-3) B-9) A-3) A-4) A-4) A-2) A-2)	文字文化の豊かさ A-3) B-9) A-3) A-4) A-4) A-2) A-2)	二重の世界大観と日本 C-12) C-11) C-16) C-17) C-18)	式の数と図形分類 A-5) B-18) D-18) D-20) A-5) D-19) D-20)	生物のふえ方と成長 A-5) D-18) D-20) D-21)	花 花の街 My Voice C-17) D-20) D-21)	学びの探究と未来 社会に生きる美術の力 A-5) D-21) D-22)	体育理論 D-18) D-22) D-21) A-2) B-6) C-14)	計画・制作のプログラ ミングによる問題解決 A-5) C-12) A-2)	地域の生活と家 A-1) A-2) B-6) C-14)	Unit 0 Discover a New Side of Classmates A-3) C-15) Unit 1 What is special about Japanese pop culture? C-17)	心修学旅行に向けて			
5月	4 思いを置かせて贈る C-17)我が国の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度 5 違う文化、健康 B-18) 伝統、健康 6 卒業文集最後の二行 C-11)公正、公平、社会正義	定期考査の受け方 A-4) 生活アンケート C-11) 道徳プランの作成 A-5) 道徳の希望と学習 A-4)	専門委員会 生徒集会 A-1) A-2) 修学旅行 B-7) C-12) C-17)	定期考査 A-4) 学方ナスト B-7) C-12) C-17)	『特別に読む』とは A-1) B-9) 関の文化 C-17) C-18)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)			
6月	7 命のドラマチック C-18)国際理解、国際貢献 8 エカール-青柳ののち C-18)生命の尊さ 9 私と環境 A-11) 自主、自律、自由と責任 10 職業と誇り(おっ) 個性の 尊重 B-18) 相互理解、寛容	学校生活の安全 A-2) 教育相談 C-11) C-15)	専門委員会 A-1) 生徒集会 A-1) C-15)	定期考査 A-4) 学方ナスト A-1) C-15) 安全指導 道徳訓練 A-2)	俳句の世界 C-17) D-20) D-21) 俳句十句 C-17) D-20) D-21) 読論文 A-1) A-5)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)			
7月	11 No Chantry, but a Chance! C-12)社会参画、公共の精神 12 新しい環境のはじまり A-13) 向上心、個性の伸長	文化祭取り組み A-1) A-3) B-9)	全授業化(各学級) C-15) 安全指導 A-2) 読書会 A-3) 夏季休業 A-1)	文化祭取り組み C-15) 安全指導 A-2) 読書会 A-3) 夏季休業 A-1)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)				
8月・9月	13 輝くひかり C-16) 命の尊厳と文化の重 さ、郷土を愛する態度 14 命の大切さ C-11) 公正、公平、社会正義 15 コブラのまねをした彼女を 好きになった B-18) 伝統、健康 16 カラフルな世界で A-13) 向上心、個性の伸長	生活アンケート C-11) A-1) 文化祭 D-21) A-4) 安全指導 A-2) 文化祭 D-21)	専門委員会 生徒集会 A-1) A-1) C-15)	始業式 A-4) 学方ナスト A-4) 安全指導 A-2) 文化祭 D-21)	フロンティアの物語— (花鳥)と(転ばぬ先の 杖)のほそまで A-5) D-20) パブリックスピーキング A-1) C-16) D-20) 和歌の世界—万葉 集・古今和歌集・新古 今和歌集 C-10) C-11) C-12) C-17) D-19)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)			
10月	17 二重の手紙 C-10) 道徳精神、公心 18 世界を動かした理 D-22) よりよい生き生き喜び 19 電車の中で B-18) 思いやり、感謝 20 大切な宝物を大切に C-13) equal	生活アンケート C-11) 教育相談 C-11) A-1) C-15)	専門委員会 A-1) 体育祭 C-15) 安全指導 A-2)	体育祭 C-11) 学方ナスト C-15) 安全指導 A-2)	俳句の世界 C-17) D-20) D-21) 俳句十句 C-17) D-20) D-21) 読論文 A-1) C-16) D-22) 漢字一字 A-3) A-4)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)			
11月	21 高いごみは「まちなか」で 生まれる C-12) 社会参画、公共の精神 22 川原のある暮らし D-20) 自然環境 23 ちよと奇行達—研究者 眞鍋誠一 A-5) 真摯な探究、創造 24 取内会デビュー A-11) 自主、自律、自由と責任	道徳情報の収集と活用 A-1) 道徳希望の確認 A-4) 自分のよさを知る A-3) ふれあい月間「い」のア ンケート C-11)	役員選挙 A-1) 専門委員会 生徒集会 A-1) 安全指導 道徳訓練 B-9)	職業体験 C-12) C-13) 定期考査 A-4) 安全指導 道徳訓練 A-1) A-5) B-9) 情報の信頼性を確かめ A-1) A-5) B-9)	マンガ情報の強い力 A-5) 見つけたいだけ見私 たち A-5) B-9) A-5) B-9) A-5) B-9) 宇宙の天体 A-5) D-20) D-21)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)			
12月	25 編者提供 D-18) 生命の尊さ 26 独りぼっち A-12) 読書、観劇	個性の伸長と生活の充 実 A-1) 道徳の選択と決定 A-4) 高校訪問・体験入学 A-5)	三者面談 C-14) 始業式 A-3) 冬季休業 A-1) 読書 B-9) C-16)	B-18) C-17) A-3) A-3) A-4) A-5)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)				
1月	27 マナーってなんだろう B-17) 礼儀 28 星を届けたい D-21) 感動、畏敬の念 29 本とて世界を変えよう C-18) 国際理解、国際貢献	生活アンケート C-11) A-1)	専門委員会 生徒集会 A-1)	始業式 A-4) 定期考査 A-4) 安全指導 道徳訓練 A-2) 各学級 A-4) B-9) B-9)	私とは何か A-3) 坊っちゃん B-6) C-14) 各学級 A-4) B-9) B-9)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)			
2月	30 生きてこそ—石井半子 の生 D-22) よりよい生き生き喜び 31 読む喜び B-18) 思いやり、感謝 32 一冊のノート C-14) 家族愛、家庭生活の充 実 33 キラーゼブラと呼ばれて C-18) 道徳精神、公心	教育相談 C-11) A-1)	専門委員会 生徒集会 A-1)	始業式 A-4) 定期考査 A-4) 安全指導 道徳訓練 A-2)	地球社会と私たち B-9) C-10) C-11) C-12) C-17) C-18) D-20)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)			
3月	34 少年への一書 C-12) 社会参画、公共の精神 35 希望 D-19) 生命の尊さ	在校生へのメッセージ B-16) 3年間の思い出 B-6)	生徒集会(3年生を送る 会) B-6)	始業式 B-6)	よりよい社会を目指し て A-1) A-5) C-12) C-16) D-20)	『現代の国語3』 (三省堂)	『現代の書写』 (三省堂)	『新編 新しき社会』 (東書)	『新編 新しい社会 公民』 (東書)	『数学3』 (啓林館)	『東洋への科学』 (啓林館)	『中学生の音楽と77 音楽』 (東書)	『美術 2・3下』 (大日本)	『中学校保健体育』 (東書)	『新編 新しい社会 家庭』 (東書)	NEW HORIZON 3 (東書)			

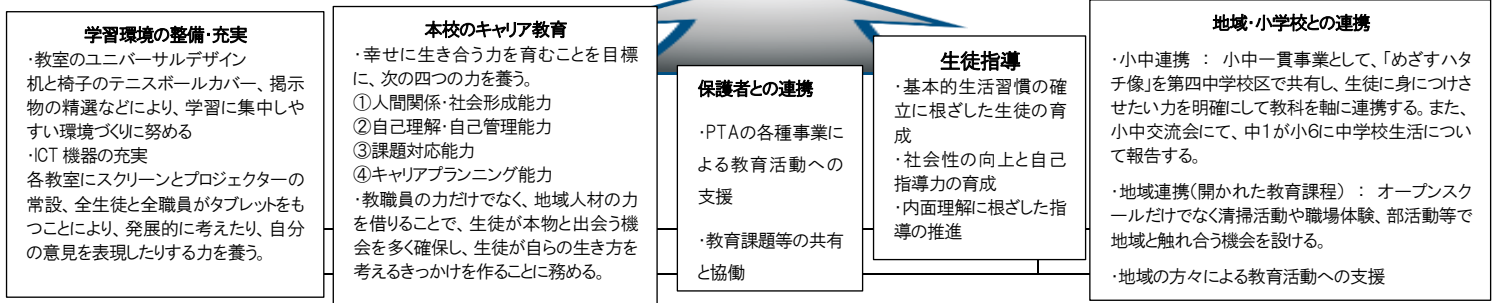
(7)「特別活動の時間」の全体計画と年間計画

令和8年度 特別活動 全体計画

枚方市立第四中学校



	学級活動の目標	生徒会活動の目標	学校行事の目標
指導の方針	多様な他者とより良い人間関係を形成し、協働して日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	学校生活の充実と向上を図り、委員会や学年・学級など生徒の諸活動の連絡調整を行うことで自主・自立の精神や社会性を育成する。	学校生活に充実感と達成感を感じさせ、集団や社会への所属感を持たせる。また学年の枠を超え、体験的な活動を行うことを通じて、意義や必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できる能力を養う。
活動の内容	<b>学級を単位として</b> ・自発的、自治的な活動の中心とし、生徒主体となるように進める ・合意形成を図っていくための手順や方法を身につけさせる ・時には題材を設定し、問題意識を高めさせ、課題解決に向けて実践させる  (1)学級や学校の生活づくりへの参画 アイウ 重点目標 ウ)学校における多様な集団の生活の向上 ・学級目標設定 ・学級役員選出 ・学級組織づくり ・自己紹介 ・校外学習、宿泊学習 (2)適応と成長および健康安全 アイウエオ 重点目標① ア)思春期の不安や悩みとその解決 重点目標② イ)自己及び他者の個性の理解と参加 ・支援学級びらき ・平和学習 ・人権学習 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 アイウエオ 重点目標① ア)学ぶことと働くことの意義の理解 重点目標② ウ)進路適性の吟味と進路情報の活用 ・ピアリオバトル ・体育祭、文化祭 ・職業体験 ・進路学習	・よりよい学校生活づくりを通じて、自発的、自治的な能力を高める。 ・ボランティア活動等の社会参加を通じて社会貢献の精神を育む。 ・全校生徒が生徒会役員であることを自覚し、よりよい校風づくりに尽力できる態度を養う。  (1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒会が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。 (2)文化的行事 文化祭 創作活動を通じて主体性を育み、自己の役割の理解や責任感や連帯感の涵養につなげる。 (3)健康安全・体育的行事 体育祭 創作活動を通じて主体性を育み、自己の役割の理解や責任感や連帯感の涵養につなげる。 (4)学校行事への協力 学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。 (5)ボランティア活動などの社会参画 地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。	多様な他者との協働(つながり)を意識して ・それぞれの学校行事の意義やつながりを明確にする。 ・自己決定や課題解決の場面を通じて主体性を育む。 ・自己の役割や生き方を考えられる機会を充実させる。  (1)儀式的行事 新しい生活の展開への動機付けや学校生活を振り返る機会とする ・入学式・卒業式(国旗掲揚、国歌斉唱) ・始業式・終業式 (2)文化的行事 文化祭 創作活動を通じて主体性を育み、自己の役割の理解や責任感や連帯感の涵養につなげる。 (3)健康安全・体育的行事 体育祭 創作活動を通じて主体性を育み、自己の役割の理解や責任感や連帯感の涵養につなげる。 (4)旅行・集団宿泊的行事 キャリア教育の一環として人と繋がる体験を重視し、個人の役割の自覚と集団生活の規律を学ぶ。 1年: プロジェクトアドベンチャー 2年: コリアタウン(人権学習) 3年: 長野県修学旅行 (5)勤労生産・奉仕的行事 学ぶや働くことに関する意義や役割の理解を深め、将来の職業選択や自らの生き方を考える。 ・職場体験活動(2日間)
本校の特色	・全教科における話し合い活動の充実 ・教科横断的な取り組みの実施 ・キャリア教育を軸とした体験活動を実施し、まとめ、プレゼンテーションをおこない、意見交流の場を持たせている	・体育祭・文化祭の活動を通じて、縦と横のつながりを意識した取り組みを実施し、リーダーの育成を図る。 ・バットボトルキャップ募金活動等の社会貢献活動。	・異年齢集団の行事を活用して「自立」「協働」「創造」の力身につけさせている ・キャリア教育を軸とした体験活動を実施し、学ぶことや働くことに関する意義や役割の理解につなげている。 ・小学校や保育所・幼稚園、地域の事業所との連携で ・職場体験活動などでの自己決定する場面が多い。 ・ふりかえり活動を重視し、自己の成長や課題を実感できる。
評価・改善	・さまざまな活動の過程で生徒の成長を促す手立てを講じる ・集団決定や自己決定した内容の実践と課題を自己評価や相互評価、教師の観察などで評価し、よりよい実践につなげる ・生徒アンケート、学校自己診断等の評価結果を分析し、次なる取り組みにいかす	・生徒アンケートの実施。生徒の実態や様子を把握し、課題の克服、学校行事の改善につなげる。 ・定例委員会等の活動を通じて、学校の問題点を共有し、よりよい学校生活を送るための工夫や取り組みにいかす。	・生徒アンケートを実施し、学期や行事の前後の生徒の状態を見取り、キャリア・カウンセリング(教育相談を含む)に活用する。 ・学期ごとに各行事の内容を振り返る校内研修を実施し、その効果を数値化するとともによりよい実践につなげる。



4	1	学級開き・学級づくり	(1)ーイ	学級開き・学級づくり	(1)ーイ	学級開き・学級づくり	(1)ーイ
	2	自己紹介	(2)ーア	自己紹介	(2)ーア	自己紹介	(2)ーア
	3	人間関係作り	(2)ーア	人間関係作り	(2)ーア	人間関係作り	(2)ーア
	4	共生社会学習	(2)ーイ	共生社会学習	(2)ーイ	共生社会学習	(2)ーイ
5	5	校外学習にむけて	(1)ーウ	校外学習にむけて	(1)ーウ	修学旅行にむけて	(2)ーア
	6	校外学習にむけて	(1)ーウ	校外学習にむけて	(1)ーウ	修学旅行にむけて	(2)ーア
	7	生徒総会にむけて	(1)ーウ	校外学習にむけて	(1)ーウ	修学旅行にむけて	(2)ーア
6	8	防災訓練	(2)ーエ	防災訓練	(2)ーエ	防災訓練	(2)ーエ
	9	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーウ	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーウ	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーウ
	10	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーウ	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーウ	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーウ
	11	HR学習会	(2)ーア	HR学習会	(2)ーア	HR学習会	(2)ーア
7	12	平和学習	(3)ーイ	ビブリオバトル	(3)ーイ	平和学習	(3)ーイ
	13	ビブリオバトル	(3)ーイ	非行防止教室	(2)ーウ	ビブリオバトル	(3)ーイ
	14	1学期のふりかえり	(1)ーア	1学期のふりかえり	(1)ーア	1学期のふりかえり	(1)ーア
9	15	体育祭、文化祭にむけて	(2)ーエ	体育祭、文化祭にむけて	(2)ーエ	体育祭、文化祭にむけて	(2)ーエ
	16	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーア	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーア	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーア
	17	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーア	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーア	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーア
	18	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーア	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーア	体育祭、文化祭にむけて	(1)ーア
10	19	体育祭、文化祭ふり返り	(1)ーア	体育祭、文化祭ふり返り	(1)ーア	体育祭、文化祭ふり返り	(1)ーア
	20	HR学習会	(2)ーア	HR学習会	(2)ーア	HR学習会	(2)ーア
	21	生徒会役員選挙にむけて	(1)ーウ	生徒会役員選挙にむけて	(1)ーウ	生徒会役員選挙にむけて	(1)ーウ
11	22	自分の強み	(3)ーウ	職業体験にむけて	(3)ーア	進路学習	(3)ーウ
	23	自分の強み	(3)ーウ	性教育	(2)ーウ	進路学習	(3)ーウ
	24	HR学習会	(3)ーア	HR学習会	(3)ーア	HR学習会	(3)ーア
12	25	性教育	(2)ーウ	ビブリオバトル	(3)ーイ	ビブリオバトル	(3)ーイ
	26	人権学習	(2)ーウ	人権学習	(2)ーウ	人権学習	(2)ーウ
	27	2学期の反省	(1)ーア	2学期の反省	(1)ーア	2学期の反省	(1)ーア
1	28	HR学習会	(3)ーア	HR学習会	(3)ーア	進路学習	(3)ーウ
	29	人権学習	(2)ーイ	人権学習	(2)ーイ	ビブリオバトル	(3)ーイ
	30	ビブリオバトル	(3)ーイ	ビブリオバトル	(3)ーイ	学年行事	(1)ーア
2	31	学年行事	(1)ーア	学年行事にむけて	(1)ーア	性教育	(2)ーウ
	32	進路学習	(3)ーエ	学年行事	(1)ーア	3学期の反省	(1)ーア
	33	進路学習	(3)ーウ	進路学習	(3)ーウ	3年間のふりかえり	(1)ーア
3	34	3学期の反省	(1)ーア	3学期の反省	(1)ーア	進路学習	(3)ーウ
	35	2年生にむけて	(3)ーウ	3年生にむけて		これからの自分の生き方	(3)ーウ



# R8年度 枚方市立第四中学校 人権教育 全体計画

## 関係法令等

・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・子どもの権利条約 ・人権及び人権啓発に関する基本計画

## 学校教育目標

学びあい、つながりあい、幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成

## 本校の実態

### <生徒像>

本校の生徒像として、経済的に余裕のある家庭が多く、保護者とともに、人と比べて自分の位置を確かめようとする生徒が非常に多い。人間関係が希薄で、ありのままの自分を大切にすることができない生徒も多い。反面、温厚な生徒が多く、子ども同士は仲間との繋がりを求めている。

### <保護者・地域の願い>

いじめや差別のない学校を願い、子どもが楽しく学校へ行くことを望んでいる。反面、勉強に固執する家庭が多く、偏差値の高い学校へ進学することを強く望んでいる。

### 育てたい生徒像

- ・違いを認める豊かな心をもつ生徒
- ・自分を大切にすることができる生徒
- ・差別やいじめを許さない生徒

### 目指す教員像

- ・確かな人権感覚をもつ
- ・個別の人権課題を自分の問題として捉え、解決していくための実践ができる
- ・生徒や保護者に寄り添うことができる



### 教職員研修

- ・人権問題について理解する
- ・生徒と結びつけ、指導に活かす
- ・日常的に人権感覚を研ぎ澄ます

# 人権教育

学級  
(集団・仲間づくり)

総合的な学習の時間

各教科(道徳)

40人が集まる学級には、40通りの生活があり、40通りの違いがある。社会の縮図ともいえる学級で、40人が40通りの違いを認め合い、支え合い、ともに力を合わせて乗り越えていくことが出来る力をつけるために取り組んでいること自体が、人権教育と結びついている。また、個別の人権課題を自分自身に引きつけて学ぶためにも、仲間の存在が重要である。仲間の生き立ちと重ねて、自分の生き立ちをふり返り、生き方を考えられるようになる。お互いの悩んでいることを出し合い、共有することによって、お互いを鍛え合うような関係を育てる。違いを認め合うことができるようになるためには、子どもたちを生活ごと繋げることが重要である。そのために班活動に力を入れ、子どもたちを繋げる取り組みが必要がある。

道徳が教科化されたことから、道徳教育と人権教育の関連性を考えて取り組んでいく必要がある。文部科学省も、道徳科で人権について教えることを承認している。検定を通ったある教科書では、子どもの権利条約、世界人権宣言、を教材化している。「私には夢がある」(黒人差別をなくそうとする運動)や、「差別のない社会を目指す」という教材では、世界人権宣言と結びつけつつ、外国人差別を教材化している。そのため、道徳部、人権部とタイアップして取り組みを進めていくことが、より豊かな心を育むことに繋がると考えることが出来ると思われる。各教科においても、命、歴史、科学、言語、文化、芸術など、人権教育と関連して学びを深めていくことが必要だと言える。

3年計画を土台に、  
各領域を必ず学習し  
て卒業させる

個別の人権課題(領域別)

生徒指導部、支援教育部、養護教諭  
などとのタイアップ

部落問題  
学習

- ・職業差別
  - ・就職差別
  - ・結婚差別
- など

多文化  
共生教育

- ・在日コリアン
  - ・中国残留孤児
  - ・難民の問題
  - ・ニューカマー
- など

ジェンダー学  
習

- ・女性差別
- ・セクシュアルマイノリティ
- ・就職差別
- ・職業差別など

障がい者  
理解教育

- ・共生教育
  - ・UD
  - ・バリアフリー
- など

平和学習

- ・命の大切さ
  - ・戦争の悲惨さ
  - ・世界の紛争
  - ・沖縄戦
- など

情報教育

- ・リテラシー
  - ・誹謗中傷
  - ・SNS上での人権侵害
- など

(9)食育推進全体計画と年間計画

令和8年度 食に関する指導の全体計画

生徒・地域の実態  
弁当を好む生徒が多い。給食には、子どもたちの好き嫌いによる栄養バランスの偏りなく、様々な食材が献立に含まれているが、苦手なものは残す生徒が一定数いる。

教育目標  
学びあい つながりあい  
幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成

学習指導要領  
食育基本法  
食育推進基本計画  
教育委員会の方針



食に関する指導の目標

- ① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解をする
- ② 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける
- ③ 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける
- ④ 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心を育む
- ⑤ 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける
- ⑥ 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ



各学年の食に関する指導の目標		
1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日規則正しく食事を摂ることができる。</li> <li>● 自分の生活や将来の課題をみつけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食環境と自分の食生活との関わりについて理解することができる。</li> <li>● 身体の発達に伴う必要な栄養や食品に含まれる栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活の中で食事が果たす役割や健康との関わりを理解する。</li> <li>● 1日分の献立をひまえ、簡単な日常食の調理ができる。</li> <li>● 食品の安全で衛生的な取り扱いができる。</li> </ul>

		1年	2年	3年
特別活動	昼食の時間(全学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 決められた時間内に食べる。食事のマナーに気をつける。好き嫌いなく食べる。</li> <li>● 食事の場の雰囲気づくり、食前・食後の過ごし方を考える。</li> <li>● すべての人に感謝の気持ちをもつ。</li> <li>● 協力して食事の準備をするという気持ちをもつ。</li> </ul>		
	学級活動	安全で衛生的な昼食・楽しい昼食・健康な心身をつくるための指導、正しい生活習慣の確立		
	学校行事	身体測定、内科検診、歯科検診、宿泊的行事		
	生徒会行事	保健委員会活動、生徒集会		
教科との関連	技術・家庭(家庭分野)	私たちの食生活 ● 健康と食生活	私たちの食生活 ● 食品の選択と保存 ● 調理をしよう ● 地域の食材と食文化	
	保健体育			健康な生活と病気の予防
	理科	植物のくらしとなかま	動物のくらしとなかま	自然と人間のかかわり
	社会	〔地理的分野〕 世界各地の人々の生活と環境・世界の諸地域 〔歴史的分野〕 古代までの日本・中世の日本	〔地理的分野〕 日本の地域的特色と地域区分・日本の諸地域 〔歴史的分野〕 近世の日本・開国と近代日本の歩み・	〔歴史的分野〕 二度の世界大戦と日本・現代の日本と世界 〔公民的分野〕 現代社会と私たち・私たちの暮らしと経済
	英語	GET Plus1 (どんな食べものが好きか聞き合う)	Lesson2 (職場体験【農場】) Lesson6 (中国茶について)	Project1 (日本限定アイスクリームの提案) Take Action! (サンドイッチに何を入れるか考える)
家庭・地域連携	給食だより、保健だより、PTA 実行委員会			
個別指導	保護者からの申し出、定期健康診断の結果、エビペン所持、日常の食生活の様子等から個別相談指導が必要な生徒を対象に実施する。			

(10)中学校区のキャリア教育全体計画

四中学園 キャリア教育全体指導計画									
めざす ハタ千像	自分らしく まわりとつながり 何事にもチャレンジする								
学 年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
発達段階の目標	なかよしになろう (関心をもとう)		友達と協力しあおう (関わりを深めよう)		自己を生かそう (自分を大切に)		自分を考える	仕事と社会問題を考える	生き方について考える
つきたい力	つながる わかる		つながる チャレンジ		つながる わかる きめる		人間関係づくり 課題対応能力	自己理解 課題対応能力	キャリア プランニング 課題対応能力
活動名	・給食がはじまるよ ・みんなみんな大すきだよ	・ともだちをつくろう ・ともだちを知ろう	まちたんけん	福祉教育	わが国の産業	修学旅行の取り組み	校内学習 文化祭 体育祭	校外学習 文化祭 体育祭 職場体験 探求学習	修学旅行 文化祭 体育祭 探求学習
目的	・給食当番としてそれぞれが役割を果たすことの大切さを知る ・家の人の仕事を知る	・自分以外の他者を知り、なかよくなれる。	働く人の仕事を理解し、仕事の楽しさや苦勞を知る	夢を持つことの大切さに気付き、目標に向かって希望と勇気を持ってくじけないで努力しようとする心情を育てる	私たちの生活を支える仕事やその工夫を知る。	平和の大切さ、命の尊さを知り	自分について考える	仕事と社会問題を考える	生き方について考える
活動内容	・給食当番としてそれぞれが役割を果たす。 ・家の人の仕事調べ自分のできることをやってみる	・ともだちのいいとこみつけ	地域のスーパーや施設の様子を見学する スーパーで働く人の仕事を見学する	障がい者の方から職業や将来の話やふれあい交流会を計画・実行する 高齢者の方にお礼の手紙を書く	・バケツ稲づくり ・自動車工場見学 ・新聞社見学	・社会科で戦争について学習する ・ヒロシマについて調べ学習をする ・原爆被害者の会の人の話を聞く	人間関係づくり 自分を知る プロジェクトアドベンチャー	人間関係づくり 自分を知る 職業体験 探求学習	人間関係づくり 自分を知る 探求学習 進路選択
期待する子どもの変容 目的達成に向けたポイント	・自分の役割を知り仕事をやりとげようとする。 ・家族の一員として自分のできることをしようとする。	・他者を認め、なかよくしようとする。 ・遊びの中から、他者を知る。	校区のスーパーや施設の人々に関心を持つことができた	障がい者の様々な生活や生き方があることに気付いた	稲を育てる体験や工場、新聞社等の見学を通じ、私たちの生活を支える産業を知り、そこで働く人の工夫や姿勢に興味を持つ。	修学旅行に向けての学習を通じ、命と平和の尊さを知り、家族や仲間を思いやる心をそだて、将来の自分について考えられる力を持つ。	自己の生き方を考えることができる 疑問や関心に基づいて追求したい課題を設定することができる	自己の生き方を考えることができる 疑問や関心に基づいて追求したい課題を見つけテーマを設定することができる	自己の生き方を考えることができる 疑問や関心に基づいて追求したい課題を見つけテーマを設定することができる

## (11)学校保健・安全計画

### 学校保健・安全計画

#### 1. 目標

生徒ひとりひとりの心身の健康な発育を目指して、保健教育、保健・安全管理を行う。

#### 2. 重点目標

- (1) 自分の身体に関心を持ち、自主的な健康管理のできる態度を養う。
- (2) 基本的な生活習慣の形成や、生活リズムの確立を目指す。
- (3) 生徒の実態に即した保健指導を行う。
- (4) 家庭、地域社会との連携を密にして、協力体制の強化を図る。

#### 3. 学校保健・安全計画

月	月の重点目標	学校保健関係行事	保健・安全管理	保健教育
4	自分の健康状態を知ろう	・定期健康診断(身体測定・視力検査・聴力検査・検尿一次・内科検診・12誘導心電図検診) ・保健委員会活動	・保健調査の実施 ・定期健康診断の計画立案と実施及びその事後措置 ・感染症予防対策 ・健康相談・交通安全	・健康診断の事前事後指導 ・保健室の使い方・保健だより発行
5	けがの予防	・定期健康診断(内科検診・心臓医師心電図検査・耳鼻科検診・検尿二次検査・検尿三次検査)・修学旅行・保健委員会活動	・定期健康診断の計画立案と実施及びその事後措置 ・宿泊学習の事前健康調査及び準備 ・修学旅行・健康相談	・健康診断の事前事後指導 ・けがの予防 ・宿泊学習時の健康安全 ・保健だより発行
6	歯の健康を考えよう	・定期健康診断(眼科検診・歯科検診) ・水質検査・防災訓練 ・学校保健委員会・保健委員会活動 ・修学旅行、1年PA、2年郊外学習	・定期健康診断の計画立案と実施及びその事後措置 ・修学旅行・1年PA、2年郊外学習 健康相談・災害時における安全管理	・健康診断の事前事後指導 ・梅雨時の食中毒予防・保健だより ・歯と口腔の健康・プールの安全指導 ・薬物乱用講演会
7	夏を元気に過ごそう	・プール水質検査・保健委員会活動 ・1年交通安全教室 ・2年薬物乱用防止指導 ・3年非行防止教室	・定期健康診断結果のまとめ及び要精検者の事後指導 ・空気検査 ・プールと飲料水の水質管理 ・熱中症予防・夏休みの健康と安全	・夏休みの生活 ・保健だより発行 ・熱中症(休息と水分補給)
9	生活リズムを整えよう	・文化祭 ・保健委員会活動	・基本的な生活習慣 ・健康相談	・生活リズムを整える。 ・保健だより発行
10	運動にしよう	・保健委員会活動・体育祭 ・性教育指導	・健康相談・健康安全管理	・保健だより発行
11	自分のからだを知ろう	・保健委員会活動 ・モアレ検査・性教育指導	・感染症予防・対策 ・手洗い場の衛生管理・健康相談	・保健だより発行
12	感染症を予防しよう	・教室換気点検 ・保健委員会活動 ・環境検査(CO2、照度)	・感染症予防・対策 ・換気指導・冬休みの健康安全 ・健康相談	・うがい、手洗いの励行 ・冬休みの健康指導 ・保健だより発行 ・性教育
1	食生活を考えよう	・教室換気点検 ・保健委員会活動	・健康相談	・保健だより発行 ・感染症予防
2	心の健康を考えよう	・保健委員会活動	・健康相談	・心の健康 ・保健だより発行
3	1年間の健康生活を振り返ろう	・保健委員会活動	・次年度定期健康診断の計画 ・今年度保健室来室状況及び学校災害のまとめ・春休みの健康安全	・春休みの健康指導 ・保健だより発行

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
月の重点目標		安全な登下校をしよう	施設・設備の安全・適切な利用を心がけよう	健康と安全に留意しよう	健康と安全に留意しよう	生活リズムを保ち、健康で安全な生活を送ろう	健康と安全に留意しよう	交通法規を理解し、順守しよう	危険に対して適切な対応をとれるようにしよう	健康と安全に留意しよう	交通法規を理解し、順守しよう	生活リズムを保ち、健康で安全な生活を送ろう	健康と安全に留意しよう	
道徳		役割と責任	共に学び共に成長すること	生命尊重	平和を求めて(生命の尊重)	社会への奉仕	公徳心と正義	集団生活の向上	生きる喜び	郷土愛	生命の尊重	自主自立	他者への感謝	
安全学習	理科	理科室の使用上の注意	薬品・ガラス器具の使い方 ガスバーナーの使い方		薬品検査	備品点検		電気器具の使い方		理科室と準備室の整備		大地の変化 火山・地震・津波	備品点検 薬品点検	
	社会	地形から見た日本の特色・気候から見た日本の特色(2年地理)	自然災害と防災・減災への取り組み(2年地理) 関東大震災(3年歴史)				自然環境に適應する人々の工夫(2年地理)	阪神・淡路大震災(2年地理)		東日本大震災(2年地理)	自然の制約に適應する人々の工夫(2年地理)			
	美術		美術室の使用上の注意	備品の点検整備 カッターの使い方	電動のこぎりの使い方 カッターの使い方	備品点検 ニードルなどの点検	はさみ、カッターの使い方	彫刻刀の正しい使い方 ニードルの使い方	備品の点検		印刀の使い方	絵の具・用具の保管	器具・用具点検	
	体育分野	集団行動の徹底 用具・施設の使い方	体力テスト 備品の点検整備	器具の安全点検	水泳の事故防止について 健康管理	備品検査	武道(剣道)用具の使い方と手入れ	備品検査	備品検査	備品検査			器具・用具点検	
	保健分野	心身の発達と心の健康(1年) 健康と環境(2年) 健康な生活と病気の予防(3年)		AED講習会					応急手当の仕方(2年)					
	技術	技術室の使用上の注意	作業場所の確保と危険の回避 電子機器の利用と安全	実習時の安全な服装 電磁波の影響について	工作機械や工具の点検 工具の安全な使い方	切削加工時の安全 材料の切断・接合	備品の点検整備	電気器具の取扱い 電気的安全な利用	電気器具の過熱と漏電	実習時の安全な服装	電気製品の製作時の安全配慮 電気工具の安全な使い方	家庭内の安全 暮らしの中のマーク表示(2年)	はんた付けによる火傷の注意	器具点検整備 備品検査(台帳管理)
	家庭	実習・製作中の安全と防災(1・2年)	健康と食生活(1,2年)	包丁の安全な使い方(2年)		器具・用具点検	洗濯機の使用の注意(1年)	裁縫道具の使用上の注意(1年) 食品の安全と情報(2年)	火を扱うときの注意(2年) 幼児とふれ合う準備(3年)	器具・用具点検		室内の空気を汚染するもの(1年)	災害への備え・地域の安全(1年) 器具・用具点検	
安全指導	第1学年	●通学路の確認・交通安全指導 ●部活動での安全	◎校外学習での安全	◎自転車の安全な乗り方 ◎避難訓練	◎自分の生活の振り返り ◎夏休みの生活計画と安全・防犯	●夏の生活の振り返り ●登下校の安全	◎総合発表会の取り組みの安心・安全な活動。下校時間の遵守	●秋の交通安全指導 ●自転車点検	●下校時間の遵守 ◎交通事故の加害と被害 ◎避難訓練	●火器への注意 ◎冬休みの生活計画と安全と防犯	●冬休みの振り返り ◎災害への備えと協力	◎降雪時の安全 ●けがの発生状況とその防止	●1年間の反省 ◎震災から学ぶ命 ●球技大会での安全	
	第2学年	●通学路の確認・交通安全指導 ◎避難経路の確認	◎障がいのある人への理解と支援 ◎校外学習での安全	◎校外学習での安全 ◎避難訓練 ●雨天時の校舎の通行の注意	◎自己の生活の振り返り ◎夏休みの生活計画と安全・防犯 ◎非行防止教室	●夏の生活の振り返り ●風紀・挨拶、登校指導	◎総合発表会の取り組みの安心・安全な活動。下校時間の遵守	●秋の交通安全指導 ◎職場体験学習での安全な活動	●下校時間の遵守 ◎携帯電話やネットの安全な利用 ◎避難訓練	●火器の注意 ●球技大会での安全 ◎冬休みの生活計画と安全と防犯	◎震災から学ぶ ●冬休みの振り返り ●自身の健康管理	●降雪、凍結時の安全 ◎自身の健康管理()	●1年間の反省 ●球技大会での安全 ◎震災から学ぶ命	
	第3学年	●通学路の確認・交通安全指導 ◎避難経路の確認	◎修学旅行での安全	◎避難訓練 ●雨天時の校舎での過ごし方	◎自己の生活の振り返り ◎夏休みの生活計画と安全・防犯	●夏の生活の振り返り ●登下校の安全 ●交通機関活用のルール・マナーについて	◎総合発表会の取り組みの安心・安全な活動。下校時間の遵守	●秋の交通安全指導	●疾病と予防、体調管理について ◎避難訓練	●火器の注意 ◎冬休みの生活計画と安全と防犯 ●自身の健康管理	●冬休みの振り返り ●自身の健康管理 ◎交通機関活用のルール・マナー	●降雪、凍結時の安全 ◎球技大会での安全	◎震災から学ぶ ◎学校・教室環境の整備修繕	
	生徒会活動	●昼休みの過ごし方(ボール使用の注意) ◎新入生オリエンテーション(クラブでの安全・下校時間・登下校の安全)	●生活委員会(登下校時の安全) ●クラブ部長会(クラブ中の安全・下校時の安全)	●生活委員会(雨天時の校舎内の過ごし方) ●保健委員会(けがの注意)	●保健委員会(健康管理・熱中症対策) ●クラブ部長会(夏休みのクラブ活動の注意点)		●総合発表実行委員会(活動時間の厳守・活動のきまり)	●クラブ部長会(下校時刻の確認・下校時の安全)	●生徒朝礼(下校時刻の厳守)	●四中見学会 ●本部指導(四中見学会での安全確認) ●クラブ部長会(下校時刻の確認)	●保健委員会(健康管理・インフルエンザ対策) ●クラブ部長会(下校時刻の確認)			
	主な学校行事等	・入学式 ・健康診断 ・春の交通安全運動	・新体カテスト ・校外学習(1年) ・宿泊学習(2年) ・修学旅行(3年) ・防災避難訓練(火災)		・終業式	・始業式		・秋の交通安全運動時の啓発活動	・防災避難訓練(不審者)	・終業式	・始業式 ・避難訓練(地震)	・球技大会	・卒業式 ・球技大会 ・修了式	
安全管理	対人管理	学校生活における安全	自転車の乗り方	プール授業での安全	熱中症の防止 自転車の乗り方		総合発表会の準備と安全	避難訓練	不審者への注意喚起		登下校時の安全パトロール		1年間の人的管理の評価	
	対物管理	通学路の点検(交通安全運動)	体育祭での運動場整備	プールの安全点検		学校設備の安全点検	避難経路の確認	防火設備の点検			学校備品の安全点検		1年間の安全点検の評価	
学校安全に関する組織活動		・登下校指導(年間) ・春の交通安全運動時の啓発活動 ・保護者、教職員の街頭指導	・避難訓練 ・校外における生徒の安全行動把握、情報交換 ・防災講演会	・地域の危険箇所点検 ・防災に関する研修 ・心肺蘇生法(AED)研修	・交通安全教室 ・非行防止教室 ・薬物乱用防止教室 ・保健委員会	・地域パトロール	・880万人訓練 ・秋の交通安全運動時の啓発活動 ・保護者、教職員の街頭指導		・避難訓練(不審者) ・冬季の通学路点検	・年末・年始の交通安全に関する啓発活動		・保健委員会		

## (12)学年の目標

### R8年度【 1 学年 】 教育計画

#### 【重点項目】

《コミュニケーション力》 《チャレンジ・行動》 《やりぬく》

#### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《コミュニケーション力》

- ・相手のことを考えて接することができる。
- ・自分の考えを伝えることができる。
- ・困ったことがあったときに自ら助けを求めることができる。

《チャレンジ・行動》

- ・課題が与えられたときに、自ら取り組むことができる。
- ・興味、関心を持って失敗を恐れずに取り組むことができる。

《やりぬく》

- ・途中で投げ出さずに、最後まで取り組むことができる。

### R8年度【 第2学年 】 教育計画

#### 【重点項目】上の付きたい力の中から(複数でも OK)

・**コミュニケーション力** ・自分で決める ・チャレンジ、行動 ・振り返り・改善

#### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 \*無い部分は削除してください

《自分で決める》

クラスや仲間が楽しく過ごすために主体的に考え判断し、正しい方向に進むことができる

《チャレンジ・行動》

未知の領域や困難な状況に対しても厭わず、自分や仲間・クラスが成長する(より良くなる)ための正しい発言や行動をとることができる。

《コミュニケーション力》

自分だけでなく相手やクラスの仲間のことを考えた言動をとることができる。

班やクラスの仲間と分け隔てなくつながり、関わることができる。

困ったときやしんどい時にクラスや学年の仲間を頼ることができる。

学校生活の様々な場面で、互いに支え合うことができる。

《振り返り・改善》

トライ&エラーを繰り返す中で、自分や自分たちがとった発言や行動を見つめなおし、自分や仲間・クラスがより良い方向に成長できる、次の発言や行動につなげることができる。

### R8年度【 第3学年 】 教育計画

#### 【重点項目】

《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動・・・】 対話や折衝(折り合い)

#### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《コミュニケーション力》

- ・本音でぶつかり合える「本物のつながり」がある
- ・リーダーがクラスや学年を引っ張る“じりつ(自立・自律)した”集団
- ・生徒同士で制御し合える自治力がある
- ・生徒間トラブルが起きたときに、きちんと自分の課題と向き合って、自力解決をはかることができる
- ・誰に対しても温かい関わりができ、教室が誰にとっても居心地のいい空間である

(13)分掌の目標と年間計画

R8年度【 教務 】教育計画

【取り組み内容】時系列で列挙

<通年>

- ①各部署と連携し、学校運営の調整をする。
- ②授業時数の確保と実施状況の調査を行う。
- ③月中行事や諸連絡などをデジタル化に統一し、職朝時間の短縮・作業効率を推進する。
- ④諸帳簿の作成と事務処理に関する情報を共有し、チェック体制を機能させる。
- ⑤短縮期間や他部署からの要請に沿って特別時間割作成を行う。
- ⑥学力調査・チャレンジテストの準備、仕分け、実行
- ⑦行事関連の資料作成、司会進行などを取りまとめる。
- ⑧時間割作成・確認などの取りまとめを行う。
- ⑨C4th のデータ処理・管理。
- ⑩年間指導計画作成を支援する

4	入学式、始業式、保護者集会
5	学力調査(3年)
6	教育相談、1学期末テスト
7	1学期末懇談、終業式
8	(校内研修)、始業式
9	チャレンジテスト(3年)、文化祭
10	体育祭
11	3年保護者集会、2学期末テスト、教育相談
12	2学期末懇談、終業式
1	始業式、チャレンジテスト(1・2年) 卒業テスト(3年) 入学説明会
2	3年進路相談、学年末テスト(1, 2年)
3	卒業式 修了式

役割分担

<p>&lt;校務関係&gt;</p> <p><b>通年業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職朝連絡板の運営 ・前WBの記入 ・チャイム管理 →1学期(3年)・2学期(2年)・3学期(1年)</li> <li>・授業時間の調整:【①南野②岩下③脇谷】</li> <li>・諸帳簿の整理:【全員】</li> <li>・テスト監督【各学年担当】</li> <li>・C4th担当【岩下、脇谷】</li> </ul> <p><b>特別業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力テスト準備、管理:【岩下(各学年担当)】</li> <li>・チャレンジテスト準備、管理:【岩下(各学年担当)】</li> </ul> <p>&lt;学校外との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市教研担当:【井手】</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## R8年度【 学力向上 】教育計画

### 【重点項目】

《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動…】対話や折衝(折り合い)

- ➡ 各教科部会において、「コミュニケーション力」の育成にどうアプローチするか具体的な方策を考えるとともに、それを教科の枠を越えて共有し、また教科に戻していく。単純に班学習、ペア学習などを増やすのではなく、どんな意図を持って、どんな力をつけさせようとしているのか、授業者だけでなく生徒も意識できるような土壌をつくっていく。
- 学校教育自己診断や全国学力学習状況調査のアンケートなどを活用して見取る。

### 【取り組み内容・学力向上プラン(概要)】

- 通年 : ・月1回、放課後に学力向上委員会を実施  
・中間テスト廃止についての検証と今後の方向性  
・単元テスト等の在り方、実施方法、評価方法、工夫などの共有  
・授業交流週間の実施方法の検討  
・研究授業についての内容検討
- 4月 : ・本年度の学力向上テーマの共有(職員会議)  
・全国学調の問題分析  
・年間の行事予定の確認、研究授業の日程、授業者の確定
- 5月 : ・5/11 第1回研究授業(ベクトル合わせの協議)…2, 3年生で4クラス
- 6月 : ・授業交流週間の実施
- 7月 : ・アンケート(案)の作成・実施・集約  
・全国学調の結果分析
- 8月 : ・第2回研究授業に向けて担当分担  
・学習委員への事前研修
- 9月 : ・9/10 第2回研究授業…2, 3年生で残りの8クラス  
・3年生チャレンジテストの問題分析
- 10月 : ・第2回授業交流週間
- 11月 : ・アンケート(案)の作成・実施・集約  
・3年生チャレンジテストの結果分析
- 12月 : ・中間テスト廃止についての次年度案の作成  
・第3回研究授業に向けての担当分担
- 1月 : ・第3回研究授業(公開)…1年生全クラス  
・1, 2年生チャレンジテストの問題分析
- 2月 : ・総括、次年度に向けて  
・1, 2年生チャレンジテストの結果分析
- 3月 : ・次年度に向けて

## R8年度【 学習進路部 】教育計画

### 【重点項目】

《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動…】対話や折衝(折り合い)

### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《コミュニケーション力》

他者(保護者、教師、地域の方、仲間など)と主体的に関わり、自分が将来やりたいことを発見することができる(自分を知る)。また、卒業後、自分が将来やりたいと思って進んだ道でやり続けられるような進路選択ができる(自分で決める)。

【取り組み内容】時系列で列挙

通年	： ・進路指導 ・進路希望調査集約 ・オープンスクールの案内配布 ・進路相談室の開館 ・高校とのやり取り		
4月	： ・全国学力・学習状況調査		
5月	： ・第1回保護者集会		
6月	： ・進路学習(高校入試について、高校 PR スライド作成、ハイスクールレポート)、 教育相談、第1回進路希望調査	自分で決める	自分を知る
7月	： ・三者懇談		
8月	： ・第1回実力テスト		
9月	： ・チャレンジテスト、第2回進路希望調査	自分で決める	
10月	： ・第2回保護者集会、3年進路学習(私立・公立高校入試について)、教育相談		
11月	： ・第2回実力テスト、3年進路学習(私立・公立高校の出願について) 第3回進路希望調査	自分で決める	
12月	： ・第1回進路検討会、三者懇談		
1月	： ・第3回実力テスト、進路相談、教育相談、私立高校出願、第4回進路希望調査 3年進路学習(面接について)、1年進路学習	自分を知る	自分で決める
2月	： ・第2回進路検討会、面接練習、私立入試、公立特別選抜入試 高専入試 第5回進路希望調査、2年進路学習	自分で決める	自分を知る
3月	： ・公立一般選抜入試、公立高校二次選抜		

R8年度【キャリア教育部】教育計画

【重点項目】

《コミュニケーション力》

☆ 人間関係づくり

→ つながり愛たいむなどの学級活動や班活動を通して、対話力や折衝力(折り合いをつける力)を身につける

《自分を知る》

☆ 将来を見据えた自分の生き方

→ 自分を知る(自己理解)、職場体験学習や生き方探究を通して、将来の自分と結びつけて、生き方を考える力を身につける

《チャレンジ・行動》

☆ 自ら課題へと取り組む姿勢

→ PA、校外学習、修学旅行を通して、主体的に活動や集団づくりに取り組む力を身につける

《ふり返り・改善》

☆ 学習内容を自分のこれからへとつなげる

→ キャリアパスポートや各学習におけるふり返り用紙の記入を通して、自分が学んだことをこれからの自分の人生に活用する力を身につける

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《コミュニケーション力》

・心理的安全性が高まり自分の属する集団において自然と自分の事や自分の考えを話せる

**つながり愛たいむ**

・相手の気持ちを考え、あたたかい聴き方、姿勢で話を聴くことができる。

**あたたかい聴き方・聞く準備**

・TPO を正しく判断し、適切な言葉、適切な声量で自分の考えを伝えることができる。

**声のものさし**

・一人ひとりの違いを認め合い、子ども同士が関わり合いつなげることができる。

**PA、校外学習、修学旅行**

《自分を知る》

・活動を通して、自分の考えや意見を深め、学ぶことの意義を自覚し、自己の生き方について考えることができる。

**自分を知る（自己理解）、職場体験学習**

・人とかかわりの中で、他者の考えを受け入れながら、客観的に自分を知らることができる。

**意見の交流全般**

《チャレンジ・行動》

・自分の疑問や関心に基づいて、追及したい課題を見つけ、テーマを設定することができる。

**自分の生き方の探究**

・自分の価値観に基づき、複数ある選択肢の中から自らの意思で、活動や行動を選択できる。

**PA、校外学習、修学旅行、職場体験**

《振り返り・改善》

・他教科等で培った表現力等を活用したり、中間発表などを行い、他者からのフィードバックをふまえて、より深い学習へとつなげることができる。

**ふり返り用紙の記入**

・キャリアパスポートを活用し、3年間を見通した「幸せに生き合う」取り組みの振り返りを行い、保護者など身近な大人からの思いを受けながら、よりよい生活へとつなげることができる。

**キャリアパスポート**

・活動での失敗を通して学んだことを、次の取り組みや行動に活かすことができる。

**PA、校外学習、修学旅行**

【取り組み内容】

全学年	1年	2年	3年
目標	自分を考える (人間関係づくり、課題対応能力)	仕事と社会問題を考える (自己理解、課題対応能力)	生き方について考える (キャリアプランニング、課題対応能力)
4月	☆キャリアパスポート① つながり愛たいむ(人間関係づくり) ・あたたかい聴き方 ・聴く準備 ・声のものさし ・自己開示 など	☆キャリアパスポート① つながり愛たいむ(人間関係づくり) ・あたたかい聴き方 ・聴く準備 ・声のものさし ・自己開示 など	☆キャリアパスポート① つながり愛たいむ(人間関係づくり) ・あたたかい聴き方 ・聴く準備 ・声のものさし ・自己開示 など
5月	自分を知る(自己理解) ・自分の好きなこと 校内学習 ・プロジェクトアドベンチャー"with" ・クラスレク	☆キャリアパスポート② 目標 校外学習事前学習(人権学習)	☆キャリアパスポート② 目標 修学旅行(平和学習)
6月		校外学習(人権学習) ☆キャリアパスポート② 振返	☆キャリアパスポート② 振返
7月	☆キャリアパスポート② 目標	☆キャリアパスポート③ 目標 職場体験事前学習 ・自分の強み、価値観の確認 ・働くということの確認 ・体験先の決定 ☆キャリアパスポート④ 目標	☆キャリアパスポート③ 目標
8月			
9月	つながり愛たいむ(人間関係づくり) ☆キャリアパスポート② 文化祭振返	つながり愛たいむ(人間関係づくり) ☆キャリアパスポート③ 文化祭振返	つながり愛たいむ(人間関係づくり) ☆キャリアパスポート③ 文化祭振返
10月	☆キャリアパスポート② 体育祭振返	☆キャリアパスポート③ 体育祭振返	☆キャリアパスポート③ 体育祭振返
11月	自分を知る(自己理解) ・自分の強み、価値観	職場体験 ☆キャリアパスポート④ 振返 探究「社会の課題を解決する」	探究 「幸せに生き合うための自己の生き方」
12月			
1月	つながり愛たいむ(人間関係づくり)	つながり愛たいむ(人間関係づくり)	つながり愛たいむ(人間関係づくり)
2月	職場体験事前学習 ・働くということ		・生徒主体での学年レク ☆キャリアパスポート④
3月	生徒主体での学年レク ☆キャリアパスポート③	・生徒主体での学年レク ☆キャリアパスポート⑤	

## R8年度【 生徒会 】教育計画

### 【重点項目】

《コミュニケーション力》 人間関係づくり【学級活動 班活動…】 対話や折衝(折り合い)

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《コミュニケーション力》

- ・リーダーシップを取り、主体的に取り組む。
- ・仲間と協力しながら取り組む。
- ・思いやりの心をもつ。

### 【取り組み内容】 時系列で列挙

通年	:	・生徒集会		
		・定例委員会…	自分で決める	
		・ボール貸し出し		
		・チャリティ活動		
4月	:	・対面式		自分を知る
		・新入生オリエンテーション…		
		・クラブ仮入部、本入部、クラブ集会		
6月	:	・生徒総会…	振り返り・改善	
9月	:	・文化祭…		
10月	:	・体育祭…	コミュニケーション力	チャレンジ・行動
		・役員選挙…	チャレンジ・行動	自分で決める
1月	:	・小学生見学会		

## R8年度【 生徒指導部 】教育計画

【重点項目】上の付けたい力の中から(複数でも OK)

《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動…】 対話や折衝(折り合い)

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 \*無い部分は削除してください

《自分を知る》

- 自分の得意なこと・苦手なことを言葉で説明できる
- 感情の変化(イライラ・不安・うれしさ等)に気付き、表現できる
- 失敗や注意を「自分を否定された」と捉えすぎずに受け止められる
- 周囲と比べすぎず、自分なりの成長を大切にしようとする
- 困ったときに「自分は今、助けが必要だ」と自覚できる

《自分で決める》

- 生活や学習の場面で、自分なりの選択理由を説明できる
- 周囲への影響も考慮したうえで、自分で決めることができる
- ルールや約束の意味を考え、納得して守ろうとする
- 失敗しても「自分で決めたこと」として結果を受け止められる
- 教員や友達の助言を参考にしながら、最終判断を自分で行う

《チャレンジ・行動》

- 失敗を恐れすぎず、新しいことに一歩踏み出そうとする
- 「できる・できない」より「やってみる」ことを選べる
- 苦手なことにも、できる形や小さな目標を見つけて挑戦する
- 行事や係活動で、自分の役割に前向きに取り組む
- 周囲の挑戦を応援し、挑戦する雰囲気づくりに関わる

## 《コミュニケーション力》

- 相手の話を最後まで聞こうとする態度が身に付いている
- 自分の気持ちや考えを、相手を傷つけない言葉で伝えようとする
- 意見の違いがあっても、感情的になりすぎずに話し合える
- 困っている友達に声をかけたり、助けを求めたりできる
- 集団の中で、自分の役割を意識して関わろうとする

## 《振り返り・改善》

- 行動の結果を振り返り、「よかった点」「課題」を見つけられる
- 失敗を他人や環境のせいだけにせず、自分にも矢印を向け、次に生かそうとする
- 教員や仲間からの助言を受け止め、行動を修正できる
- 「次はどうするか」を具体的に考え、言葉にできる
- 日常生活において小さな改善の積み重ねを大切にしようとする

## 《やりぬく》

- 途中で投げ出したくなる場面でも、粘り強く取り組もうとする
- すぐに結果が出なくても、努力を続ける姿勢がある
- 困難な状況でも、支えを求めながら最後までやり切る
- 役割や約束を最後まで果たそうとする責任感がある
- 「できた経験」を自信につなげ、次の挑戦に向かう

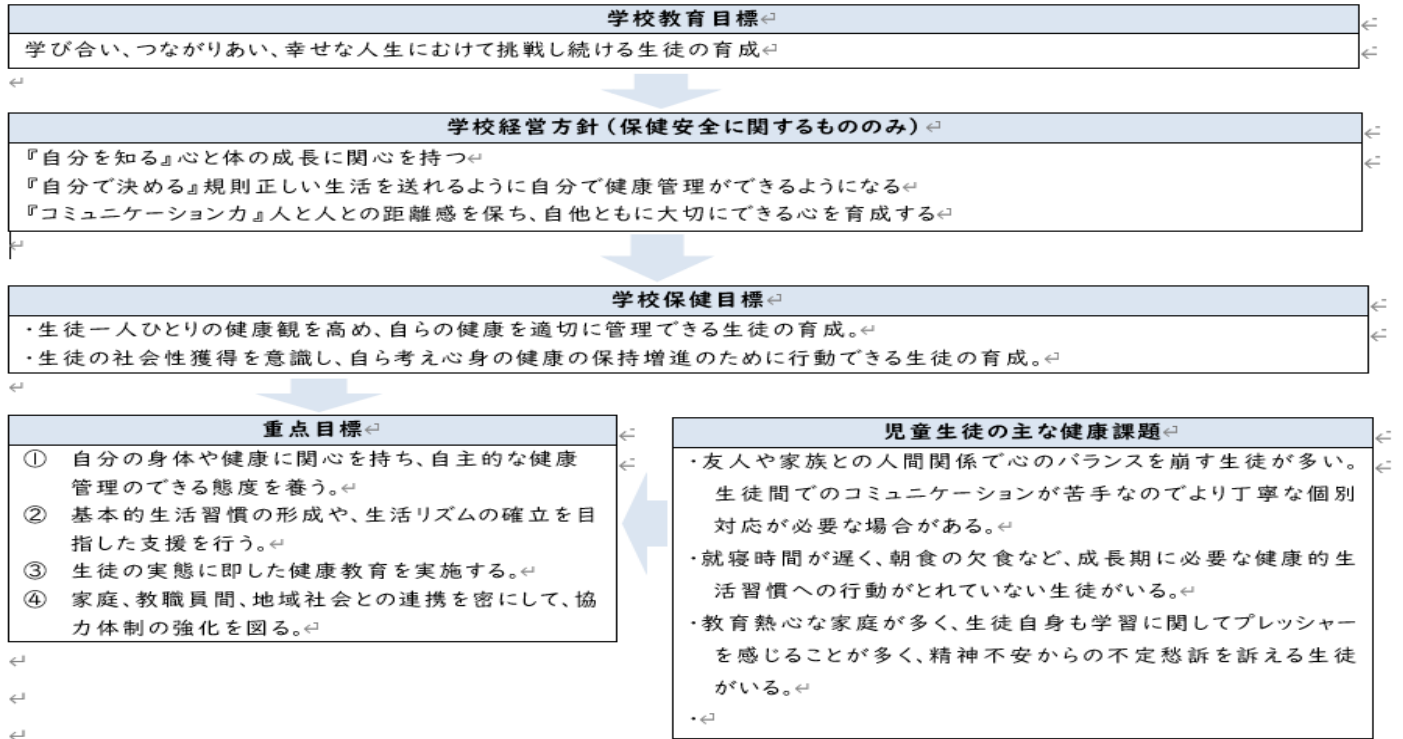
## 【取り組み内容】時系列で列挙

通年	：	・週に1度の生徒指導部会での【いじめ対策委員会】、【不登校対策委員会】 【虐待対応委員会】		
		・SCとの窓口 ・関係機関との連携 ・校内教育支援ルームの管理、運営		
		・貸し出し品の管理 ・落とし物の管理 ・毎月の出欠状況把握 ・集会での話		
		・全体への注意喚起プリントの作成 ・生徒証の管理 ・防災計画		
		・緊急時の役割分担 ・いじめ防止基本方針 ・不登校生徒基本方針		チャレンジ・行動
		・生徒指導事案発生時の情報共有 & 方針検討		
		・校則見直し(ルールメイキング)⇒	自分で決める	振り返り・改善
4月	：	・クラス写真 ・学校生活の決まり		
5月	：	・生活アンケート⇒	自分を知る	コミュニケーションカ
6月	：	・教育相談⇒	振り返り・改善	・避難訓練(地震火災) ・アセスメントシート
		・SNS 講演会(1年)⇒	コミュニケーションカ	・非行防止教室(2年)
7月	：	・交通安全教室(1年) ・薬物乱用防止教室(3年)		
		・夏休みの過ごし方 ・学校生活に係るアンケート		
8月	：	・生活アンケート⇒	自分を知る	
9月	：			
10月	：	・教育相談⇒	振り返り・改善	・性教育(3年)⇒
				コミュニケーションカ
		・生活アンケート⇒	自分を知る	
11月	：	・性教育(1, 2年)⇒	自分を知る	
		・不審者対応訓練(周知)⇒	チャレンジ・行動	コミュニケーションカ
		・アセスメントシート		
12月	：	・冬休みの過ごし方 ・学校生活に係るアンケート		
1月	：	・避難訓練(地震火災) ・新入生保護者説明会		
		・生活アンケート⇒	自分を知る	振り返り・改善

- 2月 : ・教育相談⇒  
 ・アセスメントシート ・学校生活に係るアンケート
- 3月 : ・春休みの過ごし方

R8年度【 保健室 】教育計画

令和8年度 枚方市立第四中学校 保健室経営計画 養護教諭



<b>保健室経営目標</b>	
<p>* 包括的性教育の観点で、人間関係の築き方に重点を置いた健康教育を実施し、自他ともに大切にできる心の健康に関する指導の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態及び、大阪府における性に関する指導普及事業報告書などを参考にし、性に関する年間指導計画の見直しを教職員と連携して行う。</li> <li>・性の多様性に関する学習を全学年で取り組む。</li> <li>・生徒の実態調査を元に、学年と連携して性に関する指導の授業実践を行う。(対象:1年・2年・3年)</li> <li>・専門家と事前打ち合わせを行い、連携して「命の大切さ」「性感染症予防」の出前授業を実践する。</li> <li>・校区の小学校養護教諭と連携し、つながりのある包括的性教育を計画する。</li> </ul>	<p>* 生徒の心身の健康問題に対する支援の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態を把握するために、保健室来室記録データを活用する。職員間で共有する。</li> <li>・生活習慣・心的ストレスが原因の体調不良を訴える生徒に対して、知識提供と生活行動について健康相談活動を行う。</li> <li>・生徒保健委員会で、生活習慣に関する実態調査をし、全生徒に対して生活リズムの改善を働きかける。(文化祭展示等を活用)</li> <li>・入学説明会や保健だよりを通して、保護者に生徒の実態や生活リズムの改善の必要性を伝え、家庭の協力を得る。</li> <li>・学校保健委員会を開催し、生徒の健康状態・生活習慣について実態や課題を共有し、改善について協議する。</li> </ul>
<p>* 健康生活に関する保健指導の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態及び教科指導内容に合わせた健康教育の3年間での積み上げ計画の見直しを教職員と連携して行う</li> <li>・生徒の実態調査を元に、学年と連携して健康教育の授業実践を行う。(1年;喫煙防止教育、2年;薬育、3年;薬物乱用防止教育)</li> <li>・校区の小学校養護教諭と連携し、健康教育実施内容を共有する。つながりのある健康教育実施を計画する。</li> </ul>	

## R8年度【 道徳部 】教育計画

### 【重点項目】

#### 《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動・・・】対話や折衝(折り合い)

#### 《自分を知る》

### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

#### 《コミュニケーション力》

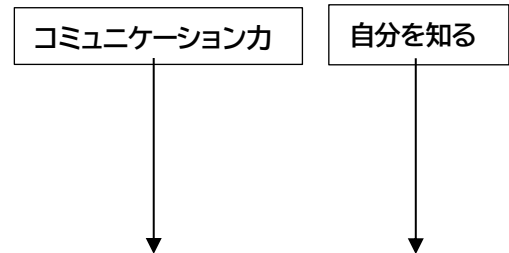
- ・一人ひとりを尊重し、多様性を認め合う(思いやり・共感)
- ・共に考え、多様な視点から物事をとらえることができる
- ・互いの意見、考えを伝え合い、あたたかい聴き方できくことができる

#### 《自分を知る》

- ・「道徳的価値」について考え、自分が何を大切にしたいのか、どうありたいのかという内面的な規範を自覚する
- ・人間の弱さを含め、自分の良さや課題(短所)にも向き合い、理解する
- ・多様な感じ方や考え方に触れることで、自分独自の視点や個性を発見する

### 【取り組み内容】時系列で列挙

- 通年 : 担任道徳、ローテーション道徳  
4月 : 共生社会教育、学校生活の決まり(全学年)  
5月 : SNS 講演会(1年生)  
6月 : 非行防止教室(2年生)  
11月 : 道徳講演会(全学年)



- 実施月未定 : 交通安全教室(1年生)、人権講演会(2年生・3年生)  
薬物乱用防止教室(3年生)

## R8年度【 環境安全 】教育計画

### 【重点項目】上の付けたい力の中から(複数でも OK)

やりぬく・コミュニケーション・自分で決める

### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

#### 《自分で決める》

自ら選んだ委員会活動に積極的に取り組む姿。

#### 《やりぬく》

清掃活動にしっかりと取り組み、清掃時間いっぱい掃除をやりぬく姿。

#### 《コミュニケーション力》

自分の清掃場所が終了したら他を手伝ったり、一緒に清掃したりするなかで、会話などを通して協力して取り組む姿。

### 【取り組み内容】

- 通年: テニスボール補充、清掃用具点検、清掃用具補充や管理、美化委員との連携  
4月: 入学式準備、机・椅子の入れ替えや補充、清掃分担作成、清掃用具準備、カーテン配布  
7月: 大掃除、ワックスがけ  
12月: 大掃除、ワックスがけ、四中清掃大作戦  
1・2月: 防災教育  
3月: 大掃除、カーテン回収、教室整備、来年度使用できる机、椅子の確認

## R8年度【 ICT 】教育計画

### 【重点項目】

- 《コミュニケーション力》  
 人間関係づくり【学級活動 班活動・・・】 対話や折衝(折り合い)  
 《自分で決める》

### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

- 《コミュニケーション力》
- ・自分で考えたことや調べたことを双方向コミュニケーションを通し、他者の意見や考えを理解し、情報を共有し、自分の考えを深め、説明できる。
  - 《自分で決める》
  - ・自ら調べたい、学びたいテーマを考え、どのように調べていくか図書や iPad 等の使い分けができ、自分らしい学びのスタイルを決めることができる。

### 【取り組み内容】

ICT 年間計画					
1学期		2学期		3学期	
	・各種アカウント年度更新 ・1年生 iPad 貸与 ・1年生各種アカウント発行 ・各教室のICT機器の環境整備 ・生徒アンケート実施(市教委)		・文化祭、体育祭の放送機器の点検・準備 ・ICT 委員会でタイピング大会などの立案、実施 ・生徒アンケート実施(市教委)		・3年生 iPad 回収 ・3年生 iPad のリセット作業(主に支援員さん) ・1・2年生 iPad 確認 ・教室の ICT 機器チェック ・旧 iPad のチェック ・新1年生の配布用 iPad のチェック
通年	・放送機器の管理 ・ICT 機器の環境整備・管理(教室 ICT 機器・生徒の iPad・Microsoft アカウント等) ・iPad 管理(教員・生徒)、iPad の修理・故障対応 ・ICT 機器の活用方法の研究・実践 ・校内研修(授業支援ソフト、デジタルシティズンシップ、情報教育、SNS等(適宜)) ・ICT 委員会の運営・補助				

## R8年度【 図書 】教育計画

### 【重点項目】

- 《コミュニケーション力》  
 人間関係づくり【学級活動 班活動・・・】 対話や折衝(折り合い)

### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 \*無い部分は削除してください

- 《コミュニケーション力》
- ・自分で考えたことや調べたことを双方向コミュニケーションを通し、他者の意見や考えを理解し、情報を共有し、自分の考えを深め、説明できる力を養う。(TED やプレゼン力に関連する図書を取り入れる予定)

## 【取り組み内容】時系列で列挙

### 1. 年間計画

月	図書館行事	図書館経営	委員会活動
4月	○1年生図書館オリエンテーション ○図書館昼休み	○学校図書館経営方針・目標の作成 ○取組計画・年間計画の作成 ○図書館利用案内発行 ○貸出のための利用者登録 ○朝読書の企画・提案	○前期第1回委員会 ○活動目標、当番決め ○仕事内容と学級文庫の説明 ○当番活動開始
5月			○前期第2回委員会
6月			○前期第3回委員会
7月・8月	○懇談期間の特別開館実施 ○書店巡回展示 ○夏休み前の特別貸出実施	○ブックフェア参加	○前期第4回委員会
9月			○前期第5回委員会 ○体育祭の係説明
10月	○読書週間特別貸出実施		○前期第6回委員会 ○前期活動の反省
11月	○調べ学習コンクール出展		○後期第1回委員会 ○活動目標、当番決め ○仕事説明、当番活動開始
12月	○懇談期間の特別開館実施 ○冬休み前の特別貸出実施		○後期第2回委員会
1月			○後期第3回委員会
2月		○図書館利用状況のまとめ ○総括資料作成	○後期第4回委員会
3月	○未返却図書の督促	○次年度の運営計画 ○年度末未返却図書の督促	○後期第5回委員会 ○後期活動の反省
通年	○季節や行事に関連した特集展示 ○新着図書案内の掲示	○資料選書・発注・除籍 ○修理・寄贈本装備 ○督促 ○新着リストの配信 ○生徒へのレファレンス	○当番活動(貸出返却・館内整理・記録) ○学級文庫の貸出と管理(毎月)

## R8年度【 人権教育部 】教育計画

### 【重点項目】

#### 《コミュニケーション力》

人間関係づくり【学級活動 班活動・・・】対話や折衝(折り合い)

### 【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

#### 《コミュニケーション力》

- ・違いを認める豊かな心をもつ生徒。
- ・他者の意見を尊重し、共感をもって接することができる。
- ・状況に応じて適切な言葉を選び、相互理解を深めるコミュニケーションができる。



- ・自分で決めた目標をスモールステップで少しずつ達成できる。
- ・進路について考え、自分で納得のいく進路選択ができる。

#### 《チャレンジ・行動》

- ・時間割や提出物などの予定を自分で把握し、見通しを持って取り組めるようになる。
- ・見通しを持てるようサポートを受けながら、初めてのことに臆せず挑戦することができる。

#### 《振り返り・改善》

- ・自分の言動を客観視し、周りとの適切なコミュニケーションが取れるようになる。

#### 《やりぬく》

- ・失敗しても落ち込んだり、投げ出したりせず、自分ができることを最後まで取り組む。

#### 【取り組み内容】時系列で列挙

通年：・予定把握・持ち物管理のサポート。

- ・合理的配慮の相談、調整。・課題のサポートと、課題の軽減や代替の相談、調整。
- ・登校後出欠確認前、終礼後の支援教室での個別の指導。
- ・校外学習・文化祭・体育祭などの事前、当日、事後のサポート。・定期テストの配慮事項の調整。
- ・PEERS(思春期ASDの子どものためのソーシャルスキルトレーニング)の実施。(支援在籍生徒対象 週1回)
- ・グループでの簡単なSST。(支援在籍生徒対象 週2回)
- ・外部機関との連携。(支援学校、放課後デイサービス、子ども家庭センター等)・進路先との引継ぎ。
- ・小学校への授業見学。(支援・通級生徒対象)
- ・校区内の3小学校との連携。(カリキュラム、個別の支援計画の共有、学びの場の見直し、種別の変更の検討)
- ・校内支援委員会の開催・理学療法士による巡回指導(学期に1回)・小学生の保護者対象の個別懇談
- ・支援学級、通級指導教室への入級相談

4月：・新入生との顔合わせ、共生社会学習

5月：・1年生歓迎会

6月、7月：・小学生の保護者対象の説明会・個別相談

8月：・職員研修(UD観点での授業づくり)

12月：・クリスマス会

3月：・4月入級予定新入生の生徒、保護者対象の個別相談、3年生を送る会、

### <総務部>

#### 【重点項目】

- ・公費の効率的執行
- ・学校環境の改善を図る
- ・学校徴収金の透明性を図る
- ・校務員・学年会計担当者との連携

#### 【取り組み内容】時系列で列挙

通年：・月末特殊勤務手当・旅行命令簿、連携事務室会議

4月：・備品、消耗品購入品決定

5月：・学校徴収金予算書作成・配布

6月：・第1回学校諸費振替

7月：・第2回学校諸費振替、徴収金未納対応、就学援助金学校長口座入金

8月：・第1期備品納品

9月：・第3回学校諸費振替、第2期備品納品

10月：・第4回学校諸費振替

11月：・通勤手当事後確認

12月：・第3期一括購入備品納品、徴収金未納対応、就学援助学校長口座入金

1月：・徴収金未納対応

2月：・生徒会費決算書作成

3月：・学年費決算書作成、就学援助金学校長口座入金・返金

## (14)不登校児童・生徒への対応方針

### 学校対応

### 連携対応

#### レベル1 連続欠席が2日、または月間の断続的欠席が3～5日

担任による電話連絡を行います

- 欠席理由
- 医療機関への受診の有無について
- 次の登校時の連絡などを行います
- ※欠席理由が不明瞭な場合、家庭訪問等で確認することもあります

\*学級・学年・教科など、校内での情報共通を行います\*

- ①学級での様子
- ②人間関係
- ③学習状況の確認
- ④部活動などの様子
- ⑤スクリーニングシート

不登校対策委員会で検討

チェック

保健室への来室状況なども有力な情報になります。

\*生徒指導・学年・委員会・SC・SSWとの連携を行います\*

#### レベル2 連続欠席が3日以上、または月間の断続的欠席が6～9日

担任による家庭訪問・電話連絡を行います

- 子どもの表情・様子 家庭環境
- 子どもの生活リズム 保護者の見立て
- 子どもの友人関係 登校への意欲レベル
- 子どもと保護者の関係性
- などに注意しながらお子さまの様子を伺います

- ①家庭環境
- ②学校での様子
- ③学習状況
- ④過去の欠席状況
- ⑤支援を要する場合の対応

ケース会議

情報共有した内容は、学校全体で共有します。

\*学校外の組織との連携\*

#### レベル3 長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、家庭と連絡が取れる状態

① 学校とのつながりを切らない努力をします

- ・電話・タブレットを活用した継続的な連絡、家庭訪問を実施します
- ・行事への参加の仕方も家庭と相談します

② 保護者、本人の意向の確認

- ・学習の仕方の確認(タブレットの活用等)
- ・SC、SSW等専門家相談へつなぐ
- ・別室対応(校内教育支援ルーム)

個別対応が行えるよう、校内体制の確保を行います

①教育支援センター「ルポ」

- ・学校を通さず直接家庭からの申込もできますが、登室状況はセンターと学校で情報共有を行い、子どもの支援を行います
- 枚方市教育文化センター別館 1F (TEL: 050-7102-3154)
- ・登室・訪問指導

②院内学級

③フリースクールなど

④その他必要に応じてつなぐ関係機関

- ・医療・診療内科(発達課題)・少年サポートセンター(非行)など

\*重大事案を想定した連携する関係機関\*

#### レベル4 長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、家庭と連絡が困難な状態

① SC、SSW等の専門家を交えたケース会議を行い

目的意識を持って組織的に対応します

② 長期的に連絡が取れない場合、学校には公的関係機関への通知や通告義務があることをお伝えさせていただきます

区分	連携する関係諸機関
就学義務違反	教育委員会
虐待	まるっとこどもセンター
非行	少年サポートセンター・スクールサポーター

\*重大事案に発展しないための緊急的な連携\*

#### レベル5 年間の出席が10日以下かつ、家庭との連絡が困難な状態

電話連絡や家庭訪問を行う中で、学校が家庭へ

アプローチした記録はすべて残します

また、日々の学校対応を記録しています

- ・電話連絡の際、留守番電話にメッセージを残す。
- ・家庭訪問の際、手紙を投函しておく。など

家庭と連絡が取れない状態、または家庭と連絡が取れても子どもにアプローチができない状態が続く場合には、子どもの命を守ることを最優先に考える対応を行います

①長期的に家庭との連携が取れず、「虐待」の疑いがある場合は、管理職に相談し緊急に関係諸機関と連携します。

→教育委員会へ通告書の写しを提出

→まるっとこどもセンターまたは中央子ども家庭センターに通告・状況に応じて警察に情報提供

②学校対応について保護者から過度な要求がある場合。

→スクールロイヤーに相談します(教育委員会を通して)

## (15)体力向上推進計画

### 『四中の傾向』

- ①学習面でのプレッシャーが強い家庭が多く、就寝時間が遅くなったり、不規則な食事時間になることが多い。
- ②運動能力の二極化が目立つ。

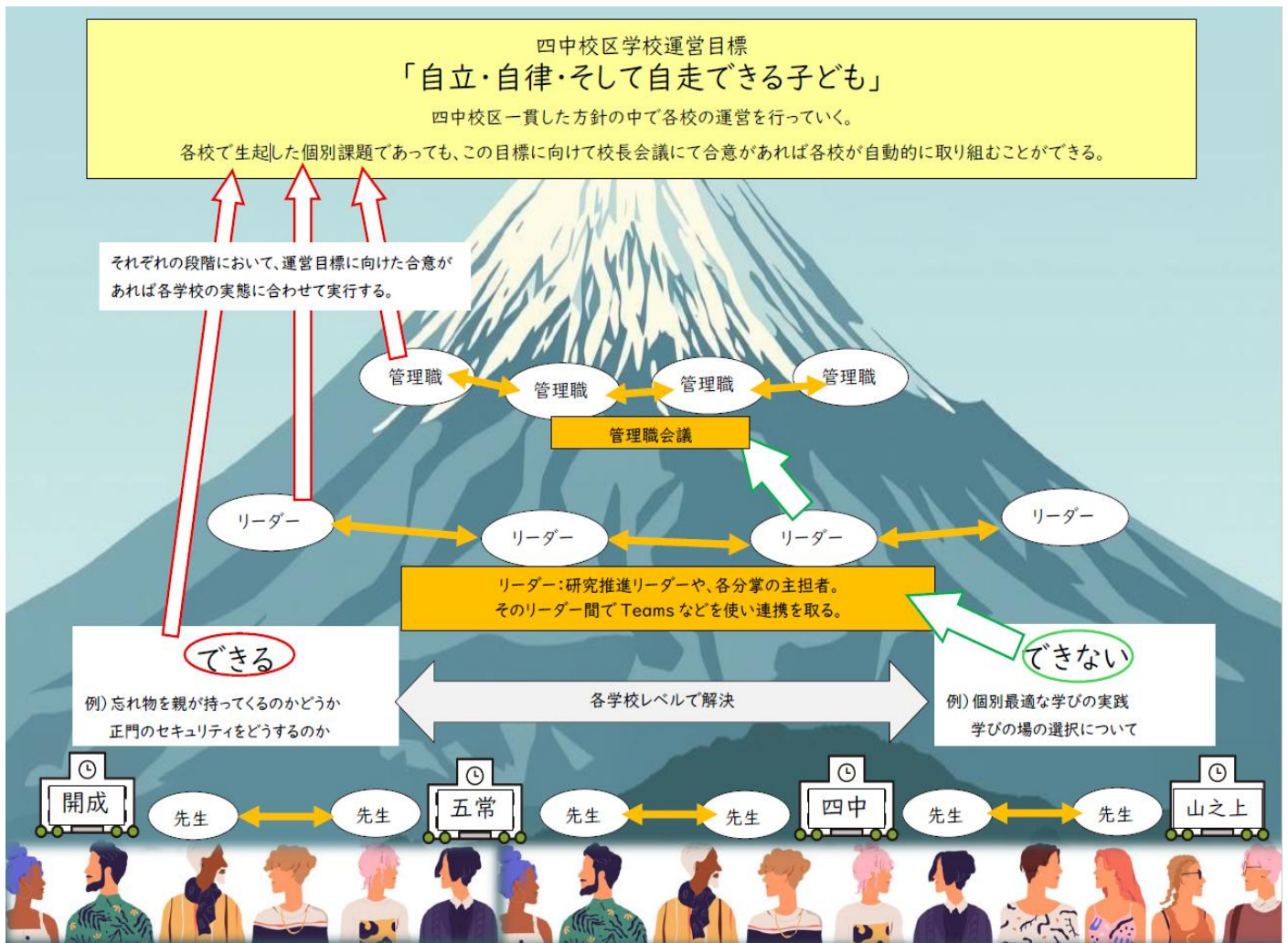
生活習慣においては、たとえば、朝食をしっかり摂ると体温上昇反応がよく、午前中から体の活性度が上がり、その結果学校生活にしっかり取り組めるようになる。また、運動で力を出し切ることによって、食欲がわき、心地よい疲れでぐっすり眠ることができる。そのため朝の目覚めが良く、また朝食もしっかりと食べられる。という具合に生活習慣が改善され始める。「食事」「運動」「休養」「勉強」「遊び」はそれぞれが独立しているようであるが、風車のようにつながっている。その中の「運動」について取り上げ下記のように取り組みたい。

**目標： 来年度の体力テストで全国平均を1つでも多く上回る。**

### 昨年度の課題(第2学年のデータより)

男子	女子
①新体力テストの平均値が良かった種目	①新体力テストの平均値が良かった種目
立ち幅跳び	50m走
ハンドボール投げ	②新体力テストの平均値が低かった種目
20mシャトルラン	立ち幅跳び
50m走	ハンドボール投げ
②新体力テストの平均値が低かった種目	20mシャトルラン
握力	上体起こし
上体起こし	長座体前屈
長座体前屈	反復横とび
反復横とび	握力
<b>③分析</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均と比較しても、ほぼ同じで良いと思われる。</li> <li>・また、バランスもいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均と比較すると、少し低い値である。運動やスポーツをすることが好きかの問いに対しての否定的な数値が高い。</li> </ul>
<b>④今後の取り組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の準備体操・補強運動等で、筋力、持久力、敏捷性、柔軟性とバランスよく鍛えられるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の準備体操・補強運動等で、筋力、持久力、敏捷性、柔軟性とバランスよく鍛えられるように工夫する。</li> </ul>

(16)枚方市小中一貫事業(四中学園モデル図)



枚方市小中一貫事業 四中学園年間計画

月日	会議等	行事等	
4月			
5月	・推進リーダー会議(オンライン)		
6月	推進リーダー会議(オンライン)	小中合同研修会	
7月	・推進リーダー会議(オンライン)	相互授業参観&研究協議参加	
8月			
9月	推進リーダー会議(オンライン)		
10月	・推進リーダー会議(オンライン)		
11月	・推進リーダー会議(オンライン)		
12月	推進リーダー会議(オンライン)		
1月			・体験授業 ・クラブ見学
2月	・連携リーダー推進会議(オンライン)		
3月			小中引継ぎ会

## (17)令和7年度チャレンジテストの結果と分析

### 《第一学年》

#### 【国語科】

授業における学習内容の基本的な知識の理解は定着していると思われ、学習指導要領の内容の知識及び思考力・判断力・表現力等も大阪府の平均点と比べても、問題ない数値を示していた。このことは、普段の授業での読む・書く・聞くの形態を重視し、教科書の熟読、読書感想文やレポートの作成、プリントによる短答式、記述式の問題演習の繰り返し等を積極的に取り入れたことによる成果だと考えられる。けれども、語彙力不足のため、読解力に大阪府との差が出ている現状である。

今後は、更に書くことと、読むことに集中させることの出来る演習問題を多く取り入れ、問題に丁寧に向き合っていく力(粘り強さ)を養っていただける授業を進めていきたいと考えている。

#### 【数学科】

日々の学習の様子を見ていると、基本的な知識の定着について不十分な所は見受けられるものの、「学習指導要領の領域別・評価の観点別・問題形式別」の視点からみると、大阪府の平均点を超える結果となった。これは、普段の授業から、グループ学習等で生徒同士がつながり、自分の苦手な課題に対しても仲間同士で学び合う環境をつくってきた成果だと考える。ただ、記述式の設定については大阪府平均と同じであったため、日々の授業のふり返りを自分の言葉でまとめさせる時間や記述式の演習問題を積極的に取り入れていく等することで改善を図っていきたい。また、どのような課題に対しても粘り強く解決できるような力を授業でもっとつけさせていきたい。

#### 【英語科】

リスニング問題では無回答率がほぼゼロであったこと、また正答率も高かったことから、普段の授業でのリスニング練習の成果であると考えられる。対話や英文を聞いて、その内容に当てはまるイラストや語句を選ぶ問題が得意である一方、英語の質問に対する答えを選ぶ問題や、聞き取った内容からポスターや表を完成させるようなメモや思考を必要とする問題には苦手意識が見られた。

また、筆記問題においても英問英答の無回答率と正答率の低さが見られた。普段の授業から Q&A や T or F を取り入れ、話の概要を正しく把握し、質問に対し適切に回答できるように慣れさせていく必要がある。また、「指示された要件を踏まえ、文法や語彙の知識を活用し、英文や空欄を埋める問題」では、唯一得点率が府平均より上回っていたが、正答率や回答率が高くないことから、知識の定着が甘いことが明らかであり、反復練習や既習事項を定期的に振り替えられるような活動を取り入れ、知識技能の定着を図りたい。

### 《第二学年》

#### 【国語科】

授業における学習内容の基本的な知識の理解は定着していると思われ、学習指導要領の内容の知識及び思考力・判断力・表現力等も大阪府の平均と比べても、問題ない数値を示していた。このことから、普段の授業から、読む・聞く・交流する形を重視し、教科書の熟読や班交流などでの自分の考えを伝えることを取り入れたことによる成果だと考えられる。だが、答えを交流するのは得意としていても、自分で工夫を加えるや、聞き手の立場に立って考えること。また、我が国の言語文化に関する事項が大阪府と比べても苦手意識を持っていることがわかる。今後は、書くこと、読むことに集中させ、知識を定着させることと、古典や漢文などの苦手意識を持っている単元について丁寧に基礎知識から授業を進めていきたいと考えている。

#### 【数学科】

全体としては、すべての分野で大阪府の平均を超えることができた。特に関数の部分ではより高い平均点を取っている。しかし、記述式の問題では、府の平均は上回ったものの、ほとんど点数を取れていないことがわかる(2/6点)。日々の授業の様子からも自分の考えを書く場面や証明を自分ですべてかいていく場面では、生徒の苦手意識が高く、そもそも取り組まない生徒も多数いる。いまはその対策の答えをすぐには出せないが、今後、ますます記述式が苦手な生徒が多くなると予測できるため、来年度以降も記述の力をつけさせていけるように模索していきたい。

また、総合得点を府の中央値と比べると、四中生の中央値が極めて高いため、数学が苦手な生徒と得意な生徒の差があるように感じる。標準偏差は小さかったものの分布図はふたごびになっているため、高い点数が取れない生徒をどのように引き上げて、学力を上げていくかを課題としていきたい。この分布は学年末でも同じようなことが起こっていたため、向き合っていきたい。

府の平均の無回答率が10%以下の問題では、四中生の無回答率が府の平均より高いことが多かったことから、初歩的な

問題の理解ができていなかったり、そもそも学習に向かう姿勢を付けることができていなかったりしていると分析し、今後の授業内容や生徒指導で意識していきたい。他も設問の無回答率も低いわけではないため、どのような問題であっても、粘り強く向き合い、チャレンジしていけるような力を数学の授業を通してつけさせていきたい。

成果として、平均点が高かったのは、単元テストによる副産物だと考えられる。今後も継続して、検証していきたい。また、今年度は授業内で教えあう時間を十分にとっていった。しかし、それは「先生が前で教えてほしい」という、生徒のニーズに合っていない、生徒の納得感のあるものではなかったため、その成果なのかは不明である。協同的な学習方法を模索し、協同的な学習で府の平均を超えて、生徒に幸せに生きあう力をつけさせつつ、上で分析した数学の力をつけさせていきたい。

## 【英語科】

すべての領域において大阪府平均をやや下回っており、基礎的な英語の知識があまり理解していないと感じた。特にリスニングでの会話を聞いて適切な応答を選ぶ問題や長文問題を読んでそれぞれの問題に対して適切な解答を書くことができないなど、思考・判断・表現の観点が弱いと感じました。しかし選択式の問題で、全体としては大阪府平均を下回っていましたが、設問ごとに見ていくと大阪府平均よりも高いものがたくさんありました。この結果から、授業内でのパターンプラクティスや日々の積み重ねで培った力が少なからずついていると感じた。次年度は授業の中でしっかりと基礎的な知識を定着させるための工夫をし、身に着けた知識の応用として、要約をしたり、教科書本文より少し長い英文を読むなどして、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握する力を伸ばしていきたい。

## 【理科】

- ・全体としては、粒子と地球の分野で大阪府の得点率を超えることができた。生命の分野に関しては、少しだけ大阪府の得点率を下回った。
- ・各設問に対しての正答率に関しては、定量的な問題(数値を扱った問題)や思考力を問う問題が、大阪府の正答率より低かった。しかし、実験に関する設問に関しては、大阪府の正答率より高い。
- ・今後の対策として、計算を含め、考える問題はもう少し授業で扱う量を増やし、慣れさせる必要がある。実験に関する問題は、引き続き必要な実験を授業中に実施していくことで、高い正答率を維持していけると考えられる。

## 【社会科】

地理・歴史両分野伸びなかったが、特に地理については、基礎的な知識が定着しておらず、「習っていない=できない」となってしまう、学習したことから類推して答えられる問題でも、正しく答えることができていないと考える。一方で、資料を読み取ったり、文章を読み取って答えに結びつける問題には取り組もうという力はついてきている。授業で使っている予習プリントをもう一度おさらいさせ、単元テストや定期テストなどで出題するなどして、定着させていきたい。また、学習したことを使って、「なぜそうなったのか」、「どんな結果につながるのか」など、類推する力も育ていきたい。

## 《第三学年》

### 【国語科】

全体的に大阪府平均と比べて上回っていた。特に知識を問う問題は、大阪府平均と比べ高くなっている。漢字テスト実施や語句の問題などの、日々の取り組みが結果に繋がっているとみられる。ただ、根拠を明確にして話したり、書いたりする項目の正答率が低いため、文章を書くだけでなく、なぜそう思うのかなど、根拠が書かれているか意識させながら取り組ませる必要がある。

### 【数学科】

基本的な知識については定着しており、「学習指導要領の領域別・評価の観点別・問題形式別」の視点からみても大阪府の平均点以上の結果となった。これは普段の授業での指導の成果だと考えられる。今後も班を活用したグループ学習や、様々な形でのグループ学習を利用し生徒同士がつながり、教え合い学び合う環境を作っていきたい。また、自分の考えを記述する設問もできており、無答の割合が府の平均より低く、何とか解こうとする姿勢が見られた。引き続き日々の授業の中で自分の考えを発表する機会を作ったり、ふり返り・改善することを繰り返していきたい。

### 【英語科】

英語の基礎の知識は身につけており、すべての領域において大阪府平均を上回っており、非常によくできていた。授業内でのパターンプラクティスや日々の積み重ねで培った力であると考えられる。全体的に短答式、記述式の問題では、苦手な人が多いように感じた。手紙を読み、手紙の内容から質問に対する答えとなるように、答え中の空欄に手紙中から英語5語を抜き出して書く問題など、無回答が目立っていた。授業の中で、要約をしたり、教科書本文より少し長い英文を読むなどして、日常的な話題についての手紙を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握する力を伸ばしていきたい。

## 【理科】

単純に単語を答えるような問いの正答率が高いが、グラフを読み解くなどの少し複雑な問いや文章で答える問いに対しては正答率が極端に低くなる。また計算問題についても公式に当てはめるだけのものは正答率が高くなるが、1回の計算で答えが求められないような問いについては正答率が低い。

## 【社会科】

- ・知識を問う問題に関しては、一年生で学習した範囲の正解率が比較的高かった。一年次のテスト勉強や、三年次の授業内での復習の効果が出ていたと思われる。一方で、二年生で学習した範囲の正解率は比較的低かった。定期テストだけでなく、単元テストを効果的に活用し、知識を定着させられるようにしていきたい。
- ・文章を記述し、説明する問題の正解率は安定して高かった。今後も、授業内で表現力を高めていきたい。

## (18)令和7年度 学校教育自己診断の分析

### 1. 生徒アンケートの結果から

質問全般においては、ほとんどの項目で、肯定的な回答①、②が否定的な意見を上回りました。これも、ひとえに生徒たちの前向きな姿勢とがんばりの成果だと思います。生徒たちに感謝です。

以下の項目において肯定的回答の割合、「学校生活の中で楽しさややりがいを感じることもある」88%、「人の役に立つことは大切だと思う」85%、「授業は主体的に取り組んでいる」90%、「学校の行事に積極的に取り組んでいる」92%、「みんなで何かをするのは楽しい」90%、「命の大切さや命の尊さ、人権や社会のルールについて学ぶ機会がある」94%、という結果から学校生活を前向き送っている生徒が多いことがうかがえます。一方で、そのように感じていない生徒が少なからずいることや未回答の生徒がいることも同時に重く受け止めています。さらに、「あなたの学級は一人一人を尊重し、安心できる環境である」79%、「あなたの学級は授業中間違ってても笑われない」74%、の項目においては、学級活動や班活動と連動するものであり、学級を居場所として感じ取れるよう100%をめざす必要があると考えます。また、「自分は責任ある社会の一員」76%、「社会や学校は自分たちで変えられる」71%の項目においては、生徒たちの成長が結果としても表れてきていますが、主体性や自主性をさらに伸ばしていくことで「将来の夢や目標をもっている」74%にもつながっていくものと信じ、引き続き取組を進めてまいります。

### 2. 保護者アンケートの結果から

生徒アンケートと同様、質問全般においてほとんどの項目で、肯定的な回答①、②が否定的な意見を上回りました。誠にありがたいと思うと同時に、今後に向けてより大きな責任を感じ、身の引き締まる思いです。

以下の項目において肯定的回答の割合、「学校は子どもに人権や命を大切にしている」85%、「子どもは安心して学校生活を送っている」78%、という結果から、厳しい内容ではありますが一定のご理解をいただいていると捉えています。また、「学校は落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている」55%、「学校には担任の先生以外にも、子どもが気軽に相談できる先生がいる」58%、の項目においては、学校生活の安心に直結するものであることから特に重く受け

止めます。グループ活動やペア学習が目的でなく手段であることを全教職員が改めて再度認識し、学級活動や班活動を一から見直し、一人ひとりの生徒が学級での居場所を感じれとれるよう取組を進めてまいります。

さらに、生徒たちの回答と同様の結果から「家庭学習」についての実態には大きな課題があると捉えています。例えば、「子どもは家で学校の授業の復習をしている」36%、「子どもは家で学習の時間を決めている」40%、「子どもは家で、自分で計画を立てて勉強をしている」42%、「子どもは家庭学習はしっかりやっている」49%、に留まっています。これは、学習が生徒たち自らの意思ではなく、義務感や「強いられている」とも捉えることができます。内発的な動機「知りたい」「やってみたい」を大切にしたい声掛けをご家庭と連携して取り組んでまいります。最後になりましたが、お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

<生徒アンケート全結果>(肯定評価①+②)<保護者アンケート全結果>(肯定的評価:①+②)

【学校教育自己診断 保護者回答】					
※①思う ②まあ思う ③あまり思わない ④思わない					
		①	②	③	④
1	学校は子どもに、これからの社会に必要な力を身につけさせている。	19%	53%	26%	3%
2	先生はわかりやすい授業づくりに努力している。	17%	51%	27%	5%
3	子どもは、安心して学校生活を送っている。	36%	42%	19%	3%
4	子どもは、タブレット端末を有効に活用している。	31%	40%	25%	4%
5	学校は、ブログ等の発信や保護者・地域の関わりを通して、開かれた学校づくりをしている。	22%	58%	17%	3%
6	先生は、授業の課題について、友だち同士で意見交流しながら、考えを広げる場面を作っている。	20%	52%	19%	9%
7	先生は、子どもの意見や考えを大切にしている。	22%	53%	21%	3%
8	先生は、いじめや校内暴力など、困っていることに対処してくれる。	22%	50%	23%	5%
9	先生は、子どもの悩みごとや困っていることに親身に相談に乗ってくれる。	25%	48%	22%	5%
10	学校には、担任の先生以外にも、子どもが気軽に相談ができる先生がいる。	25%	33%	32%	10%
11	先生は、子どもの努力を認め、公平に評価している。	23%	53%	21%	4%
12	学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。	12%	43%	33%	12%
13	先生は、わかりやすい授業づくりに努力している。	18%	52%	25%	6%
14	ICT機器(コンピュータ、プロジェクター、大型テレビ等)を使ったわかりやすい授業を行っている。	19%	55%	23%	3%
15	タブレットを活用した授業はわかりやすい。	16%	58%	21%	5%
16	先生は、悪いことは悪いと毅然と指導してくれる。	25%	46%	24%	6%
17	少人数授業(習熟度別を含む)は効果的だと思う。	26%	55%	14%	5%
19	学校は、子どもに人権や命を大切にすることをしている。	30%	55%	13%	2%
20	学校は、子どもに火災・台風・地震など非常事態が起こったときの行動を指導している。	29%	56%	14%	2%
21	学校は、他人の立場を理解し、思いやりのある子どもを育てようとしている。	22%	53%	20%	4%
22	学校は、子どもに豊かな心を育てる取り組みを行っている。	21%	52%	21%	5%
23	学校は、子どもの進路や将来の職業等について適切に指導している。	18%	47%	29%	5%
24	子どもは家で、よく読書をしている。	8%	11%	28%	53%
25	子どもは家で、学校の授業を復習している。	10%	26%	33%	31%
26	子どもは家で、「学習」の時間を決めている。	14%	26%	30%	30%
27	子どもは家庭学習(予習・復習・宿題・自学ノート等)はしっかりやっている。	17%	32%	30%	21%
28	子どもは家で、自分で計画を立てて勉強している。	14%	28%	29%	29%
29	タブレットを活用した家庭学習が出されている。	10%	36%	41%	13%
30	家で地域や世界、社会で起こっている問題や出来事、ニュースについて話題にしている。	21%	45%	29%	6%
31	家庭で、お互いにあいさつをするように心がけている。	66%	30%	3%	1%
32	家庭で、子どもはそうじや片付けなどの家事を、役割として分担している。	20%	29%	33%	18%
34	子どもは、学校からの通知・連絡文(プリント類)は必ず見せている。	25%	28%	34%	13%
35	学校は、学校通信やホームページ・ブログ等を通して、学校の取組や子どもの様子を積極的に発信している。	25%	58%	15%	2%
36	学校諸費(教材費・学年費・宿泊行事等)の内容や金額は適切である。	36%	57%	6%	1%
37	子どもと携帯電話やSNS(LINE、Twitter等)の正しい使い方について話している。	34%	49%	14%	2%
38	子どもが使う携帯電話、スマホなどにはフィルタリング設定をしている。	49%	31%	14%	6%
39	子どもは普段、一日にどれくらいの時間、携帯電話、スマホやタブレット、パソコンを使っていますか。	1%	14%	49%	37%

※39 ①持たせていない ②1時間未満 ③1時間以上 ④ 3時間以上

【学校教育自己診断 生徒回答】					
※①思う ②まあ思う ③あまり思わない ④思わない					
		①	②	③	④
1	学校生活の中で、楽しさややりがいを感じることもある。	55%	33%	8%	3%
2	困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できる環境(心の相談室、地域の方等)がある。	46%	37%	11%	5%
3	自分には、良いところがあると思う。	44%	39%	14%	4%
4	学校生活の中で、食の重要性を学んでいる。	48%	33%	14%	5%
5	人の役に立つことは、大切だと思う。	74%	21%	3%	2%
6	学校生活をよりよくするために、話し合い、互いの良さを生かして、解決方法を決めている。	49%	37%	10%	4%
7	将来の夢や目標を持っている。	49%	25%	17%	10%
8	自分は責任ある社会の一員だと思う。	39%	37%	18%	6%
9	社会や学校は、自分たちで変えられる。	36%	35%	21%	8%
10	あなたの学級は、一人一人を尊重し、安心できる環境である。	40%	39%	14%	7%
11	授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。	50%	38%	10%	3%
12	授業では、自分にあった方法や学び方を自分で選ぶ場面がある。	41%	40%	14%	5%
13	授業の中で、興味があることやわからないことがあった時、自分の判断でタブレットを有効活用している。	52%	35%	8%	4%
14	課題や問題を解決するために、様々な方法を見つけ、実行することができる。	46%	39%	11%	4%
15	家庭での学習(宿題)は、学校の授業とつながっていると思う。	45%	38%	13%	4%
16	学校に行くのが楽しい。	49%	32%	13%	6%
17	授業は主体的に取り組んでいる。	53%	37%	8%	2%
18	授業がよくわかる。	37%	39%	20%	5%
19	授業では、ペアやグループで話し合う活動をよく行っている。	60%	32%	6%	2%
20	授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されている。	59%	33%	6%	2%
21	授業のさいごに、学習内容をふり返る活動をよく行っている。	50%	37%	10%	3%
22	タブレットやプロジェクター等を使った授業は、わかりやすい。	47%	39%	10%	4%
23	授業の中でタブレットを自分の判断で自由に使うことができる。	37%	32%	20%	11%
24	あなたの学級は、授業中間違って笑われない。	35%	39%	18%	8%
25	自分で課題を見つけ、計画を立てて家庭学習【学校の授業の予習・復習(塾の内容も含む)】をしている。	38%	33%	20%	9%
26	学習評価(個人懇談や通知表など)は、わかりやすい。	49%	37%	12%	2%
27	朝食を食べて登校する。	77%	12%	6%	5%
28	学校の行事(生徒会行事や宿泊行事)に積極的に取り組んでいる。	64%	28%	5%	3%
29	みんなで何かをするのは楽しい。	66%	23%	7%	3%
30	学校のきまりを守っている。	54%	38%	6%	2%
31	清掃をまじめに取り組んでいる。	52%	37%	8%	3%
32	命の大切さや平和の尊さ、人権や社会のルールについて学ぶ機会がある。	64%	30%	4%	2%
33	非常災害時の対応(避難訓練等)について学ぶ機会がある。	56%	34%	7%	2%
34	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、学習をしていますか。(学習塾などを含む)	34%	28%	18%	19%
35	家や図書室で、普段の日に読書する。	19%	14%	22%	44%
36	家族と話をすることが多い。	62%	27%	8%	3%

※34 ①2時間以上 ②1時間以上2時間未満 ③30分以上1時間未満 ④30分未満

(19)令和7年度 学校評価報告書

1. 学校教育目標

校 訓:努力・素直・創造「夢を語る生徒を育成する！」  
 教 育 目 標:学び合い、つながりあい、幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成  
 ○互いに学びあい、共に成長していく力(学力&非認知能力)  
 ○互いに認めあい、共に生きていく力(人間関係力)  
 ○互いに思いを伝えあい、共に未来を創造していく力(探究力)  
 めざす学校像:笑顔あふれる学校、学ぶ喜びのある学校、信頼される学校  
 「学力&非認知能力」の育成 ⇒  
 ・課題解決に主体的に取り組む学校(言語能力などを自覚させ、意識的に育成、ガマンも能力)  
 「人間関係力」の育成 ⇒  
 ・人(人権)を大切にできる学校(互いに注意ができ、失敗を許せる風土の向上、オリアイをつける)  
 「探究力」の育成 ⇒  
 ・誇れる地域のオンリーワンの学校(地域課題などホンモノの学び、自ら問いを立てる学び)  
 めざす生徒像:自分で考え、判断し、行動できる生徒

2. 学校経営方針

適切な人間関係づくりを基盤に、自分の生き方を確立するうえで必要な、確かな学力・豊かな感性・健やかな身体を養い、これからの国際社会を主体的に生きる人間の育成を図るため、学校・家庭・地域の教育力の充実に努め、地域の中の学校として、保護者・市民の信託に応える教育を推進する。

3. 本年度の取組内容及び自己評価

基本 方策	項 目	・本年度の重点目標	○具体的な取組内容 (◆活動指標・成果指標を含める)	□取組内容の自己評価
確かな学力と自立の力を育む教育の充実	学習指導	・インクルーシブ教育の推進  ・学力低位層の生徒等への手立て  ・授業スキルの向上  ・主体的な態度の醸成	○支援教育 Co と通級担当を中心に、配慮を要する生徒への理解や手立てを学校全体のものにする。 ◆学校教育自己診断の教員質問で「ともに学び…」の肯定的回答を100%にする。 ○学級担任が中心となり、学年別、学期ごとに系統立ててキャリア教育を実施する。 ◆学校教育自己診断の三者への質問で「将来の夢や目標…」の肯定的回答を80%を上回る。 ○学力向上部(学力向上員会)が調整を図り、全教員が授業公開(方法の工夫)を実施し、発表し、共有する。 ◆学校教育自己診断の教員質問で「教員間で授業方法等…」の肯定的回答が90%を上回る。 ○総合の時間を活用して人間関係づくりを行う。 ◆学校教育自己診断の生徒質問で「あなたの学級は授業中間違って…」の肯定的回答が90%を上回る。	○学校教育自己診断の教員質問「ともに学び、ともに育つ」の特別支援の視点を意識して学級づくりをしている。」の肯定的回答 85%(84%↑R6)。 ○学校教育自己診断の生徒質問「将来の夢や目標をもっている」の肯定的回答 74%(73%↑R6) ○学校教育自己診断の教員質問「教員の間で授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。」の肯定的回答は76%(68%↑R6)。 ○学校教育自己診断の生徒質問「あなたの学級は授業中間違ってても笑われない。」の肯定的回答は74%(69%↑R6)
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	人権教育	・人権教育の充実  ・非認知能力の育成  ・人間関係力の向上  ・総合的な学習の時間の充実  ・主体的な態度の醸成	○人権教育部を中心に人権学習を系統的に実施し「人を大切にする学校」を学校全体のものにする。 ◆学校教育自己診断の教員質問で「人権尊重…」の肯定的回答を100%にする。 ○分掌、学年、教科等、全教員が非認知能力を高めることを自分の言葉で発信し、非認知能力向上実践に取り組む。 ◆学校教育自己診断の生徒質問で「将来の夢や目標…」の肯定的回答が80%を上回る。 ○人権キャリア主担や学年主任を中心に企画立案したものを各担任(教科担任も)等が授業やHRなどで実践する。 ◆学校教育自己診断の生徒質問で「自分には良いところがある」の肯定的回答が90%を上回る。 ○キャリア教育部や学年で実践し、年間計画をブラッシュアップする。教科担任が授業で「探究活動」を実践する。 ◆教員質問で「総合的な…、系統的なキャリア教育…」の肯定的回答が70%を上回る。 ○生徒総会の実施、生徒会行事の実践など、生徒会担当教員が生徒会本部などを支援し、実践する。 ◆教員質問で「生徒会行事を…、生徒会活動…」の肯定的回答が80%を上回る。	○学校教育自己診断の生徒質問「命の大切さや平和の尊さ、人権や社会のルールについて学ぶ機会が多い。」の肯定的回答は94%(91%↑R6)。 ○学校教育自己診断の生徒質問「将来の目標や夢を持っている(考えている)」の肯定的回答は74%(73%↑R6)。 ○学校教育自己診断の生徒質問「自分には良いところがある。」の肯定的回答は83%(83%→R6)。 ○学校教育自己診断の教員質問「生徒が豊かな勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。」の肯定的回答は78%(68%↑R6)。 ○学校教育自己診断の教員質問「生徒会活動において、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。」の肯定的回答は81%(75%↑R6)。

<p>指導力の向上</p> <p>教職員の資質と</p>	<p>人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自走する教職員集団づくり</li> <li>・校内研修の充実</li> <li>・OJTチームの体制構築と機能充実</li> </ul>	<p>○業務改善を校務分掌に位置付け、昨年度の経験をいかして取組を進める。</p> <p>◆教員質問で「業務の在り方について話し合う…」の肯定的回答が70%を上回る。</p> <p>○月一回午後カットの活用も踏まえて悉皆研修の参加徹底を図る。自主研修は初任期教員以外の参加者も増えるように内容精選を図る。</p> <p>◆教員質問で「分掌間の連携が…、気軽に話し合える…」の肯定的回答が80%を上回る。</p> <p>○初任期 Co を中心とした育成タイムを導入する。昨年度途中より導入したメンター制も徐々に実施していく。</p> <p>◆メンタル疾患に伴う病気休暇の教職員を出さない。</p>	<p>○学校教育自己診断の教員質問「学校は、教職員間で業務の在り方、見通しについて話し合う機会を設け、その話し合いも参考にしながら、業務の在り方の適正化を図っている。」の肯定的回答は58%(45%↑R6)。</p> <p>○学校教育自己診断の教員質問「各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。」の肯定的回答は76%(58%↑R6)。</p> <p>○メンタル疾患に伴う病休者は0名であった。</p>
<p>学びのセーフティネットの構築</p>	<p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長を促す生徒指導の実践</li> <li>・生徒指導体制の確立</li> <li>・安全教育の推進</li> <li>・進路指導の充実</li> </ul>	<p>○生徒指導部が生徒総会で上がった要望を積極的にとりあげ、生徒(定例委員会)とともに実現に向けて取り組む。</p> <p>◆生徒質問で「落ち着いた雰囲気です授業を…」の肯定的回答が90%を上回る。</p> <p>○生指主事が調整役となり、学年主任や学年生指の指揮のもとで、学年組織による様々な対応を実践する。</p> <p>◆教員質問で「問題行動が起こったとき…、早期指導に…」の肯定的回答が90%を上回る。</p> <p>○より実践的な避難訓練とともに、保健委員や美化委員とともに校内清掃や危険箇所点検を実施する。</p> <p>◆ケガによる生徒の救急搬送事案0、教職員の公務災害0にする。</p> <p>○学力向上や人権キャリア等で育んだ力を基盤に、進路指導主事を中心とした進路学習を学校全体のものにする。</p> <p>◆学校教育自己診断の保護者質問で「将来の進路や…」の肯定的回答が80%を上回る。</p>	<p>○学校教育自己診断の教員質問「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる。」の肯定的回答は79%(74%↑R6)。</p> <p>○学校教育自己診断の教員質問「生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。」の肯定的回答は83%(76%↑R6)。</p> <p>○生徒の救急搬送事案は2件、教職員の公務災害事案は0件であった。</p> <p>○学校教育自己診断の保護者質問「学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。」の肯定的回答は64%(69%↓R6)。</p>

#### 4. 学校教育自己診断の実施状況

学校教育自己診断の結果と分析
<p>①実施時期[令和7年12月]</p> <p>②対象[生徒・保護者・教職員]</p> <p>③結果から特記すべき事項と分析</p> <p>学校だより掲載文書「過日、保護者の皆様には、学校教育アンケートにご協力をいただきありがとうございました。アンケートは、生徒は36項目、保護者は39項目にも及びました。その中で、生徒からは『将来の夢や目標を持っている生徒の割合(肯定的回答73%、昨年度58%)は増え、授業や学校行事に主体的に取り組み、みんなでする楽しさややりがいを感じる一方、自ら進んでの学習や責任ある一員として学校を変えていける主体的な存在という実感には至っていない』、保護者からは『子どもは安心して学校生活を送っている一方で、落ち着いた雰囲気での授業という実感は弱く、家庭等での自学自習(授業の予習復習、宿題を含む)にはつながっていない』ということが見えます。今後、より詳細な分析を行い、今年度の学校評価に活用するとともに、次年度の学校運営にいかしてまいります。』</p>

#### 5. 学校評議員制度及び学校関係者評価委員会、学校運営協議会等の運用状況

学校評議員及び保護者、学校運営協議会委員からの意見内容等
<p>&lt;日時 令和8年3月7日&gt; <input checked="" type="checkbox"/> 協議会形式 <input type="checkbox"/> 個別</p> <p>○氏名</p> <p>大川 尚子 氏(京都女子大学教授)</p> <p>小林 一郎 氏(元PTA会長・元地域教育協議会会長)</p> <p>安東 政子 氏(地域住民)</p> <p>中川 るみ 氏(大阪地方検察庁再犯防止対策室・社会福祉士・保護司)</p> <p>鳴田 慎司(校長)・濱中亜弥子(教頭)</p> <p>○意見(協議)を求めた事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度の取組(修学旅行、生徒会行事、部活動等)について</li> <li>・学校教育自己診断の結果について</li> <li>・令和8年度学校経営方針(案)について</li> </ul> <p>○意見の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員より今年度の取組について賛意および評価を受けた。</li> <li>・令和8年度の経営方針案に対しても、それぞれの立場からいただいた多角的な意見が取組の裏付けになること、また、後押しとなる賛同を得ることができた。</li> <li>・引き続き、家庭、地域との連携を強化するよう助言をいただいた。</li> </ul>

6. 次年度に向けて

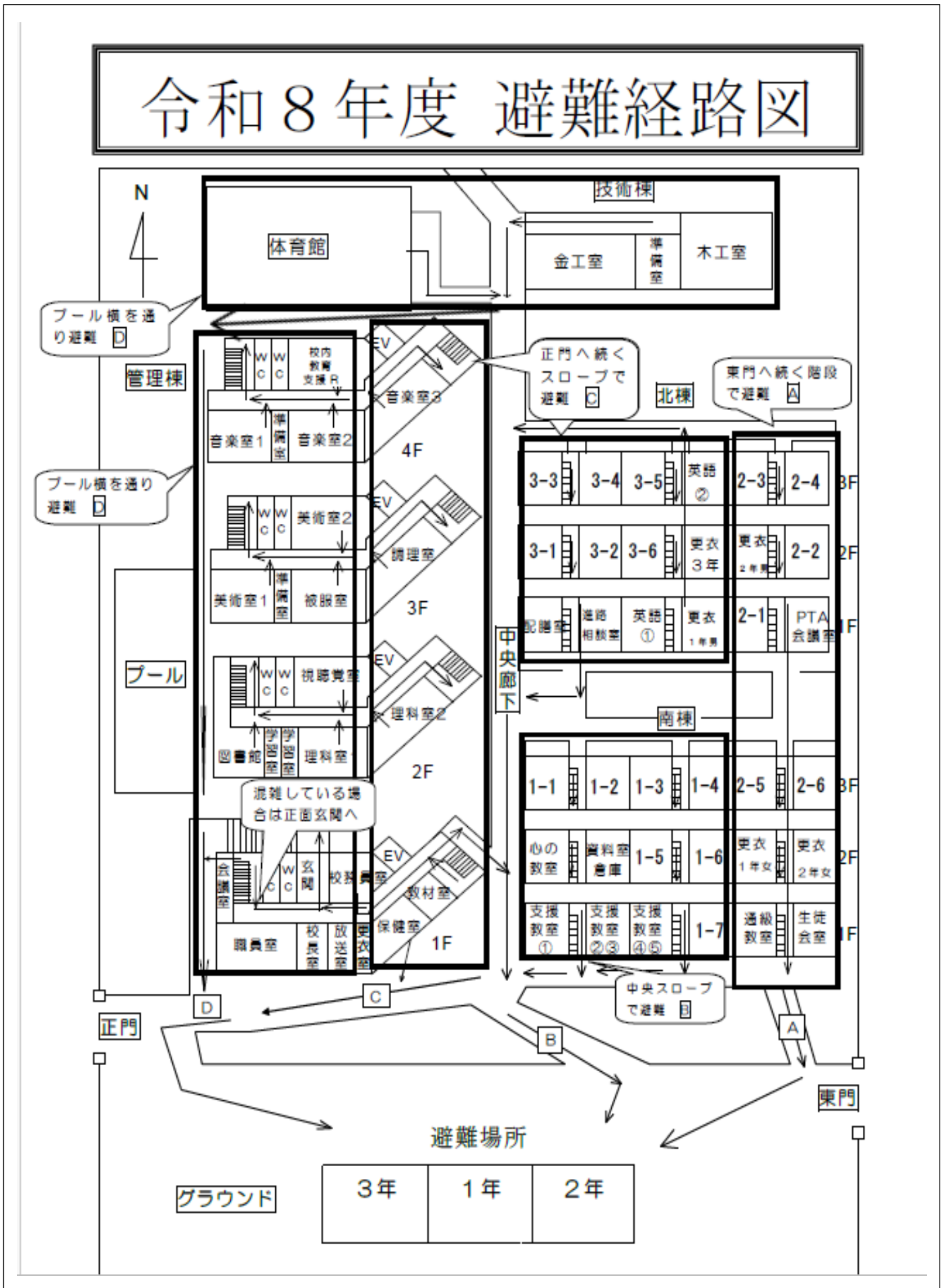
項目	・内容	○改善方策
全体	<p>○令和7年度の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に日々の授業や学校行事に向かう生徒の取り組む姿勢は良い</li> <li>・個別の生徒指導対応に翻弄されている</li> <li>・保護者対応(過保護・過干渉)に苦慮している</li> <li>・関係機関(警察、子家セン、まるっと等)との連携が多い</li> <li>・教職員の長時間勤務者(疲労感・負担感)が多い</li> </ul>	<p>○学校教育目標・めざす生徒像・つけたい力を全教職員で的一致をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の取組の柱を「学級活動・班活動」として再認識</li> <li>・全ての取組の軸を人間関係づくり</li> <li>・LINK6の「コミュニケーション力」</li> <li>○保護者が熱心で学校への期待も高く影響が大きいことから、保護者との対話スキルの向上とともに、これからの社会に必要な力や学校が取り組もうとしていることをもっと保護者に発信していくこと</li> <li>※全ての生徒が主体的になる授業(○やってみたい、×ねばならない)</li> <li>⇒支援在籍生徒(特別支援含む)、不登校生徒、学力低位層の生徒も!</li> <li>・毅然とした生徒指導&amp;保護者対応(ほめる&amp;しかる、保護者にも求める)</li> <li>・服務管理と労務管理の徹底(より厳しく、より豊かな人生をめざして)</li> </ul>
学習面	<p>○誰一人おいていかない学びの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の改革</li> <li>・総合的な学習の時間の充実</li> </ul> <p>○探究的な学びの創造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自学自習力の育成</li> </ul>	<p>○日々の学習と社会のつながりが依然として弱いため、テストのための学習ではなく授業が地域社会(社会貢献)とリンクしていることを生徒たちが実感できる学び(授業づくり)にすること</p> <p>○学力低位層、要支援、不登校、外国籍生徒への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同学習、遠隔地学習、反転学習、教科間コラボ</li> <li>・市役所・市教委や企業の専門家とのコラボなど</li> </ul>
生徒指導	<p>○安心して過ごすことのできる居場所の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡事徹底「あいさつ・聞く姿勢・時間厳守・環境整備」</li> <li>・学級活動、学年活動、異学年活動の充実</li> <li>・生徒会活動の活性化</li> </ul>	<p>○PTAの規模縮小や地域人材の高齢化などが課題であることから、小中学校の児童生徒が地域行事に参画し、子ども主体の行事として、PBL型で児童生徒を地域課題に巻き込んでいくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SSTの実施や小中交流の実施など</li> <li>・生徒主体の運営や生徒発案の取組の実施など</li> </ul>
学校体制	<p>○自走する組織の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な生徒指導、学習指導のための分掌組織の見直し</li> <li>・校内研修体制の見直し</li> </ul>	<p>○業務改善や働き方改革に対する意識が依然として低く、未だ飽和状態にある内容を見直し、スリム化を図り、業務の適正化を進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌組織の再編(追加・統合等)</li> <li>・校内研修組織の再編</li> </ul>

■添付資料■

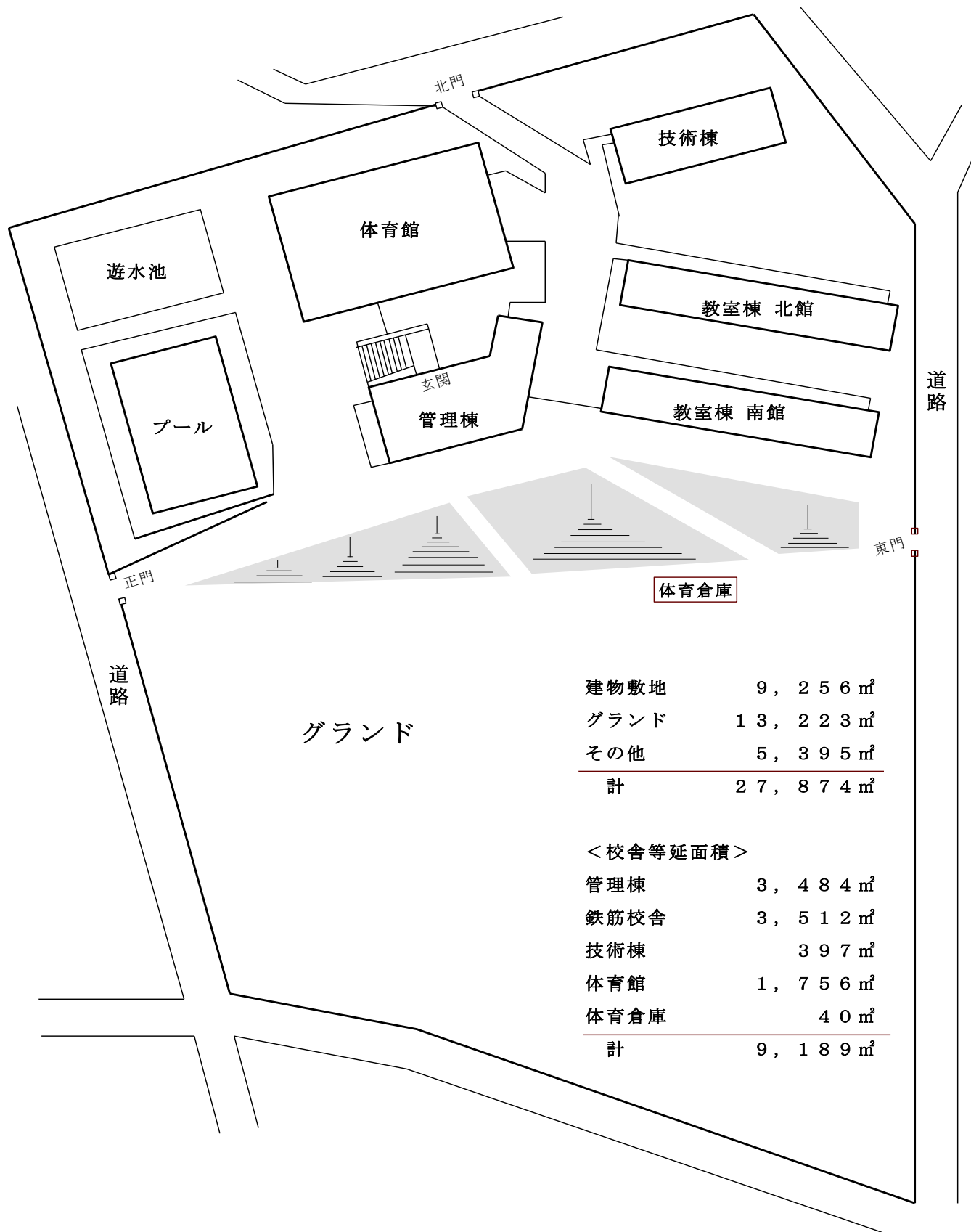
- ①学校評価結果の公表資料(保護者や地域住民等に公表した学校だより等)
- ②職員会議、校内研修会等、職員を対象に作成した資料
- ③その他、必要と思われる資料

### 3. 施設配置・防災計画等

#### (1) 教室配置図及び避難経路



## (2)校地・校舎配置図

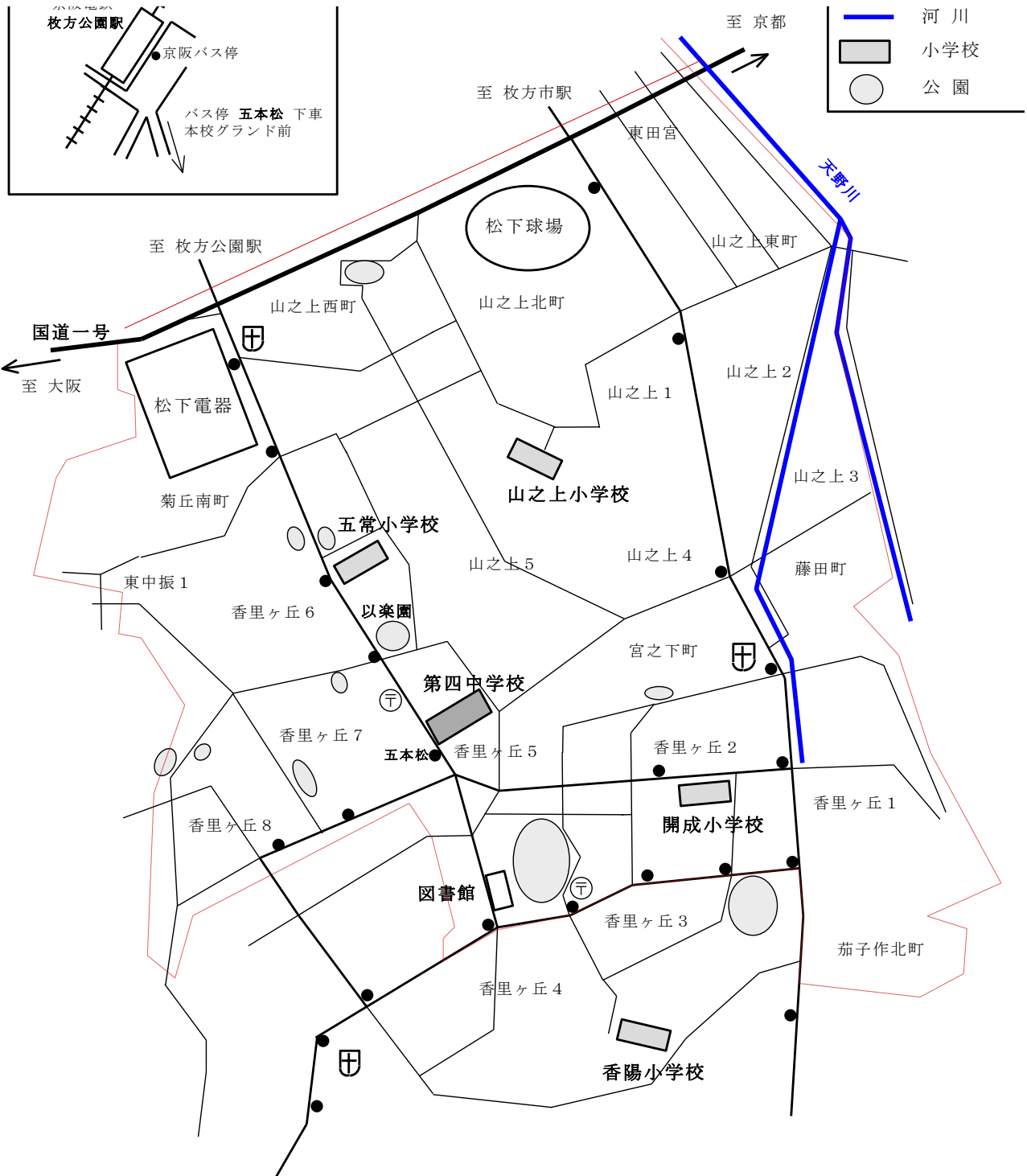


建物敷地	9, 256㎡
グラウンド	13, 223㎡
その他	5, 395㎡
計	27, 874㎡

### <校舎等延面積>

管理棟	3, 484㎡
鉄筋校舎	3, 512㎡
技術棟	397㎡
体育館	1, 756㎡
体育倉庫	40㎡
計	9, 189㎡

### (3)校区地図



#### (4)いじめ未然防止計画

##### ○構成員

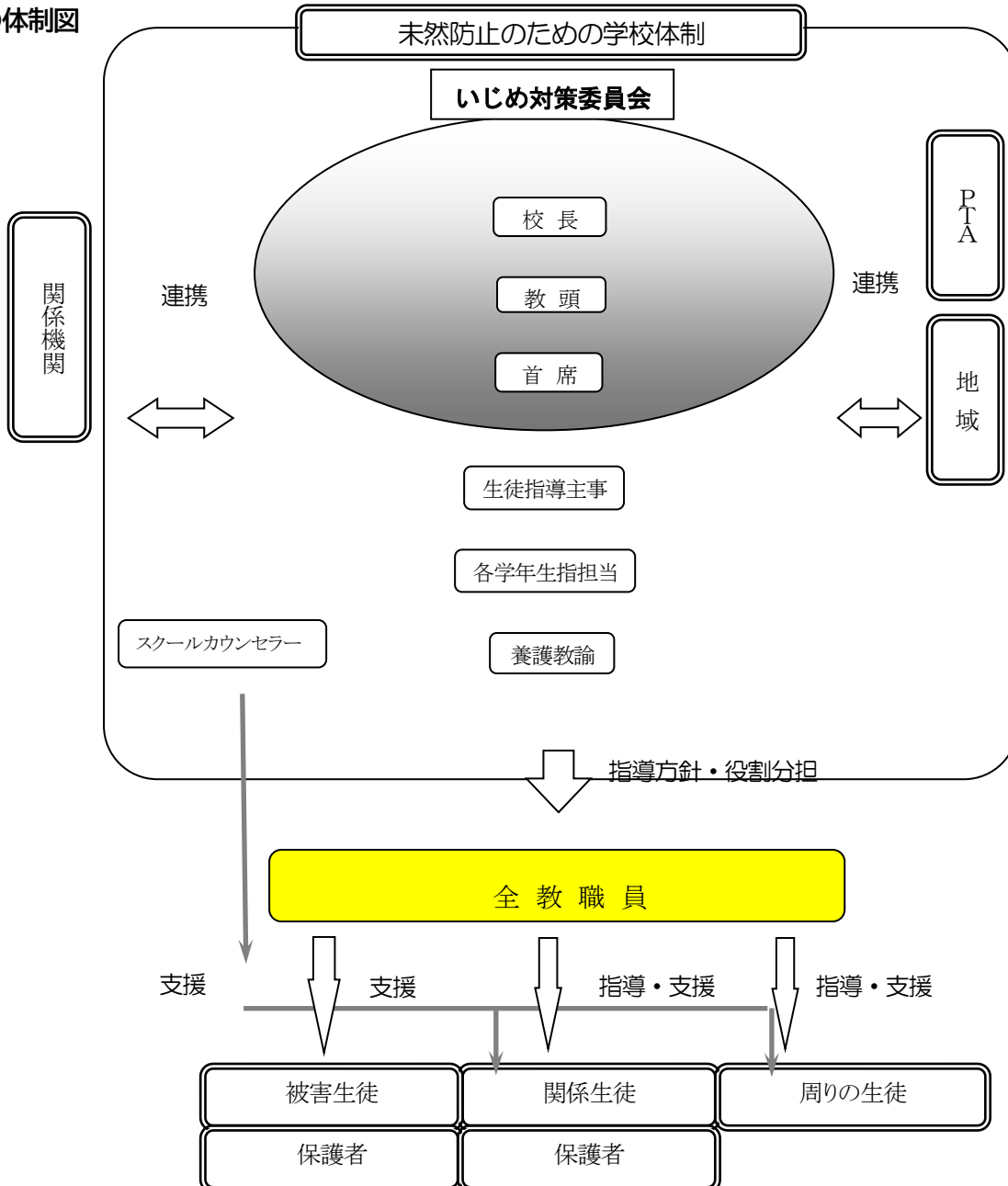
校長、教頭、首席、指導教諭、支援コーディネーター、生徒指導主事、各学年生徒指導担当者、養護教諭

##### ○主な活動

- ① いじめの早期発見に関すること  
(いじめアンケート、取組評価アンケート、教育相談等)
- ② いじめ防止に関すること
- ③ いじめ事案に対する対応に関すること
- ④ いじめが心身に及ぼす影響その他のいじめ問題に関する生徒の理解を深めること

○開催 週1回を定例会とし、いじめ事案発生時は緊急開催とする。

##### ○体制図



## ○緊急対応

いじめ事案発生時には、必要に応じて「いじめ対策委員会」の構成員に次のメンバーを加えて、その対応にあたる。  
 学年主任、関係教員、支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、その他関係諸機関等の専門家

## ○年間計画

	1 年	2 年	3 年	教職員・PTA等
4			保護者集会	状況報告
5	SNS 講演会 生活アンケート	保護者集会 生活アンケート	生活アンケート	状況報告 アンケート分析
6	教育相談	教育相談 非行防止教室	教育相談	
7	交通安全教室 期末懇談	期末懇談	薬物乱用防止教室 期末懇談	状況報告
8	生活アンケート	生活アンケート	生活アンケート	
9				状況報告 アンケート分析
10	生活アンケート 教育相談	生活アンケート 教育相談	生活アンケート 教育相談	状況報告
11	人権講演会	人権講演会	人権講演会	状況報告
12	期末懇談	期末懇談	期末懇談	状況報告
1	生活アンケート	生活アンケート	生活アンケート	状況報告
2	教育相談	教育相談	教育相談	アンケート分析 状況報告
3				年間総括 「いじめ防止基本方針」見直し

## (5)防災計画

### <目 的>

この計画は火災、風水害、その他突発的な災害発生時において、生徒の安全確保を第一の目的として、更に公共物や諸帳簿等をこれらの災害から保全することを目的とする。

### <方 針>

防災計画にしたがって、日常における災害予防措置及び災害時の安全保護に重点を置く。

### <火災予防対策>

#### A 環境の整備及び改善

##### ①危険物の適正管理

- ・電源回路の保全 ・ガス元栓の確認 ・薬品の適正管理
- ・喫煙場所の安全確認

##### ②消火器の適正配置と定期点検及び消火栓の定期点検

- ・消防設備の配置図を職員室に明示し、器具は緊急時に使用できる状況にする。

##### ③非常持出し諸帳簿の整理と適正保管

- ・諸帳簿は校長室の非常持出しロッカーに保管する。

##### ④廊下及びその他の通路の整備

- ・定期的な非常出口の確保、物品等の整理を行う。

#### B 防火管理者及び宿日直代行員による校内巡視

#### C 定期的な総合防災訓練の実施

<防災管理組織>

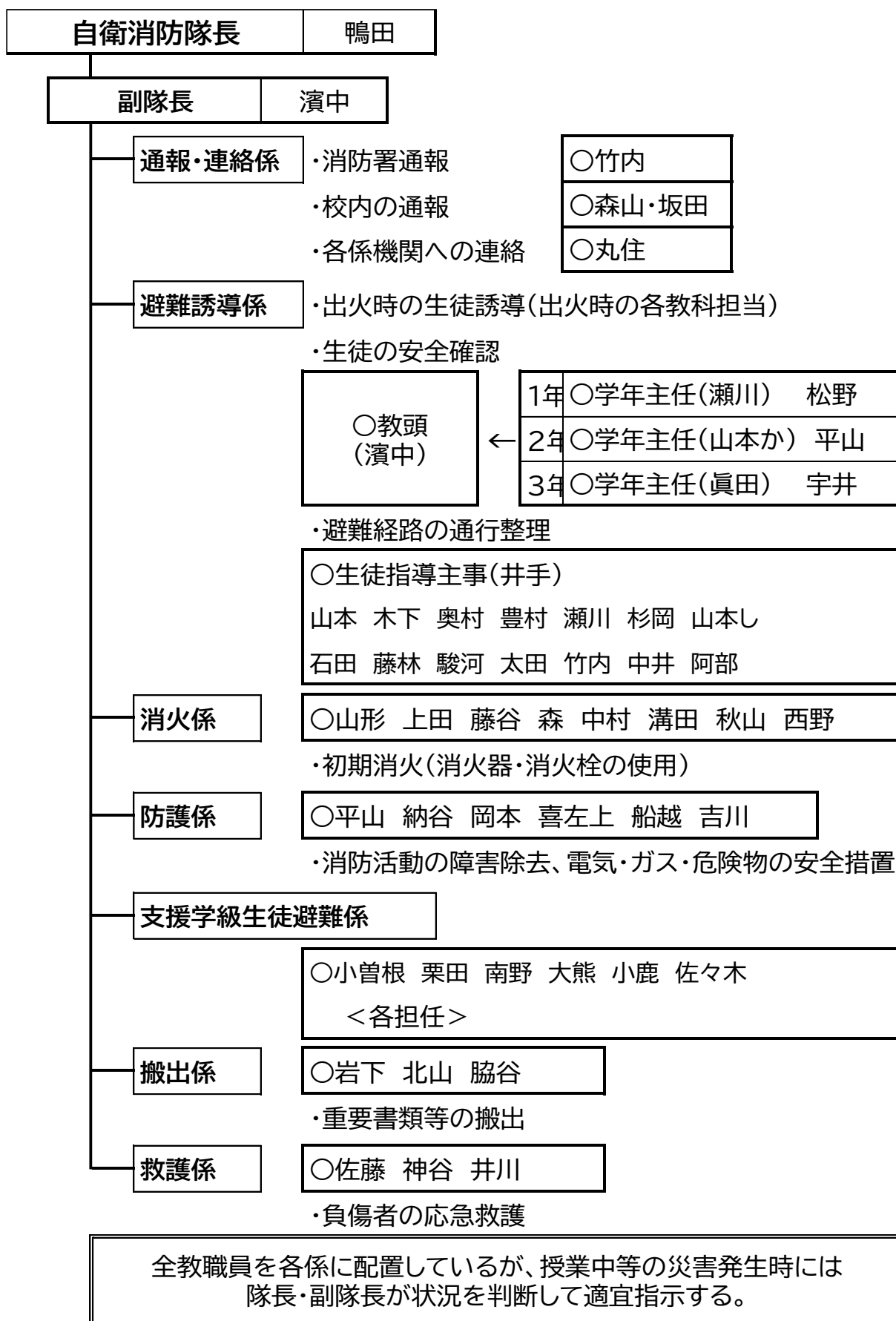
管理権限者 鴨田

防火管理者 濱中

- 消火用設備等の点検 竹内・丸住・坂本
- 危険物、可燃物、薬品等の点検 濱中・井川・藤谷・中井・上田
- 火気使用設備の点検 井手・石田・瀬川・山本
- 各室火元責任者

施設名	責任者	施設名	責任者
校長室	鴨田	視聴覚室	石田
職員室	濱中	教材室	坂本
校務員室・宿直室・作業室	森山・坂田	保健室	佐藤・神谷
音楽室・同準備室	宇井	校内教育支援ルーム	井手
美術室・同準備室	船越	図書室・閲覧室	阿部
理科室・同準備室	中井・井川	体育館・同倉庫	太田
金工室・木工室・同準備室	山本し	プール機械室	豊村・吉川
被服室・調理室・同準備室	竹内	会議室	松野
男子更衣室	井手	支援教室1	小曾根
女子更衣室	奥村	支援教室2・3	佐々木
印刷室	丸住	支援教室3・4	栗田
心の教室	井手	支援教室5・6	大熊
クラブ室	各クラブ顧問	生徒会室	山形
放送室	脇谷	普通教室	各担任

<自衛消防組織>



<広域避難場所>

広域避難場所は、枚方市立五常小学校とする。

各係は○印の指示に従って行動する。

## (6)水泳指導時の緊急対応等

### <プールの管理及び使用に関する規則>

第1条(目的) この規則は、枚方市立第四中学校プール(以下「プール」という。)の管理及び使用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

第2条(使用期間等)

- 1 プールの使用期間は、水泳部・体育科で判断するが、おおむね毎年5月中旬に開設し、9月中に閉鎖するものとする。ただし、枚方市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要と認めるときは、これを変更することができる。
- 2 プールの使用時間は、原則として午前8時30分から午後5時までとする。

第3条(維持管理) 校長は、プールを円滑に運営させるため、濾過器の定期的な点検をし、水質管理に努めるなど、適正な維持管理に努めなければならない。

第4条(換水) プールの換水は、事前に委員会に指示された日とする。臨時で給水をしなければならないときは、委員会の承認を得るものとする。排水(水の無い期間)については、枚方消防署に届けるものとする。

第5条(常備品) プールには、管理日誌を置き、必要事項を毎日記入しなければならない。

第6条(使用者) プールを使用できる者は、次のものとする。

- (1) 枚方市立第四中学校生徒と中体連等の大会、記録会に参加する生徒並びに指導監督者
- (2) 委員会主催による研修会等の参加者及び指導者
- (3) 枚方市教育委員会所管に係る財産および公の施設使用規則に基づく、市内の社会教育関係団体で、校長の承諾を得て、委員会が許可したもの

第7条(使用責任者) プールの使用責任者は、前条各号に規定する者のうち、指導又は監督的立場にあるものとする。

第8条(プールの使用)

- 1 プールの使用に際しては、校長の指示に従わなければならない。
- 2 使用責任者は、プールの使用が終わったときは、管理日誌に必要事項を記載し、その使用状況を校長に報告しなければならない。

プール使用に関する規則について(使用管理マニュアル)

#### 1. 生徒の安全管理について

生徒の健康状態を常に把握すること…水泳は、水という環境の中で全身を使い、水温、気温の影響を受けながら展開される運動であるので、生徒の健康状態によっては事故につながりやすいことに留意すること。

指導監督者… ①生徒の健康状態等を水泳の授業を実施するにあたり、養護教諭、担任から情報の収集に努める。  
②使用中に体調の不良を訴えた生徒がいた場合は、養護教諭に伝えるとともに担任にも伝え、様子を見る。

養護教諭、担任 ・①プールの使用にあたり配慮を要する生徒の状況等を指導監督者に連絡しておく。  
②指導監督者から体調不良を訴えた生徒の連絡を受けた場合は、経過観察をするとともに、保護者に連絡を取り適切に対処する。

#### 2. 施設・設備について

排水溝…① プールの使用前には、排水溝の蓋がねじ等でしっかり固定されていることを目視だけでなく触診して確認する。

- ② 排水溝の吸い込み防止金具がしっかり設置されていることを確認する。
- ③ ①と②に異常がある場合は、プールの使用を中止し補修に努める。

プールサイド…① 使用開始前には、周辺の整理整頓をする。

- ② 補修の必要な箇所を発見した場合は、早急の修理に努める。生徒や他の教員に注意喚起する。

浄化装置…① プールの使用前には、適切に動いていることを確認する。

- ② プールに関わるすべての教員に適切な操作が出来るよう努める。

水質管理…① 常に水質(水温・塩素濃度・濁度・浮遊物)に注意をし、管理日誌に記入をする。

### 3. 水泳指導について

- ① 水温と気温・・・プールの使用にあたり、水温気温日照に注意を払い、生徒の健康状態を把握しながら行うこと。
- ② 準備体操・・・プールを使用する生徒には、十分な準備体操、シャワー等での体の清潔を保たせる。
- ③ 人員点呼・・・人員点呼は生徒の安全を確認する上での基本と考え、プールの使用前と終了後は必ず行うこと。
- ④ 入水時間と休憩・・・生徒の健康状態と水温・気温とを考慮し、入水時間と休憩時間を適切に取ること。
- ⑤ 監視・・・プールの使用中は、常に監視をし、異常があれば直ちに全員を水から上げ、適切に対処するとともに応援を求める

### 4. 救助方法と応急手当

- ① プール使用に関わる教員だけでなく教員は救命講習の受講に努める。
- ② プールの使用に関わる教員は、AEDの設置場所と使用方法を知り、緊急時に使えるように努める。

この規則は、平成18年4月1日から施行する

### プール日常点検リスト

○ 異常なし 点検修理 △ 修理依頼 ×

年 月 日( )

1	出入り口は施錠され、プール内に異常はないか。	
2	管理室は施錠され、薬品類が適切に保管されているか。	
3	シャワーは破損していないか。	
4	プールサイドは整理整頓されているか。	
5	プール水槽に異物、危険物が混入していないか。	
6	排水溝のふたは固定され、吸い込み金具が取り付けられているか。	
7	浄化装置は正常に動いているか。	
8	水質水量は適切に管理されているか。	
9	生徒の健康状態は把握できているか。	
10	人員点呼を行ったか。	
11	管理日誌に必要事項を書き入れたか	

## (7)生徒の安全確保及び安全管理

### <日常の危機管理>

#### (1)教職員の共通理解と校内体制

- ① 毎日不審者情報を確認し、発生事象を職員打合せで周知徹底するとともに、各学級担任が 生徒への注意喚起を行う。
- ② 毎週1回の生徒指導部会で校区内外の情報交換を行い、各学年の教職員に周知するとともに、迅速に行動できる履き物の着用等、安全管理の意識向上を図る。また緊急時の役割分担を周知徹底し、生徒の安全確保と関係機関や近隣学校園等への連絡体制に万全を期す。
- ③ 「子ども安全確保推進月間」等に、不審者対応時の訓練を実施する。

#### (2)来訪者の確認

- ① 東門は登校時以外は施錠する。また通常の出入りは正門のみとするが登下校後は閉門する。
- ② 生徒指導部を中心に日常的な校内巡視を行い、来訪者には挨拶や声かけを励行して来訪の用件を確認する。
- ③ PTA関係者には名札(入校証ホルダー)を配布して識別可能とする。また参観日等で多数の保護者が来訪する場合は、案内プリントに名札の着用を依頼し、また正門付近に受付を設けて確認する。

### <緊急時の安全確保>

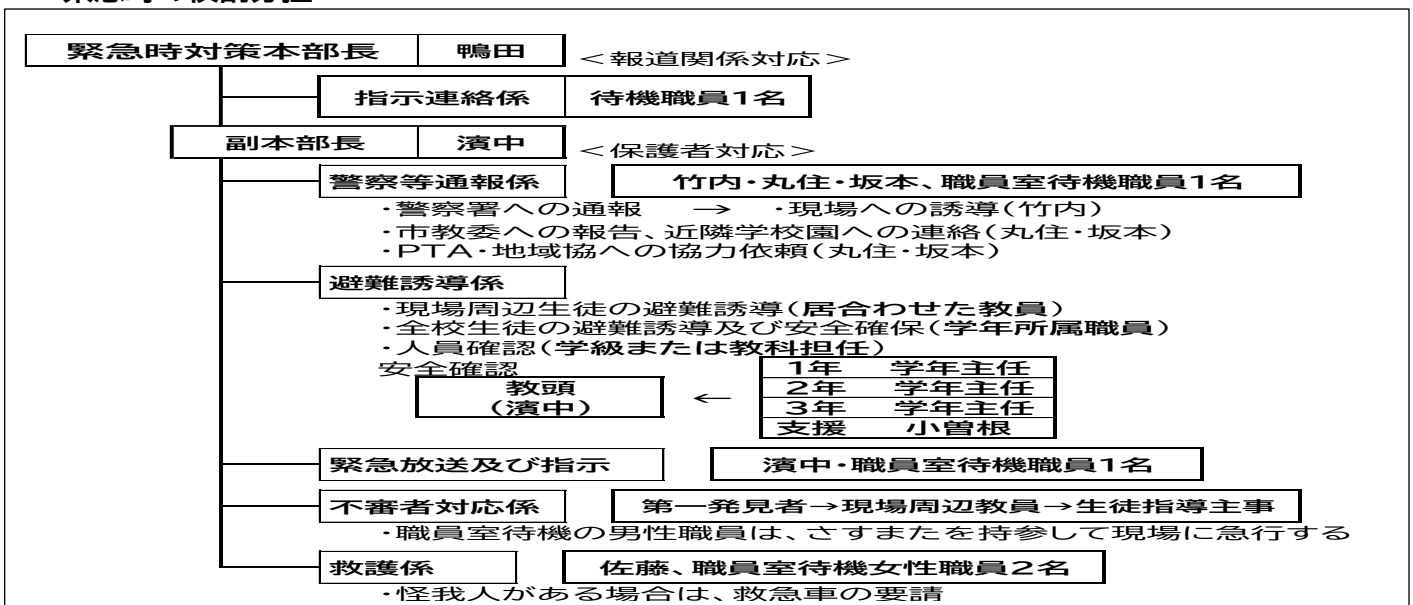
#### (1)学校周辺で不審者情報がある場合の対応

- ① 情報の出所や関連情報を正確に把握して警察に通報するとともに、市教育委員会にも報告する。
- ② 教職員を招集して情報を周知し、各学級で生徒に注意喚起と、万一の場合の対処方法を指導する。
- ③ 放課後は複数下校の体制をとり、必要な場合は教職員が付き添って下校させる。
- ④ 保護者宛に安全確保に関する注意喚起の文書を配布する。
- ⑤ 緊急の対策が必要な場合は市教育委員会の指導・助言を受けて、学校待機や教職員の引率による集団登下校を行う。
- ⑥ PTAに学校の対応策を連絡し、登下校の安全確保に協力を要請する。
- ⑦ 近隣学校園及び地域教育協議会とも情報を提供しあうとともに、生徒の安全確保のための協力体制を協議する。
- ⑧ 状況により必要な場合は、始業前や放課後に教職員または教職員とPTAの協力で学校 周辺の巡回を行う。

#### (2)学校に不審者が侵入するなど緊急時の体制

- ① 不審者を発見した教職員は直ちに職員室に通報する。不審者が凶器等を持参している場合は、「緊急時の役割分担」によって行動する。ただし、発見者が不審者との対応で即座に通報できない場合は防犯ブザーや非常ベル、大声等で近くの教職員に緊急事態発生を知らせる。
- ② 「警察通報係」は、正門で待機し、警察を現場に誘導する。
- ③ 「避難誘導係」は、先ず現場付近の生徒を安全な場所に避難させる。  
(ア) 「不審者対応係」は、さすまたや周辺の器物等を利用して危険を防御するとともに、不審者による生徒への危害が及ばないように努める。
- ④ 「緊急放送・指示係」は、全校生徒の安全確保の指示を行う。
- ⑤ 「救護係」は、怪我人がある場合の救護にあたり必要に応じて救急車を要請する。

### <緊急時の役割分担>



※ 状況により校長の指示で役割分担など臨機応変に対応する

### <施設・設備・教具等の安全点検>

- ① 毎月、定期的に安全点検を実施し、教科・分掌等で破損・腐食等の有無を確認する。
- ② 安全性に問題があると判断した場合は、速やかに使用を停止し、生徒への注意喚起と 改善の措置を行う。

## (8)沿革の概要

- 昭和36年4月 1日 大阪府枚方市立第四中学校創立。  
校舎未完成のため枚方市茄子作、川越小学校跡を仮校舎として発足。
- 昭和36年4月 2日 第1回入学式挙行 新入生539名。  
枚方小学校区、枚方第二小学校区、開成小学校区、香里小学校区の香里団地地区を第四中学校区とする。  
同日、第一中学校に通学する第2学年の内、枚方小学校区、枚方第二小学校区、開成小学校区の内、茄子作、村野、山之上地区の生徒320名を収容。
- 昭和36年 6月10日 枚方市香里ヶ丘5丁目233番地の1に新校舎完成、同日移転、  
1期工事普通教室鉄筋3階建18教室、仮管理棟木造平屋建90坪。
- 昭和36年 6月11日 新校舎で授業開始。
- 昭和37年 4月 1日 第2期工事の内、体育館完成。
- 昭和37年 4月 2日 第2回入学式挙行 新入生484名。
- 昭和37年 4月 8日 第2期工事の内、南館12教室完成。
- 昭和37年 6月26日 第3期工事、管理棟、特別教室完成。
- 昭和37年 7月14日 市教育委員会主催、枚方市立第四中学校落成式。
- 昭和38年 3月10日 本校校区に五常小学校開校。
- 昭和38年 4月 4日 仮管理棟を技術科教室に改装。
- 昭和38年 6月10日 第1期工事完成日を創立記念日として本年より実施。
- 昭和39年 4月 1日 本校校区に桜丘小学校開校。
- 昭和39年 4月 8日 南館に隣接して4教室完成。
- 昭和39年 7月12日 管理棟西側にプール完成、プール開き開催。
- 昭和40年 9月27日 東館3階に2教室完成。
- 昭和41年 4月 1日 本校校区に春日小学校開校。
- 昭和41年10月 1日 創立5周年記念式典。
- 昭和44年 4月 1日 本校校区に山之上小学校開校。
- 昭和45年 2月28日 グランド排水工事完了。
- 昭和45年 4月 1日 枚方中学校開校により枚方小学校区、枚方第二小学校区を本校より分離。
- 昭和46年11月 1日 中宮中学校開校により桜丘小学校の内、池之宮地区を本校より分離。
- 昭和46年 4月 1日 本校校区に香陽小学校開校。
- 昭和46年11月16日 創立10周年記念式典(枚方市民会館大ホール)
- 昭和49年 4月 1日 村野中学校開校により桜丘小学校区、開成小学校区の内、香里ヶ丘1丁目、  
山之上小学校区の内、東田宮2丁目、山之上東町、山之上2丁目、  
山之上3丁目、藤田町、東藤田町、春日小学校区の内、釈尊寺町本校より分離。
- 昭和53年 4月 1日 東香里中学校開校により春日小学校区、香陽小学校区の内、香里ヶ丘11丁目、  
香里ヶ丘12丁目、東香里3丁目、東香里新町を本校より分離。
- 昭和54年 4月 1日 蹉跎東小学校区の内公団中振団地を本校に加える。
- 昭和56年11月 1日 創立20周年記念式典。
- 昭和59年 4月 1日 蹉跎東小学校区の公団中振団地の新入生より蹉跎中学校へ。
- 平成2年 7月30日 管理棟改築のため仮設教室設置。
- 平成4年 3月28日 新管理棟竣工。
- 平成4年 3月14日 創立30周年記念、新管理棟竣工記念式典。
- 平成6年 2月21日 新体育館竣工。
- 平成9年 10月24日 文部省研究指定(コンピュータ)、研究発表
- 平成13年 4月 1日 村野中学校との統合により開成小学校区の香里ヶ丘1丁目、山之上小学校区の  
藤田町、山之上2・3丁目、山之上東町、東田宮2丁目を通学区域に変更。

- 平成13年8月1～3日 枚方市立第四中学校上海交流団(27名)派遣  
 平成13年10月31日 文部科学省研究指定(人権教育)、研究発表  
 平成14年10月30日 フランス パッサカイユ弦楽団(26名) 歓迎交流会  
 平成15年12月 3日 中国上海市長寧区第8次教育考察団(5名) 歓迎  
 平成16年 4月 1日 通学区域の弾力化により第1学年が1学級増加  
 平成16年 9月24日 中国上海市長寧区及びオーストラリア ローガン市青年音楽団 歓迎  
 平成16年10月13日 デンマーク バイエン市より教育視察団が来校  
 平成17年8月1～8日 枚方市立第四中学校教育交流団がオーストラリアローガン市を視察訪問  
 平成21年 2月 普通教室空調設備完成  
 平成21年 3月 プールの改修工事完了  
 平成21年 4月 1日 香里小学校区の香里ヶ丘4丁目17・18番地、香里ヶ丘9丁目を第二中学校の通学区域に変更。五常小学校区の東中振2丁目20番を本校の通学区域に変更。  
 平成22年 4月 1日 香陽小学校区の香里ヶ丘3丁目(2～9番地)、香里ヶ丘4丁目(1, 2, 17・18番地は除く)を東香里中学校の通学区域に変更。  
 平成23年11月 5日 創立50周年記念式典  
 平成28年 4月 小中一貫事業開始  
 平成29年12月 1日 四中フォーラム開催  
 令和 2年12月 4日 タブレット研究指定報告会  
 令和 3年 4月 1日 文部科学省「学力向上のための基盤づくりに関する調査研究事業」兼大阪府スクールエンパワメント事業(確かな学びを育む学校づくり)研究指定(令和3年度、令和4年度)  
 令和 4年12月 2日 文部科学省兼大阪府指定事業研究報告発表大会開催  
 令和 5年 3月 教室棟トイレ乾式化工事完了  
 令和 6年 1月 管理棟トイレ乾式化工事完了  
 令和 6年 2月 体育館空調設備工事完了

## 歴代校長

初代	金治	勇	昭和36年4月1日より昭和40年3月31日まで
二代	北牧	一雄	昭和40年4月1日より昭和48年3月31日まで
三代	加地	嘉三	昭和48年4月1日より昭和50年3月31日まで
四代	阪本	治郎	昭和50年4月1日より昭和54年3月31日まで
五代	入江	幸男	昭和54年4月1日より昭和56年3月5日死去により退任
六代	藤田	篤	昭和56年4月1日より昭和58年3月31日まで
七代	伊田	巧	昭和58年4月1日より昭和63年3月31日まで
八代	中野	一雄	昭和63年4月1日より平成元年3月31日まで
九代	木南	勲	平成元年4月1日より平成5年3月31日まで
十代	小原	徹也	平成5年4月1日より平成9年3月31日まで
十一代	村田	悟郎	平成9年4月1日より平成12年3月31日まで
十二代	池田	利貞	平成12年4月1日より平成18年3月31日まで
十三代	坂井	泉	平成18年4月1日より平成20年3月31日まで
十四代	高橋	弘	平成20年4月1日より平成26年3月31日まで
十五代	岩谷	誠	平成26年4月1日より平成30年3月31日まで
十六代	大西	勝徳	平成30年4月1日より令和2年3月31日まで
十七代	鶴島	茂樹	令和2年4月1日より令和4年6月30日まで
十八代	鴨田	慎司	令和4年7月1日着任

# 校歌

作詞 金治 勇  
作曲 石桁 真礼生

そのなもゆかしき ころりが おかの まつ  
かぜさやかに かおる はぼこら わこうど  
われら ここにつどい きょうわの びふう ここに  
はなさく さちあり われら いざ  
いざ いざ うる わしき がくしゃ  
をつくらん

- |                                                                                                          |                                                                                                          |                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>三、<br/>青空遙かに 生駒の峰を<br/>朝夕仰ぎて たてるは母校<br/>若人われら ここに集い<br/>不拔の精神 ここに培う<br/>幸あり われら<br/>いざ 大いなる世界を拓かん</p> | <p>二、<br/>洋々つきせぬ 大淀川の<br/>清き流れに 映ゆるは母校<br/>若人われら ここに集い<br/>久遠の理想 ここに輝やく<br/>幸あり われら<br/>いざ 新しき日本を興さん</p> | <p>一、<br/>その名もゆかしき 香里が丘の<br/>松風さやかに かおるは母校<br/>若人われら ここに集い<br/>協和の美風 ここにはなさく<br/>幸あり われら<br/>いざ うるわしき学舎をつくらん</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|